

南江堂

看護学テキスト2025

看護学テキスト

NiCE

NiCEシリーズ



- | | |
|---|-------------------------------------|
| ■ 看護学原論 改訂第3版 [p.04] | ■ 精神看護学Ⅰ こころの健康と地域包括ケア 改訂第3版 [p.26] |
| ■ 基礎看護技術 改訂第3版 [p.05] | ■ 精神看護学Ⅱ 地域・臨床で活かすケア 改訂第3版 [p.27] |
| ■ ヘルスアセスメント 改訂第2版 [p.06] | ■ 災害看護 改訂第4版 [p.28] |
| ■ 看護倫理 改訂第3版 [p.07] | ■ 国際看護 [p.29] |
| ■ 看護理論 改訂第3版 [p.08] | ■ 看護管理学 改訂第3版 [p.30] |
| ■ 地域・在宅看護論Ⅰ 総論 改訂第3版 [p.09] | ■ 医療安全 改訂第2版 [p.31] |
| ■ 地域・在宅看護論Ⅱ 支援論 改訂第3版 [p.10] | ■ 感染看護学 [p.32] |
|  ■ 成人看護学 成人看護学概論 改訂第5版 [p.11] | ■ 家族看護学 改訂第3版 [p.33] |
| ■ 成人看護学 急性期看護Ⅰ
概論・周手術期看護 改訂第4版 [p.12] | ■ 看護教育学 改訂第3版 [p.34] |
| ■ 成人看護学 急性期看護Ⅱ
クリティカルケア 改訂第4版 [p.13] | ■ 看護関係法規 改訂第2版 [p.35] |
| ■ 成人看護学 慢性期看護 改訂第4版 [p.14] | ■ 看護と研究 根拠に基づいた実践 [p.36] |
| ■ 成人看護学 成人看護技術 改訂第3版 [p.15] | |
| ■ リハビリテーション看護 改訂第3版 [p.16] | |
| ■ エンドオブライフケア [p.17] | |
|  ■ がん看護 改訂第2版 [p.18] | |
|  ■ 緩和ケア 改訂3版 [p.19] | |
| ■ 老年看護学概論 改訂第4版 [p.20] | |
| ■ 老年看護学技術 改訂第4版 [p.21] | |
| ■ 小児看護学Ⅰ 小児看護学概論・小児看護技術 改訂第4版 [p.22] | |
| ■ 小児看護学Ⅱ 小児看護支援論 改訂第4版 [p.23] | |
| ■ 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 改訂第3版 [p.24] | |
| ■ 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改訂第3版 [p.25] | |
- 病態・治療論シリーズ** [p.38]

【1】病態・治療総論 	【8】脳・神経疾患
【2】呼吸器疾患	【9】運動器疾患 
【3】循環器疾患 	【10】感染症/アレルギー/膠原病
【4】消化器疾患 	【11】皮膚/耳鼻咽喉/眼/歯・口腔疾患
【5】内分泌・代謝疾患 	【12】精神疾患
【6】血液・造血器疾患 	【13】産科婦人科疾患 
【7】腎・泌尿器疾患	【14】小児疾患 
- | | |
|--------------------|--------------|
| ■ 生化学 [p.39] | ■ 薬理学 [p.40] |
| ■ 微生物学・感染症学 [p.41] | |

看護過程シリーズ

- 根拠がわかる疾患別看護過程 [p.42]
- 根拠がわかる症状別看護過程 [p.43]
- 根拠がわかる母性看護過程 [p.44]
- 根拠がわかる母性看護技術 [p.45]

看護テキスト

- 基礎看護学テキスト [p.46]

教科書データサービス
のご案内



このマークが対応教科書の目印です。

●ご採用教科書の図表データをダウンロードしてお使いいただけるサービスを行っております。
詳細は本カタログ裏表紙をご覧ください。

●本誌掲載テキストの目次、サンプルページは、www.nankodo.co.jpにてご覧いただけます。

●教科書電子版の取扱いもございます。
詳細につきましては弊社営業部までお問い合わせください。
(の記載がない銘柄は、電子版の取扱いがない場合もございます)。



電子版のご案内

南江堂

教科書 電子版

取り扱いのご案内

南江堂の教科書の
電子版が
「医書.jp」にて
取扱い開始



対象書籍には当パンフレット内で  がついています！

詳細につきましては南江堂営業部（Tel：03-3811-7256）までお問い合わせください。
Web からのお問い合わせも受け付けております。

<https://www.nankodo.co.jp/r/r131020/>



おかげさまでシリーズ発行から17年 シリーズ全50巻がラインナップ NiCEシリーズはこれからも進化し続けます

看護学テキストシリーズとしては後発ながら、『看護倫理』『看護理論』『家族看護学』『看護教育学』といった従来のテキストシリーズにはない看護の基盤となるテキストをシリーズの基幹と位置づけ発行してきました。

経過別で学ぶ成人看護学シリーズでは『成人看護学 急性期看護Ⅰ・Ⅱ』『成人看護学 慢性期看護』『成人看護学 成人看護技術』はこの分野をリードするまでに成長しました。

さらに近年、『エンドオブライフケア』『感染看護学』など新しい分野にも挑戦しています。

**看護学テキストNiCEシリーズは、
高度化する医療や社会のニーズに応え、
これからの時代を切り拓く看護職の育成に
寄与することを目指した、
新しい看護学テキストシリーズです。**

【NiCEコンセプト】

New
新しい

看護の視点を重視し、最新の考えを取り入れる

時代の先を見越し、新しい視点を取り入れ、最新の考えや看護を学ぶことができます。

Integrated
学びと実践の統合

学んだ知識を看護実践に結び付ける

学んだ知識がどのように看護実践につながるのかを学ぶことができるよう、事例と看護過程の例を提示します。

Creative
創造性のある

学びを深め創造性ある看護実践へ

各項目に掲載した学習課題や演習課題などを通して、学びの振り返りや思考を促すことで、より深い学びとなり、創造性の基盤が育まれます。

Evidence-based
根拠に基づいた

根拠に基づいた看護実践を

看護実践・看護技術を、応用可能な実践・技術として習得できるよう、根拠を重視して記載しています。

【NiCEシリーズポータルサイトのご案内】

さまざまなコンテンツをご用意しています

- ・シリーズラインナップと書誌情報
- ・国試対照表
- ・サポート情報
- ・正誤表・リーフレット



こちらから→

<https://text.nankodo.co.jp/nice/>



看護学原論

看護の本質的理解と創造性を育むために

改訂第3版



編集 高橋照子 愛知医科大学

B5判・258頁 2020.3. ISBN978-4-524-24992-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 必要要素をやさしくコンパクトにまとめた読みやすい看護入門テキスト

- ▶ 各章・各節の冒頭に、その章・節の学びの意図を示す導入文を新たに挿入しました。
- ▶ 経過別看護(健康の維持・増進期、急性期、慢性期、リハビリテーション期、終末期における看護)の考え方を学べるよう、「看護実践の展開」の節を設けました。
- ▶ 看護師国家試験出題基準平成30年版に対応しました。

本書の特長

- ✓ 看護入門テキストとして、「看護」「看護学」についての確かな基盤を培うことができます。
- ✓ 国際看護、災害看護、医療安全の項目も充実し、カリキュラムの「看護の統合と実践」の基本も学べます。
- ✓ 看護職に就いてからも、「看護とは何か」について見つめ直すときに有用な一冊となっています。

執筆

高橋 照子	愛知医科大学	白鳥さつき	一宮研伸大学
唐田 順子	山口県立大学	高谷 嘉枝	姫路大学
鈴木はるみ	前西武文理大学	小西恵美子	長野県看護大学名誉教授／鹿児島大学
菅野 夏子	姫路大学	友納 理緒	土肥法律事務所
小田 正枝	徳島文理大学名誉教授	伊勢田暁子	前日本看護協会
中山美由紀	大阪府立大学	野村 陽子	新見公立大学
高見 千恵	兵庫大学	香春 知永	武蔵野大学
藤井 可苗	関西福祉大学	黒澤 昌洋	愛知医科大学
渡邊美千代	前愛知医科大学	斉藤 早苗	梅花女子大学
倉田 節子	鈴鹿医療科学大学		
富岡 美佳	姫路大学		

目次

第Ⅰ章 看護とは

1. 看護の本質
2. 看護の歴史
3. 変化している看護
4. 地域基盤の看護と看護の継続性

第Ⅱ章 人間・家族・集団・地域の理解

1. 全体の人間
2. 生活者としての人間
3. 健康とウェルネス
4. 家族と看護
5. 集団・地域と健康
6. 災害と看護
7. 国際社会と健康

第Ⅲ章 人間の心理・社会的理解

1. 自己と他者
2. ストレス、コーピング
3. セクシュアリティ
4. スピリチュアリティ

第Ⅳ章 看護実践の基盤

1. 看護実践における技術
2. 医療安全
3. 看護実践と倫理
4. 看護と法
5. 看護と経済
6. 看護と政策

第Ⅴ章 看護の展開

1. 看護実践とクリティカルシンキング
2. 看護過程
3. 看護実践の展開
4. 看護情報管理

第Ⅵ章 チーム医療と看護

1. チーム医療とは
2. 保健・医療・福祉における看護
3. 多職種連携・協働と看護職の役割

第Ⅶ章 看護の専門性の探求

1. 専門性への道程
2. 看護の専門職性
3. 専門領域の確立と展望

第Ⅷ章 看護・看護学の展望

1. 看護における実践・研究・理論
2. 看護実践と研究
3. 看護実践と理論
4. 看護・看護学の展望と課題

128 第Ⅳ章 看護実践の基盤

6 ●よさを認め合う職場環境

職場は、よくないこと、困難なことだけでなく、よいこと、正しいことも数多くある。上記の事例からわかるように、1つの視点を徹底的にみるには、問題志向の目だけではなく、よいことをみる目も大切である。

実践の場は、隠れたカリキュラムといわれ¹³⁾、看護師や看護学生は、他の看護師の実践を観望し、患者から感謝の言葉をもらい、あるいは自分が行ったよいケアを振り返ることなどを通して、生きた倫理を学んでいる。以下の事例は、そのことを示す看護師の語りである。

事例 6 流れの読める先輩

「私のプリセプターさんです。患者さんに与える柔軟な笑顔を見て、あー素敵と思いました。(中略)その先輩をみると、やっぱり先のことか、たとえば検査にしても、この検査をした方がいいかなとか、あるいは、輸血のために採血をしたら、その隣りは車椅子ですか、荷物を持って、その輸血の流れについての説明に、必要な情報をあげられているというのすごくいいなって思います」¹⁴⁾

このように、看護師が示すよさは患者に伝わり、そして同僚の看護師をも感化して、生きた倫理の学びとなっている。看護の職場はこのような学び合いを育てる環境でありたい。

事例 7 患者さんからの言葉の贈り物

「オレ様ですと褒めたりで、とても不安な強いターミナルの患者さんが出て、そのときに、私はびっくり涙を流していた。你に感謝されている。『ゆっくりと優しい笑顔で話を聞いてくれたことがとても助かった。これまでこれほどに助かったことがありません。』というように手紙をいただいたことがあって、それはとても嬉しかったです。(中略)看護の勉強生だったけど、自分らしく同じ状況だったということを通して、なるべく意識して患者さんのベッドサイドに行きつて話を聞くことを意識していたと思います」¹⁵⁾



身近な場面の『事例』を通して、看護の基礎を培います

先生のこえ

- ➡ 看護「学」の基本理念をしっかりおさえていて、学生がこれから歩むべきの道筋を示したよい「入門書」である。
- ➡ 初学者にもわかりやすく書かれているので、自習させレポートの課題としても活用している。

基礎看護技術

改訂第3版

看護過程のなかで技術を理解する



編集 香春知永 武蔵野大学 齋藤やよい 秀明大学

B5判・528頁 2018.3. ISBN978-4-524-25608-2 定価4,620円(本体4,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 技術の意義・根拠が豊富で看護実践能力向上をはかるテキスト

- ▶ Skill表の体裁を刷新。「根拠」や「注意」を一目で把握できるようになりました。
- ▶ 動画をDVDではなくQRコードから読み取る形式に変更。自己学習に活用しやすくなりました。

本書の特長

- ✓ 看護技術を単なる手順としてではなく、「看護」を実践する技術として理解できるように、アセスメントから診断、計画、実施、評価までの看護過程の展開のなかに位置づけて学習する構成としました。看護の受け手となる人々に応じた、個別の“生きた看護技術”を提供するための基盤を培うことができます。
- ✓ 具体的な事例と設問を通して、看護技術の理解を促し臨機応変な思考力(クリティカルシンキング)を培うことができます。

執筆

香春 知永	武蔵野大学	角濱 春美	青森県立保健大学
林 智子	三重大学	縄 秀志	聖路加国際大学
松谷美和子	聖路加国際大学名誉教授	大河原知嘉子	東京医療保健大学
南川 雅子	帝京大学	齋藤やよい	秀明大学
佐藤 淑子	大阪府立大学	石田 陽子	山形大学
大久保暢子	聖路加国際大学	安ヶ平伸枝	前聖路加看護大学
菊池 和子	岩手県立大学名誉教授	安島 幹子	日本赤十字看護大学
野崎真奈美	順天堂大学	只浦 寛子	国際医療福祉大学
真砂 涼子	前群馬パース大学	徳永 恵子	前宮城大学
水戸 優子	神奈川県立保健福祉大学	野村 美香	神奈川県立保健福祉大学
塚越みどり	東海大学	射場 典子	聖路加国際大学

主要目次

第Ⅰ章 看護技術とは

第Ⅱ章 看護ケアのプロセスにかかわる看護技術

1. クリティカル・シンキング
2. 看護過程
3. 記 録
4. コミュニケーション
5. 教育・相談

第Ⅲ章 看護実践に統合される基本的看護技術

1. 安 全
2. 感染予防
3. バイタルサインズ
4. ヘルスアセスメント
5. 与薬にかかわる技術
6. 治療・検査にかかわる技術

第Ⅳ章 基本的ニーズ充足に向けた看護技術

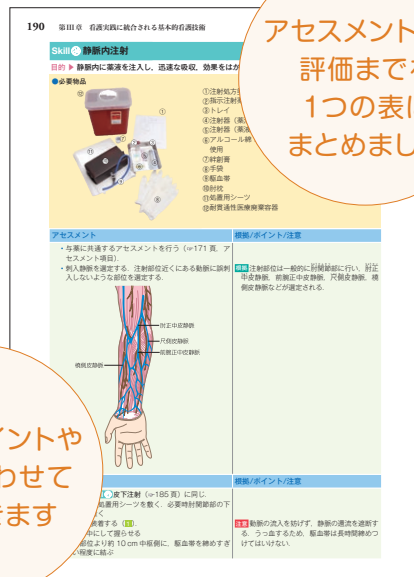
1. 環境・衛生
2. 活動・運動
3. 清 潔
4. 呼 吸
5. 体温調節
6. 睡 眠
7. 安 楽
8. 食事・栄養
9. 体液バランス
10. 排 尿
11. 排 便

第Ⅴ章 特殊なニーズ充足に向けた看護技術

1. 皮膚・粘膜の障害
2. 生命の危機状態
3. 悲嘆(グリーフ)

技術のポイントや根拠もあわせて確認できます

アセスメントから評価までを1つの表にまとめました



先生のこえ

- ➡ サブタイトルの通り、看護過程の展開のなかで看護技術がどう位置づけられているかをおさえていて、より実践的な技術を学ぶことができるテキストである。
- ➡ 各技術にカラー写真やその根拠となる解説があり、基礎をしっかりと学習でき、看護実践能力の向上をはかりやすい構成になっている。

動画収録技術(収録時間約36分)

Skill 01	手洗い	Skill 08	持続的導尿
Skill 02	リネン交換	Skill 09	グリセリン浣腸
Skill 03	体位変換 (仰臥位から側臥位へ)	Skill 10	口腔内吸引
Skill 04	注 射	Skill 11	車椅子移乗
Skill 05	点滴静脈内注射	Skill 12	口腔ケア (意識障害のある患者)
Skill 06	採 血	Skill 13	包帯法
Skill 07	排泄介助(便器の当て方)		

ヘルスアセスメント

改訂第2版

臨床実践能力を高める



編集 三上れつ 慶應義塾大学名誉教授 小松万喜子 中部大学
B5判・270頁 2017.10. ISBN978-4-524-25748-5 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

！ 改訂のポイント ヘルスアセスメントの基本を、豊富な図表や動画を通して解説したテキスト

- ▶ 心理社会的側面のアセスメントをより充実させ、考え方の背景にある理論についても初学者にわかりやすいように整理しました。
- ▶ 前版ではDVDに収載していた動画を、紙面に掲載したQRコードを読み取りWebで再生するかたちに変更。アセスメントの重要ポイントを明確に記載し、動画を閲覧しながらさらに理解を深める内容としました。

本書の特長

- ✓ 人体の構造と機能の基礎知識やフィジカルアセスメントの技術の確かな理解を図るために、人体構造のイラストや診査時の写真を数多く掲載しました。
- ✓ フィジカルアセスメント熟達者による実演動画を付録。本文と動画を併用して、身体診査技法が確実に身につきます。
- ✓ フィジカルアセスメントだけでなく心理社会的側面からのアセスメントについても解説。対象を全人的にとらえ、看護過程をふまえたアセスメントを身につけられるように構成しました。

執筆

三上 れつ 慶應義塾大学名誉教授 広瀬 会里 愛知県立大学
小松万喜子 中部大学 籠 玲子 愛知県立大学
熊谷たまき 国際医療福祉大学 高植 幸子 椋山女学園大学
片岡 純 愛知県立大学 佐藤 美紀 愛知県立大学
山口 直己 豊橋創造大学 石田 陽子 山形大学
曾田 陽子 愛知県立大学 土井 由美 慶應義塾大学病院
早瀬 良 中部大学 高田 幸江 武蔵野大学
福井 里佳 慶應義塾大学 ◎動画実演
服部 淳子 愛知県立大学 山口 貴子 人間環境大学
千村智香子 前千葉県立保健医療大学

主要目次

第Ⅰ章 ヘルスアセスメントの概要

1. 看護過程とヘルスアセスメント
2. ヘルスアセスメントの基本技術
3. アセスメントの具体的な進め方

第Ⅱ章 対象を理解するための系統的アセスメント ——ゴードンの機能的健康パターンに沿って

1. 身体的側面のアセスメント
2. 心理社会的側面のアセスメント
3. 背景となる理論
 - 3-1. 健康信念モデル、計画的行動理論
 - 3-2. 病みの軌跡
 - 3-3. 自己効力感
 - 3-4. 自己概念
 - 3-5. 自尊感情(自尊心)
 - 3-6. 役割理論
 - 3-7. 発達理論
 - 3-8. 家族看護学で用いられる諸理論
 - 3-9. 悲嘆過程
 - 3-10. ストレス・コーピング理論、危機理論
 - 3-11. レジリエンス
4. 対象を理解するための系統的アセスメント——事例

第Ⅲ章 フィジカルアセスメント

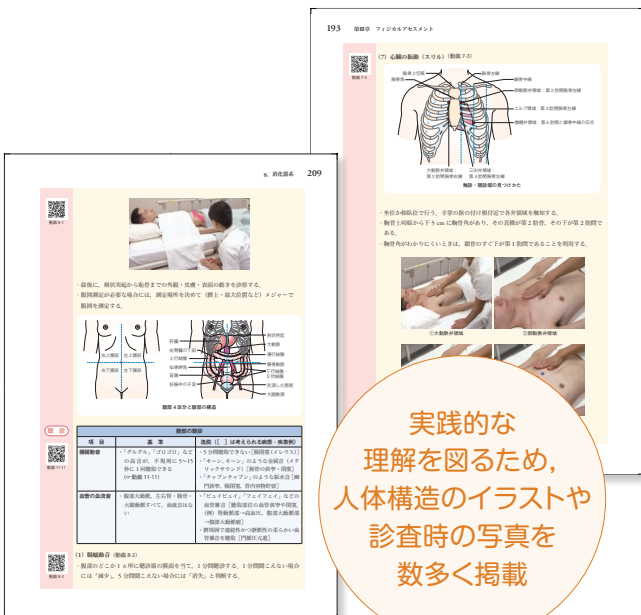
1. フィジカルアセスメント総論
2. 外皮系
3. 特殊感覚(眼、耳、鼻、舌)
4. 筋・骨格系
5. 神経系
6. 呼吸器系
7. 循環器系
8. 消化器系
9. 腎・泌尿器系、男性生殖器
10. 女性生殖器
11. 乳房

先生のこえ

- ➡ 動画がわかりやすい! 学生が自分で繰り返し学習できるように工夫されている。
- ➡ 写真やイラストに診査技術の留意点が添えられており、学生の自己学習へも配慮されている。

動画収録内容(動画数69, 収録時間約44分)

- 1 フィジカルアセスメント総論
- 2 外皮系
- 3 特殊感覚
- 4 筋・骨格系
- 5 神経系
- 6 呼吸器系
- 7 循環器系
- 8 消化器系
- 9 腎・泌尿器系
- 10 乳房
- 11 聴診音



実践的な
理解を図るため、
人体構造のイラストや
診査時の写真を
数多く掲載

看護倫理

よい看護・よい看護師への道しるべ

改訂第3版



編集 小西恵美子 鹿児島大学

B5判・292頁 2021.1. ISBN978-4-524-22508-8 定価2,530円(本体2,300円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護倫理を身近な事例から読み解く好評テキスト

- ▶「ケアの倫理」「尊厳」「道徳的感受性」「共感」など、近年、注目が高まっている概念について項目を新設しました。
- ▶社会的要配慮者(認知症、難病、貧困等)、性と生殖、身体拘束、ハラスメントなどの問題を取り上げ、社会の変化を反映しました。
- ▶「4ステップ事例検討シート」にケアの倫理の視点を取り入れ、リニューアルしました。

本書の特長

- ✓ 学生にとって一見難解な倫理問題を学習しやすいように、日常生活で感じる「よい」「わるい」の価値判断を手がかりに、事例を多用し、倫理の学びを進めます。
- ✓ 「和」「礼」「徳」など、日頃の看護で意識しない伝統的な価値観についても解説。
- ✓ 看護師が直面する倫理的問題を分析し意思決定をしていく過程を助ける「4ステップモデル」を提案。「4ステップ事例検討シート」を道案内に考えていきます。

執筆

小西恵美子 鹿児島大学	高橋 梢子 島根県立大学
八尋 道子 佐久大学	麻原きよみ 大分県立看護科学大学
彭 美慈 元香港理工大學	山下 早苗 静岡県立大学
蔡 小瑛 梅花女子大学	大西香代子 名古屋国立大学
中村 充浩 東京有明医療大学	小笹 由香 東京科学大学
太田 勝正 東都大学	杉浦 絹子 西南女学院大学
石本 傳江 前聖カタリナ大学	河原 宣子 京都橘大学
鈴木真理子 長野保健医療大学	船山 健二 新潟県立看護大学
山本八千代 安田女子大学	勝原裕美子 オフィスKATSUHARA
平野 互 前大分県立看護科学大学	阿部 洋子 前水戸赤十字病院
小野 美喜 大分県立看護科学大学	
前田 樹海 東京有明医療大学	
Anne J.Davis カリフォルニア大学サンフ	
ランシスコ校名誉教授／	
長野県看護大学名誉教授	

目次

第Ⅰ章 看護倫理についての基礎知識

1. 倫理の基礎
2. 看護倫理の基礎
3. 看護倫理の歴史的推移

第Ⅱ章 看護倫理のアプローチ

1. 徳の倫理
2. 原則の倫理
3. ケアの倫理

第Ⅲ章 看護倫理に関係する重要な言葉

1. 和
2. 共同体、家、親孝行、礼、面子、和—東アジアの文化と倫理
3. コンパッション—思いやりの心
4. 共感
5. 道徳的感受性と道徳的レジリエンス
6. 専門職
7. 対象者を中心とした看護
8. 患者の尊厳
9. 看護アドボカシー
10. 協力和協働
11. パターナリズム
12. 個人の権利
13. 看護職の責任—倫理的責任と法的責任
14. インフォームド・コンセント
15. 情報プライバシーと守秘義務
16. 災害におけるトリアージ

第Ⅳ章 倫理的意思決定のステップと事例検討

第Ⅴ章 ささまざまな看護活動と倫理

1. 人生の最後を生きる人々への看護と倫理
2. 地域看護と倫理
3. 小児看護と倫理
4. 精神科看護と倫理
5. 性と生殖をめぐる看護と倫理
6. 遺伝看護と倫理
7. 異文化間の看護と倫理
- A. 文化と倫理:
- B. 在日外国人の看護と倫理
- C. 途上国における看護支援と倫理
- D. 文化背景の異なる看護師との協働

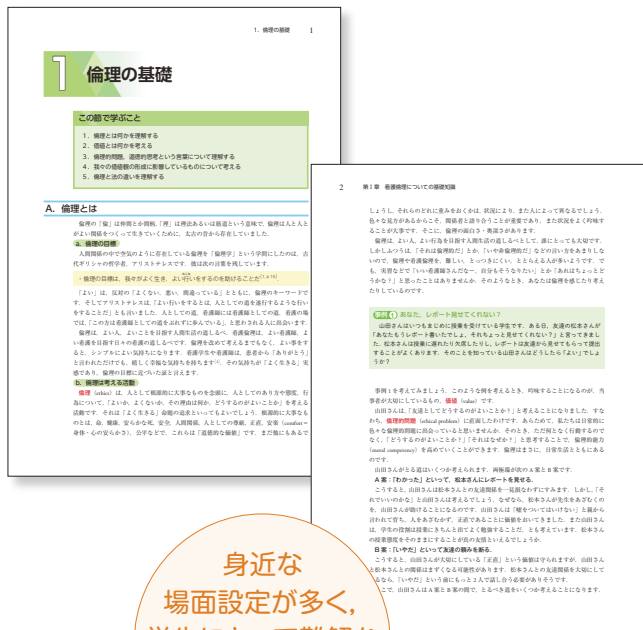
第Ⅵ章 社会的要配慮者の看護と倫理

1. 認知症
2. 難病—筋萎縮性側索硬化症(ALS)を中心に
3. 貧困
4. 家庭内で起こる虐待
5. 受刑者
6. 障害者

第Ⅶ章 その他の看護活動と倫理

1. 看護管理者の役割と倫理
2. 看護部倫理委員会

第Ⅷ章 看護研究における倫理



身近な
場面設定が多く、
学生にとって難解な
倫理の学習が
はかどります

看護理論

看護理論21の理解と実践への応用

改訂第3版



編集 筒井真優美 日本赤十字看護大学名誉教授

B5判・306頁 2019.7. ISBN978-4-524-24948-0 定価2,530円(本体2,300円+税10%)

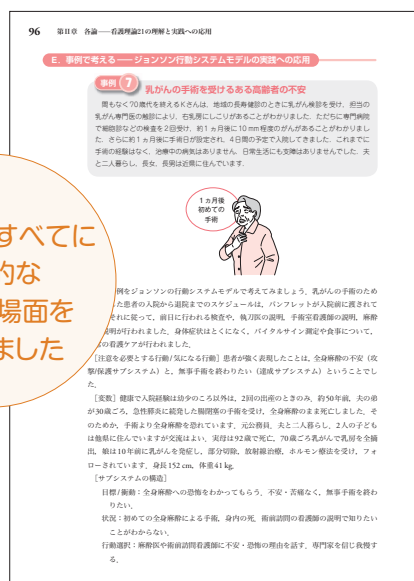
！ 改訂のポイント 看護実践の支えとなる代表的な21の理論を読み解くテキスト

- ▶ 初学者へ配慮したていねいな記述を徹底し、情報もアップデートしました。
- ▶ 新たにキャサリン・コルカバ(コンフォート理論)を追加しました。

本書の特長

- ✓ 第一線で活躍している研究者が最新の知見をもとに代表的な21の理論を解説。看護実践の支えとなる理論を、具体場面を織り交ぜながら読み解くことで、臨床現場での応用に結びつける思考力を培うことができます。
- ✓ 「看護」から「看護科学」に至るまでの歴史がつながりをもって発展してきたことを理解できるように構成しました。

21の理論すべてに
具体的な
『事例』場面を
設定しました



先生のこえ

- ➡ それぞれの理論にある『E. 事例で考える』は具体的かつ日常的な場面設定が多く、学生の主体的な思考活動を促す工夫がされている。
- ➡ 看護に携わる者として、どのように社会の要請や看護の課題に応じていくか。その基礎となる考えを身につけるために、学生に読んでほしい一冊である。

執筆

筒井真優美	日本赤十字看護大学名誉教授	岡谷 恵子	NPO法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会
川原由佳里	日本赤十字看護大学	草柳 浩子	上智大学
川嶋みどり	日本赤十字看護大学名誉教授	坂口 千鶴	日本赤十字看護大学
守田美奈子	日本赤十字看護大学	江本 愛子	前三育学院短期大学
池田 明子	北里大学名誉教授	江本 リナ	日本赤十字看護大学
宇佐美しおり	訪問看護ステーションlight	鈴木真知子	京都大学名誉教授
田中 真琴	東京医科歯科大学	山口 未久	京都府立医科大学
数間 恵子	前東京大学	高橋 照子	愛知医科大学
兼松百合子	岩手県立大学名誉教授	小西恵美子	長野県看護大学名誉教授
宮脇美保子	慶應義塾大学名誉教授	佐藤 紀子	東京慈恵会医科大学
矢野 正子	聖マリア学院大学名誉学長	川名 るり	日本赤十字看護大学
舟島なをみ	清泉女学院大学	西田 志穂	共立女子大学

主要目次

第Ⅰ章 総論

1. 看護とは
2. 看護理論とは
3. 看護理論を実践にいかす
4. 看護理論の歴史と動向

第Ⅱ章 各論：看護理論21の理解と実践への応用

1. フロレンス・ナイチンゲール
2. ヴァージニア A.ヘンダーソン
3. アーネスティン・ウィーデンバック
4. ヒルデガート E.ペプロウ
5. マーサ E.ロジャース
6. ドロセア E.オレム
7. ドロシー E.ジョーンズ
8. マイラ E.レヴァイン
9. フェイ G.アブデラ
10. アイモジン M.キング
11. アイダ J.オーランド
12. ジョイス・トラベルビー
13. マドレーヌ M.レイニンガー
14. マーガレット・ニューマン
15. シスター・カリスタ・ロイ
16. マール H.ミッシェル
17. ローズマリー・リゾ・パースイ
18. ジーン・ワトソン
19. ノラ J.ベンダー
20. バトリシア・ベナー
21. キャサリン・コルカバ

注：上記1～21は以下の項目で構成

- | | |
|-----------|--------------|
| A. 理論家の紹介 | D. 理論のクリティーク |
| B. 理論の源泉 | E. 事例で考える |
| C. 理論の概要 | |

付 録

本書における看護理論家一覧／看護の歴史

地域・在宅看護論 I 総論

改訂第3版

地域における暮らしと健康の理解を深める



編集 石垣和子 石川県立看護大学名誉教授
上野まり 日本在宅ケア教育研究センター

徳田真由美 公立小松大学
辻村真由子 滋賀医科大学

B5判・340頁
2024.1. ISBN978-4-524-23127-0
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 地域・在宅看護の実践の土台となる知識を網羅的に学べるテキスト

- ▶ 新カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応し、前版『NiCE在宅看護論 改訂第2版』から全面リニューアル。
- ▶ 地域で生活する人々の理解や、地域包括ケアシステムの下で多様化する療養の場における看護の理解をめざし、基盤となる考え方や仕組みを学ぶ『NiCE地域・在宅看護論 I』と、在宅での看護の実践を学ぶ『同 II』の2分冊としました。

本書の特長

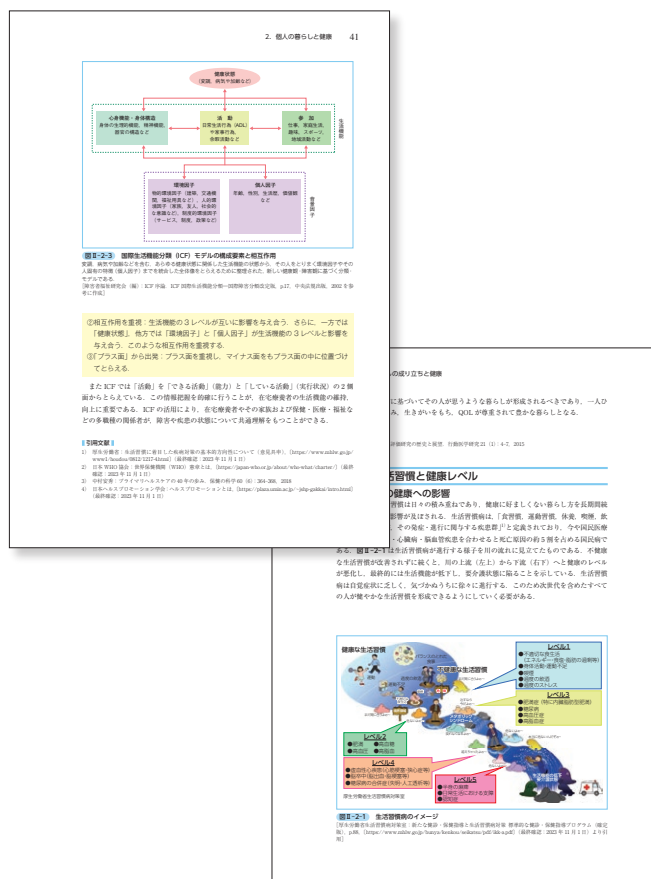
- ✓ 療養者の自分らしい生活の継続を支える看護をめざし、地域・在宅看護が必要とされる社会的背景やシステム、実践の場において求められる看護師の姿勢や考え方を初学者向けに解説しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域での療養を支えるうえで重要となる家族の理解、地域・在宅での看取りなどの解説も充実。
- ✓ 在宅看護に必要なリスクマネジメントとして、事故防止、情報管理、感染対策、災害への備え・対応等をまとめました。

執筆

上野 まり 日本在宅ケア教育研究センター
石垣 和子 石川県立看護大学名誉教授
小林 宏光 石川県立看護大学
米澤 洋美 石川県立看護大学
金子 紀子 石川県立看護大学
山崎 智可 富山県立大学
阿川 啓子 島根県立大学
菱田 一恵 順天堂大学
藤田 淳子 国立看護大学校
室野奈緒子 石川県立看護大学
千原 裕香 石川県立看護大学
桜井志保美 石川県立看護大学
辻村真由子 滋賀医科大学
徳田真由美 公立小松大学
山崎 潤子 緑が丘訪問看護ステーション
池崎 澄江 千葉大学
飯田貴映子 千葉大学
伊藤 隆子 順天堂大学
津田 知子 滋賀医科大学
岡田 忍 千葉大学

主要目次

- 序章 地域・在宅看護とは
- 第1部 地域で暮らす人々の理解と支援
- 第1章 人々の営みの移り変わりや医療・看護の現在
- 1 自然界におけるヒトという存在
 - 2 暮らしの知恵と専門職の誕生
 - 3 在宅医療・在宅看護・地域保健活動の発展
- 第2章 人々の暮らしの成り立ちと健康
- 1 人々の暮らしをとりまく社会
 - 2 個人の暮らしと健康
 - 3 社会集団が暮らしに与える影響
 - 4 地域の環境が暮らしに与える影響
 - 5 社会経済が暮らしに与える影響
- 第3章 地域の暮らしを支える保健・医療・福祉と専門職
- 1 日本の保健・医療・福祉制度の変遷
 - 2 日本の保健・医療・福祉制度の現状
 - 3 地域包括ケアシステムと地域包括支援センター
 - 4 在宅医療
 - 5 保健・医療・福祉の専門職
- 第4章 生命(いのち)と暮らしを地域で見守る看護
- 1 地域包括ケアシステムにおける看護職の役割
 - 2 地域共生社会における看護職の役割
- 第2部 生活の場における看護の基盤となる知識
- 第5章 日本の訪問看護の現状と諸外国の在宅看護
- 1 訪問看護制度のしくみ
 - 2 訪問看護を提供する施設や利用者の状況
 - 3 訪問看護ステーションの運営と管理
 - 4 居宅等における医行為の特徴と課題
 - 5 諸外国の在宅医療・訪問看護制度
- 第6章 在宅看護の姿勢・考え方
- 1 在宅という場の特徴
 - 2 対象者との支援関係の構築
 - 3 病状・病態変化の予測と予防
 - 4 自立支援(セルフケア)
 - 5 活動・参加の促進
 - 6 人々の尊厳と権利の擁護
 - 7 意思決定の支援
 - 8 多職種連携・協働
- 第7章 地域・在宅看護における家族の理解と支援
- 1 家族の概念・家族規範
 - 2 家族を理解する
 - 3 家族への支援
- 第8章 療養の場の移行支援
- 1 療養の場の移行とその支援
 - 2 入退院支援
- 第IX章 地域・在宅でのエンドオブライフケアと看取り
- 1 さまざまな死生観と死の迎え方
 - 2 人生の最終段階にある人々へのケア
 - 3 地域・在宅における看取り
- 第X章 在宅看護におけるリスクマネジメント
- 1 リスクマネジメント
 - 2 情報管理
 - 3 感染対策
 - 4 地域・在宅における災害対策と備え



改訂第3版



暮らしの場における多様な支援を考える

編集 **石垣和子** 石川県立看護大学名誉教授 **徳田真由美** 公立小松大学
上野まり 日本在宅ケア教育研究センター **辻村真由子** 滋賀医科大学

B5判・376頁
2024.2. ISBN978-4-524-23128-7
定価3,300円(本体3,000円+税10%)

改訂のポイント ていねいな事例展開から、暮らしの場における看護の実際を学べるテキスト

- ▶ 新カリキュラムの「地域・在宅看護論」に対応し、前版『NiCE在宅看護論 改訂第2版』から全面リニューアル。
- ▶ 地域で生活する人々の理解や、地域包括ケアシステムの下で多様化する療養の場における看護の理解をめざし、基盤となる考え方や仕組みを学ぶ『NiCE地域・在宅看護論Ⅰ』と、在宅での看護の実践を学ぶ『同Ⅱ』の2分冊としました。

本書の特長

- ✓ 地域・在宅における療養支援を支える看護技術や、疾患・対象に応じた看護を具体的に解説。多職種連携のポイントについても紹介。
- ✓ 第Ⅳ章では、在宅看護で遭遇する頻度が高い場面や重要な課題について9つの事例を取り上げ看護過程を展開。
- ✓ 看護過程の展開では、療養者・家族のアセスメントの視点をわかりやすく表にまとめました。また読者が事例を理解・イメージしやすいようエコマップや情報関連図を掲載しました。

 執筆

清水由加里	公立小松大学	湯本 晶代	千葉大学
辻村真由子	滋賀医科大学	太田 晃子	訪問看護ステーションややのいえ
島村 敦子	東邦大学	篠原 裕子	足立区地域包括支援センター
小矢木百合香	日本医療科学大学	嶋澤 順子	東京慈恵会医科大学
矢口 和美	公立小松大学	眞浦 有希	滋賀医科大学
岩田 尚子	東京慈恵会医科大学	松浦 志野	順天堂大学
藤田 淳子	国立看護大学校	石垣 和子	石川県立看護大学名誉教授
島田 珠美	川崎大師訪問看護ステーション ／療養通所介護まこと	上野 まり	日本在宅ケア教育研究センター 公立小松大学
紺家千津子	石川県立看護大学	徳田真由美	訪問看護ステーションリハケア芦城
平野 和恵	横浜済済会病院	宮本由香里	訪問看護ステーションリハケア芦城
角地 孝洋	小松市役所	森本 安紀	滋賀県立大学
菱田 一恵	順天堂大学	新井香奈子	滋賀県立大学
諏訪さゆり	千葉大学	彦 聖美	金城大学

主要目次

第1章 暮らしの場で実践する生活援助・医療処置技術

- | | |
|--------------|---------------|
| 1.食の支援と栄養の管理 | 2.排泄の支援・管理 |
| 3.清潔・整容の支援 | 4.移動・活動と休息の支援 |
| 5.受診・服薬の支援 | 6.呼吸の管理 |
| 7.循環の管理 | 8.皮膚・創傷の管理 |
| 9.疼痛管理 | |

第Ⅱ章 さまざまな対象者への在宅看護

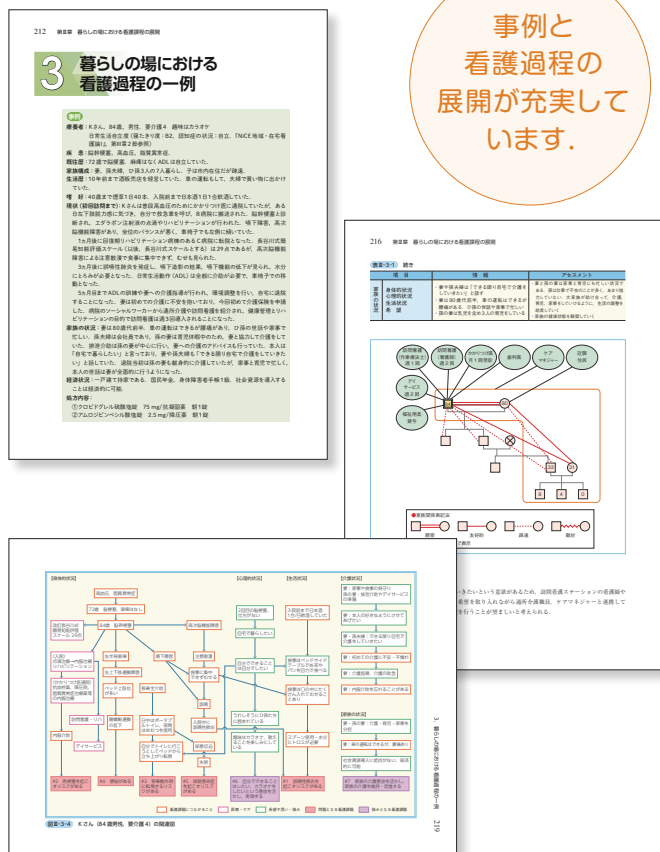
- 1.要支援高齢者への在宅看護
- 2.要介護高齢者への在宅看護
- 3.認知症高齢者への在宅看護
- 4.慢性疾患を有する療養者への在宅看護
- 5.がん療養者への在宅看護
- 6.神経系難病の療養者への在宅看護
- 7.疾病や障害を有する小児への在宅看護
- 8.精神疾患を有する療養者への在宅看護
- 9.異文化を背景とする療養者への在宅看護

第Ⅲ章 暮らしの場における看護過程の展開

- 1.在宅看護におけるアセスメント
- 2.暮らしの場における看護過程の考え方
- 3.暮らしの場における看護過程の一例

第Ⅳ章 事例でみる暮らしの場における看護の実際

1. 独居高齢者で要支援1のAさんの療養環境の調整
2. デイサービスを活用しながら、日中の意識状態の改善を目指すBさんへの支援
3. レビー小体型認知症により、在宅での療養が難しくなったCさんへの支援
4. COPDにより入退院を繰り返すDさんへの在宅移行支援
5. 糖尿病の血糖コントロール不良が心配されるEさんへの支援
6. 難病を患うFさんの意思表示に戸惑う家族への支援
7. 苦痛の訴えが強いがん末期のGさんへの支援
8. 医療的ケアを必要とするHちゃんの在宅移行および就学への支援
9. 精神科訪問看護とデイケアを活用しながら社会復帰を目指すIさんへの支援



成人看護学 成人看護学概論

社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える

改訂第5版

新刊



編集 林 直子 聖路加国際大学 酒井郁子 千葉大学
鈴木久美 大阪医科薬科大学

B5判・368頁
2025.3. ISBN978-4-524-21192-0
定価3,300円(本体3,000円+税10%)

！ 改訂のポイント 成人看護の実践に必要な概念・理論・情報を簡潔にまとめたテキスト

- ▶ 成人の健康にまつわる新たなトピックスとして、第Ⅲ章に「循環器病対策」や「遺伝と健康」に関する内容を追加。また、「成人の日常生活」や「専門職間の連携・協働」などの項目では最近の状況を踏まえて内容をリニューアルしました。
- ▶ 成人看護のための基本的な理論や概念、考え方を解説する第Ⅳ章では、「ストレングス」「悲嘆」「意思決定」「セルフ・エフィカシー」「成人学習」の項目に事例を追加しました。
- ▶ 統計数値や法制度などの情報を最新のものにアップデートしました。

本書の特長

- ✓ 成人の身体、心理、社会的特徴を、個体としての成長発達の視点と、現代に生きる成人がおかれている文化的、社会的環境の視点からわかりやすく解説しています。
- ✓ 成人を特定の年齢層として捉えるのではなく、乳幼児期・学童期を経て青年期・壮年期・向老期にいたり、やがて老年期に入る人として捉えています。
- ✓ 最新の情報や統計データを盛り込み、図表を多用してビジュアルにまとめています。

執筆

林 直子	聖路加国際大学	清水 誉子	福井大学
酒井 郁子	千葉大学	野崎真奈美	順天堂大学
平石 典子	筑波大学	佐藤まゆみ	順天堂大学
山田 緑	共立女子大学	廣岡 佳代	東京科学大学
清水 準一	東京医療保健大学	國府 浩子	熊本大学
吉田絵理子	川崎協同病院	森 菊子	兵庫県立大学
清水嘉与子	日本訪問看護財団	片岡 純	愛知県立大学
島蘭 進	大正大学	佐藤 直美	浜松医科大学
鈴木 久美	大阪医科薬科大学	藤田 佐和	高知県立大学
山田 雅子	聖路加国際大学	石垣 和子	前石川県立看護大学
井出 成美	千葉大学	笠谷 美保	千葉労災病院
佐野 元洋	千葉大学	富永 真己	摂南大学
森 優紀	前東邦大学	梅田 恵	ファミリー・ホスピス株式会社
片岡弥恵子	聖路加国際大学	桑子 嘉美	順天堂大学
實崎 美奈	産業医科大学	山本 武志	札幌医科大学
飯岡由紀子	埼玉県立大学	木村 眞子	宮城大学
青木美紀子	聖路加国際大学	阿部 恭子	東京医療保健大学

主要目次

第Ⅰ章 成人とは

1. 「成人」とは
2. 成人期の特徴

第Ⅱ章 成人をとりまく今日の状況

1. 家族をめぐる状況
2. 仕事をめぐる状況
3. 日常生活スタイルの変化
4. セクシュアリティの多様性
5. 環境問題の深刻化
6. 死生観の変容

第Ⅲ章 成人期にある人の健康

1. 健康とは
2. 成人にとっての病気の体験とは
3. 成人保健と今日の健康動向
4. 保健・医療・福祉政策と今日の健康課題
5. 生活習慣と健康
6. 職業・労働と健康
7. 生活ストレスと健康
8. 性・更年期と健康
9. 遺伝と健康
10. 災害と健康

第Ⅳ章 成人期にある人を看護するための基本的な考え方

1. 関係を結ぶ
2. 適応を促す
3. 発達を促進する
4. 統合を支援する

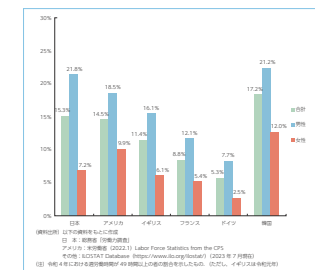
第Ⅴ章 健康状態に応じた看護

1. ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション
— 健康の保持・増進、疾病の予防に向けた看護
2. 健康状態が急激に変化した急性の
状態にある人への看護
3. 生活機能障害のある人への看護
(リハビリテーション看護)
4. 慢性的な経過をたどる健康障害を
有する人への看護
5. 人生の最終段階にある人への看護

第Ⅵ章 成人看護を充実させる実践的環境

1. 看護職の倫理綱領と成人看護
2. 専門職間の連携と協働
3. 医療安全
4. 質の高い看護実践のための人材育成

急性期・
慢性期看護、
緩和ケアなどに
つながる構成



2 ● 生産年齢人口の減少
生産年齢人口は労働力と密接した関係として、経済の発展および福祉サービスの提供の基盤が与えられる。国連の推定では、日本において第二次世界大戦後1947～1949年の第1次ベビーブームに生まれた人々、国連ジュニア世代とは、1971～1974年の第2次ベビーブームに生まれた人々を指す。この世代の人口増加率は、日本の人口増加率の中で最も高く、それ



必須の基礎知識、
最新の知見を
コンパクトに
まとめました

B. 成人にとっての病気の体験

1 ● 疾患 (disease)、病い (illness) の両方からとらえる成人の病気 (sickness)
これまで述べたように、病気には疾患と病いの2つの側面があり、それぞれの側面を分けて考える。その人の病気の体験は、したがって、同じ疾患に罹患しても、病いの体験は異なる。疾患は、その人の病気の体験、さらには病いの体験の基盤となる。その一方で、社会状況により個人の体験する「病い」が異なる。その結果「病い」としてとらえられる疾患も多岐にわたる。一般的に社会状況に基盤とした場合を例に、病いの体験を説明する。

2 ● 慢性疾患の体験

疾患と病いの両方からとらえても、病いの病気の体験は大きく異なる。例えば、心臓病 (Coronary) と糖尿病 (Diabetes) は、慢性疾患の体験 (sickness) が異なる。

成人看護学 急性期看護Ⅰ

概論・周手術期看護

改訂第4版



編集 林 直子 聖路加国際大学

佐藤まゆみ 順天堂大学

B5判・468頁 2023.3. ISBN978-4-524-23231-4 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 周手術期看護を事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 第Ⅰ部 急性期看護概論に「急性期看護における臨床判断」の項を追加しました。
- ▶ 第Ⅳ章「手術後期の看護」に「栄養状態のアセスメントと看護」を追加しました。
- ▶ 第Ⅵ章として「内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護」を新設しました。

本書の特長

- ✓ 「急性期看護概論」では、患者の身体的・心理的反応を、初学者にも配慮してわかりやすく解説しました。
- ✓ 「周手術期看護」では、周手術期看護を具体的な13の事例により解説。具体的な事例をもとに、患者の個性を考慮した看護を実践する視点を養います。

執筆

林 直子	聖路加国際大学	高井今日子	町田市民病院
田中 裕二	令和健康科学大学	山田 緑	共立女子大学
水野 道代	筑波大学	樺澤三奈子	新潟県立看護大学
佐藤 正美	東京慈恵会医科大学	神津 三佳	千葉大学医学部附属病院
奥 裕美	聖路加国際大学	網島ひづる	兵庫医科大学
佐藤まゆみ	順天堂大学	小元まき子	順天堂大学
後藤 紀久	岐阜大学医学部附属病院	井関 千裕	大阪明徳病院
手島 朋子	前岐阜大学医学部附属病院	奥 朋子	合同会社ウェルネスアトリウム
藤野 秀美	東邦大学	松本 文奈	聖路加国際大学
佐藤 理佳	聖路加国際大学	塩原由美子	前千葉県立保健医療大学
牧野 晃子	聖路加国際大学	谷 宏子	千葉県がんセンター
田口智恵美	千葉県立保健医療大学	高田 幸江	駒沢女子大学
渡邊亜津子	岡山大学病院		

目次

第Ⅰ部 急性期看護概論

1. 急性期看護とは
2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応
3. 急性の状態にある患者と家族に対する看護

第Ⅱ部 周手術期看護

第Ⅰ章 周手術期看護とは

1. 周手術期にある患者の特徴
2. 周手術期にある患者の家族の特徴

第Ⅱ章 手術前期の看護

1. 手術前期の看護とは
2. 手術前期の看護の実際

第Ⅲ章 手術期の看護

1. 手術期の看護とは
2. 手術期の看護の実際

第Ⅳ章 手術後期の看護

1. 手術後期の看護とは
2. 意識レベルのアセスメントと看護
3. 呼吸状態のアセスメントと看護
4. 循環動態のアセスメントと看護
5. 疼痛のアセスメントと看護
6. 術後感染のアセスメントと看護
7. 栄養状態のアセスメントと看護
8. 消化管機能のアセスメントと看護
9. 術後精神状態(術後せん妄)のアセスメントと看護
10. 早期離床の促進
11. 日常生活の援助と心理的援助

第Ⅴ章 退院に向けた指導・支援

1. 退院に向けた指導・支援とは
2. 退院に向けた指導・支援の実際

第Ⅵ章 内視鏡治療・鏡視下手術の術前・術後の看護

1. 内視鏡治療の術前・術後の看護
2. 鏡視下手術の術前・術後の看護

第Ⅶ章 事例で考える周手術期看護

1. 統制機能(脳神経機能)の再確立—開頭腫瘍摘出術
2. 呼吸機能の再確立—胸腔鏡下肺葉切除術
3. 循環機能の再確立—冠動脈バイパス術
4. 摂取機能の再確立①—食道切除術
5. 摂取機能の再確立②—胃切除術
6. 消化機能の再確立①—肝切除術
7. 消化機能の再確立②—腹腔鏡下胆嚢摘出術
8. 運動機能の再確立—人工股関節全置換術
9. 生殖機能の再確立①—乳房部分切除術
10. 生殖機能の再確立②—子宮摘出術
11. 排泄機能の再確立①—低位前方切除術
12. 排泄機能の再確立②—経尿道的前立腺切除術
13. 排泄機能の再確立③—腎移植

先生のこえ

- ➡ 経時的な関連図が示されているので、学生は看護過程の流れをイメージしながらポイントをおさえた学習が進められる。

成人看護学 急性期看護Ⅱ

クリティカルケア

改訂第4版



編集 佐藤まゆみ 順天堂大学

林 直子 聖路加国際大学

B5判・408頁 2023.3. ISBN978-4-524-23288-8

定価3,300円(本体3,000円+税10%)

！ 改訂のポイント クリティカルケアを事例から学べる実践的テキスト

- ▶ 集中治療室(ICU)や救急外来における急性状態にある患者の看護をクリティカルケアとしてとらえ直し、「第1部 クリティカルケアとは」「第2部 クリティカルケアの実践」の2部構成で内容を再編しました。
- ▶ 集中治療室、救急外来でのアセスメントの方法や、思考の流れ・判断方法について解説を充実させました。
- ▶ 新たに「急変した入院患者への看護」について章を設け、対応のプロセスや報告の仕方について解説を強化しました。

本書の特長

- ✓ すべての看護師が身につけておくべきクリティカルケアに関する基礎知識を解説しました。
- ✓ 第XII章では緊急性の高い11の病態について事例により解説。事例の展開を通して、救急搬送受け入れの準備、搬送受け入れ時の看護、診察後のICU移送までの看護、ICUでの治療時の看護が、実際の看護の流れに沿って理解できます。

執筆

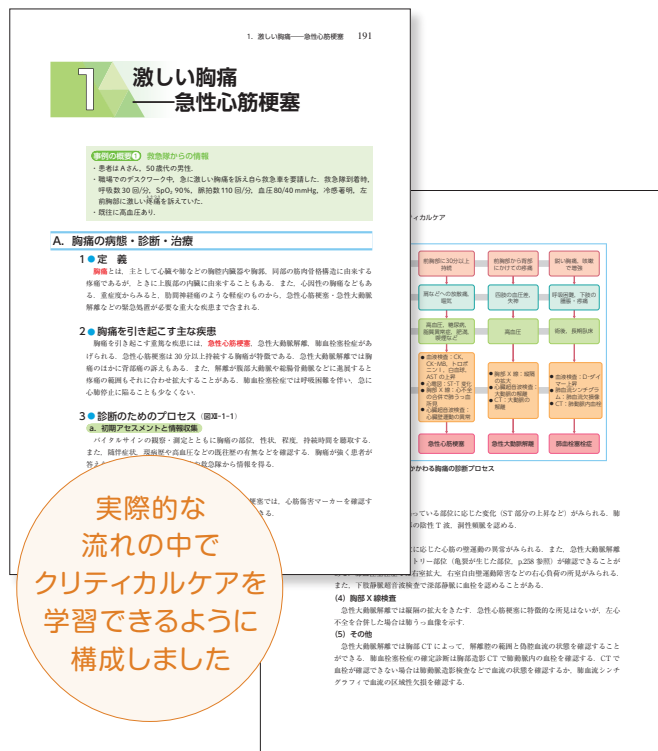
佐藤まゆみ	順天堂大学	比田井理恵	千葉県救急医療センター
中田 諭	聖路加国際大学	菅沢 直美	千葉県救急医療センター
伊藤 真理	川崎医療福祉大学	小安 麻子	千葉県救急医療センター
森山 幹夫	聖マリア学院大学	藤野 秀美	東邦大学
林 直子	聖路加国際大学	齊藤伊都子	順天堂大学医学部附属浦安病院
高梨奈保子	船橋市立医療センター	後藤 順一	河北総合病院
淵本 雅昭	東邦大学医療センター大森病院	苑田 裕樹	令和健康科学大学
吉田 澄恵	東京医療保健大学	増山 純二	令和健康科学大学
井上 昌子	東北大学病院	奥田 晃子	大同病院
澤田 美和	名古屋市立大学	角 由美子	日本赤十字社豊田医療センター名古屋第二病院
丸谷 幸子	名古屋市立大学病院	平野美佐子	千葉県こども病院
北村 直子	岐阜県立看護大学	三木佳奈子	千葉県救急医療センター
西塔依久美	順天堂大学	工藤 利香	千葉県救急医療センター
緒方久美子	福岡大学	今関加奈子	千葉県救急医療センター

主要目次

- 第1部 クリティカルケアとは
- 第1章 クリティカルケアとは何か
 - 1. クリティカルケア/クリティカルケア看護の歴史
 - 2. クリティカルケア看護とは
- 第2章 集中治療の現状
 - 1. 集中治療の歴史と動向
 - 2. 集中治療の種類と場の特徴
 - 3. 多職種連携によるチーム医療
- 第3章 救急医療の現状
 - 1. 救急医療の歴史と動向
 - 2. 救急医療体制
 - 3. プレホスピタルケア
 - 4. 救急医療と関連法令
- 第4章 集中治療・救急医療における倫理
 - 1. 集中治療・救急医療における倫理
- 第2部 クリティカルケアの実践
- 第5章 ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴
 - 1. ICU入室患者と家族の特徴
 - 2. 救急外来受診患者と家族の特徴
- 第6章 ICUにおける看護
 - 1. ICU入室患者に対するアセスメント
 - 2. ICU入室患者に対する看護の実践
 - 3. ICU入室患者の家族に対する看護
- 第7章 救急外来における看護
 - 1. 救急患者に対するアセスメント
 - 2. 救急患者に対する看護の実践
 - 3. 救急患者の家族に対する看護
- 第8章 急変した入院患者への看護
 - 1. 急変した入院患者への看護対応
- 第9章 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持
 - 1. 救命救急処置—心肺蘇生と生命維持
- 第X章 クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア
 - 1. クリティカルケアにおけるターミナルケア/エンドオブライフケア
- 第XI章 脳死状態に陥った患者と臓器移植
 - 1. 脳死状態に陥った患者と臓器移植
- 第XII章 事例で考えるクリティカルケア
 - 1. 激しい胸痛—急性心筋梗塞
 - 2. 激しい頭痛—くも膜下出血
 - 3. 呼吸困難—気管支喘息
 - 4. 急性腹痛①—急性大動脈解離
 - 5. 急性腹痛②—尿路結石
 - 6. 意識障害—低血糖
 - 7. ショック—アナフィラキシー
 - 8. 体温異常—熱中症
 - 9. 外傷—胸部外傷
 - 10. 熱傷—広範囲熱傷
 - 11. 中毒—睡眠薬中毒

先生のこえ

- ➡ 具体的な事例が既習の知識を実践につなげるようにポイントをしばって展開されており、限られた時間で学習することに配慮されている。



成人看護学

成人看護技術

生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める

改訂第3版



編集 野崎真奈美 順天堂大学
佐藤まゆみ 順天堂大学

林 直子 聖路加国際大学
鈴木 久美 大阪医科薬科大学

B5判・420頁
2022.3. ISBN978-4-524-22954-3
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 生きた看護技術をビジュアルに解説したテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「動画」を収載しました。QRコードからいつでも視聴できます。
- ▶ 臨床判断能力を養えるよう、看護技術の手順(Skill表)の説明において「(患者状態の)評価・記録を行う際の視点」を追加しました。
- ▶ 第III章に「集中治療」の視点を加え、新規項目として「大動脈バルーンポンピング(IABP)」「体外式模型人工肺(ECMO)/経皮的な心肺補助法(PCPS)」「挿管患者の口腔ケア」を追加しました。

本書の特長

- ✓ 基礎看護技術からステップアップし、成人看護学における看護技術の中で、とくに具体的手順を解説する必要があるものを集めました。
- ✓ 経過別看護の考え方を軸とし、「検査」「周手術期」「救急・ICU」「慢性期」で構成しています。
- ✓ 臨床と教育のギャップを解消し、生きた看護技術を習得することができるよう、看護技術の具体的手順を2列の表形式(Skill表)としました。
 - 通常の看護技術:「手順」と「根拠/ポイント/注意」
 - 検査、手術など、介助を行う技術:「医師の手順」と「看護師の手順」
 - 慢性疾患をもつ患者のセルフケアを促す技術:「患者・家族の行動」と「看護師の指導上のポイント」

主要目次

第I章 検査の介助

1. 生体機能検査 2. 画像診断 3. 内視鏡検査 4. 検体検査

第II章 周手術期の看護技術

1. 術前の看護技術 2. 術中の看護技術 3. 術後の看護技術

第III章 救急・集中治療時の看護技術

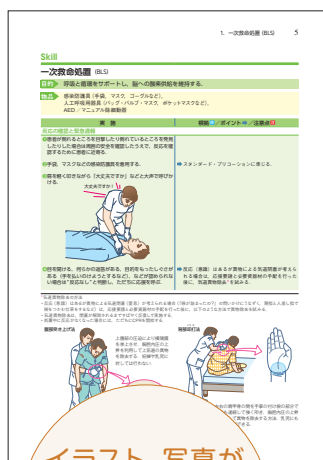
1. 一次救命処置(BLS) 2. 二次救命処置(ALS)
3. 救急外来・ICUにおける看護技術

第IV章 慢性疾患を有する患者のセルフマネジメントを促す技術

1. 患者教育が必要なセルフモニタリング技術 2. 患者教育が必要なセルフケア技術

執筆

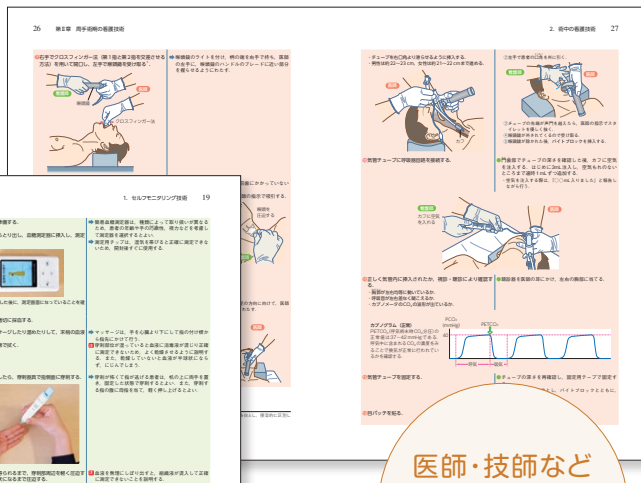
野崎真奈美	順天堂大学	緒方久美子	福岡大学
横山 美樹	東京医療保健大学名誉教授	三枝香代子	千葉県立保健医療大学
新田 汐里	宮崎大学	北村 直子	岐阜県立看護大学
高橋 綾	埼玉県立大学	東田かすえ	千葉大学医学部附属病院
高梨あさき	順天堂大学	田口智恵美	千葉県立保健医療大学
山田 緑	共立女子大学	工藤 孝子	順天堂大学医学部附属順天堂医院
仁藤 美穂	公益財団法人ライフ・エクステンション 研究所付属永寿総合病院	齊藤伊都子	順天堂大学医学部附属浦安病院
南 由起子	サンシティ横浜南	鈴木 久美	大阪医科薬科大学
池口 佳子	一般社団法人オリーブ／ 東京都立大学	池亀 俊美	榊原記念病院
小川真由美	聖路加国際病院	藤原 由子	神戸女子大学
大友 裕子	元聖路加国際病院	松本 麻里	公益社団法人福岡医療訪問 看護ステーションわかば
西澤 和子	聖路加国際病院	竹川 幸恵	大阪府立病院機構大阪びびきの医療センター
卯野木 健	札幌市立大学	齊藤 奈緒	宮城大学
四本 竜一	霧島市立医師会医療センター	清水 玲子	金沢医科大学
林 直子	聖路加国際大学	井上 智恵	社会福祉法人恩賜財団済生会病院
芹田 晃道	隠岐広域連合立隠岐病院	田島 純子	長崎大学病院
藤野 秀美	東邦大学	片岡 優実	名古屋市立大学医学部附属 みらい光生病院
逢阪 美里	聖路加国際病院	小西美ゆき	千葉大学
佐藤まゆみ	順天堂大学	窪岡佑子	兵庫医科大学病院



イラスト、写真が
豊富です
看護技術の根拠が
理解できます



患者さんへの
セルフケアの
指導のポイントが
理解できます



医師・技師など
との協働方法が
具体的に
理解できます

リハビリテーション看護

障害のある人の可能性とともに歩む

改訂第3版



編集 酒井郁子 千葉大学

金城利雄 金城大学

深堀浩樹 慶應義塾大学

B5判・416頁 2021.1. ISBN978-4-524-24629-8 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

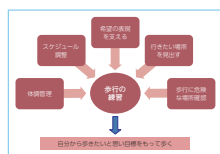
！ 改訂のポイント 理論と実践、どちらも充実していると大好評のテキスト

- ▶ オールカラー化し、写真を撮り直し・追加することで、視覚的により理解しやすくなりました。
- ▶ 看護の専門性と専門職連携の方法および共通の考え方となる国際生活機能分類(ICF)の項目が新たに入り、チームアプローチの実践に役立ちます。

本書の特長

- リハビリテーション看護の“専門性”を意識して実践できるように編集しています。国内外の研究者と豊かな経験を有する実践者が、これからの「リハビリテーション看護」をわかりやすく解説しました。
- 障害を持つ人の身体的な面からだけでなく心理的側面や社会的側面からアセスメントし、看護が展開できるように、具体的な事例を設定しています。

技術のポイントは写真とあわせて理解できます



図表3-1 リハビリテーション看護の専門性

体調を万全に整えるために血圧を管理したり痛みをとったりという体調管理は看護主導の介入により可能になる。また歩行の際に気をつけるべき危険な場所を一緒に確認するのは、ササセフルリビングの促進である。スケジュール調整や体調管理には専門職連携によるケアが欠かせない。これらのことを患者に説明して患者をエンパワーすることは看護職のリーダーシップの発揮にかかっている。



図表3-2 リハビリテーション看護の役割

第2章 リハビリテーション看護に必要なチームアプローチ

きなくてはならない。

以上から、リハビリテーションにかかわる看護は、さまざまな専門職に自分の看護としての専門的な判断を説明し、患者が生活機能障害を改善するために取り組む方向性を明確にすることに対して、看護職として適切な判断と具体的な役割を担う必要がある。

B. リハビリテーション看護の機能と役割

1. リハビリテーション看護の定義から

日本リハビリテーション看護学会は、リハビリテーション看護を「リハビリテーション看護とは、疾患・障害・加齢等による生活上の問題を伴う個人や集団に対し、障害の経過や生活の質にかかわらず、可能な限り日常生活活動(ADL)の自立とQOL(生命・生活・人生の質)の向上を図る専門性の高い看護である」と定義している。

この定義から、生活上の問題(障害)という言葉で生活機能障害を表現し、そのような生活機能障害のある個人と家族が対象となる看護であること、また障害の経過や生活の質にかかわらずに、急性期、回復期、生活期と障害の経過をフォローアップすること、そして場にかかわらずという表現からは病院、リハビリテーション施設だけでなく、自宅、長期ケア施設などもリハビリテーション看護の場に含まれることがわかる。

そして、リハビリテーション看護とは、日常生活の自立とQOLの向上が目的となった看護であり、転倒からの回復だけでなく生活機能の改善、とくに活動と参加に焦点をあてた看護であることがわかる。

2. リハビリテーション看護の4つの役割と具体例

アメリカリハビリテーション看護学会は、リハビリテーション看護の専門的な役割について、①看護職主導の介入、②ササセフルリビング(生活がうまくいくこと)の促進、③リーダーシップの発揮、④専門職連携によるケア、の4つを示している。

このアメリカリハビリテーション看護学会が示しているリハビリテーション看護の役割について、回復期の多職種連携のある人への看護を例にとって考えてみよう。

回復期にある患者が歩行障害という生活機能障害のためにリハビリテーションが必要となったとき、この患者にはリハビリテーションチームがかわかる。看護職はリハビリテーションチームの一員として、歩行障害の改善のために何ができるだろうか。

歩行の練習へのアドバイスは理学療法士が行うかもしれない。基礎疾患に対して治療計画を立てて薬を処方する医師である。たまたま歩行には歩行器が必要かもしれない。つまり患者が「うまく歩行する(successful walking)」ためには、その患者が歩きたいのか、歩けるようになったのか、歩いていきたいのかはどうか、という歩行への希望の表現を伝え、歩きたい場所を患者が見出すように情報を提供したり、歩行の際に気をつけるべき危険な場所を一緒に確認し学習を支援したり、リハビリテーションのためにさまざまな機関がかわかる患者の活動や練習を安全に、目的意識や生活の中に入れて人々でスケジュールを調整したり、治療方法を考えるために患者を支援したりと様々な役割を担うという役割を担うことになる。歩行の練習そのものだけでなく可能性が高い(図表3-1)。

具体的な『事例』を適宜設定、知識の定着を図ります

執筆

酒井 郁子	千葉大学	高岡 徹	横浜市総合リハビリテーションセンター
金城 利雄	金城大学	大久保暢子	聖路加国際大学
中島八十一	長野保健医療大学	塩田美佐代	湘南医療大学
山崎千寿子	東京医療保健大学	佐藤多美子	横浜市総合リハビリテーションセンター
大塚真理子	長野県看護大学	飯田 直子	千葉県千葉リハビリテーションセンター
細田満和子	星槎大学	石川ふみよ	上智大学
岩隈 美穂	京都大学	千葉 由美	横浜市立大学
鈴嶋よしみ	東北大学	菅井亜由美	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
出江 紳一	医療法人社団三善会鶴巻温泉病院	尾上 望	前千葉県千葉リハビリテーションセンター
末永 由理	東京医療保健大学	西垣 昌和	国際医療福祉大学
黒田久美子	千葉大学	荒木 暁子	東邦大学
鳥田美紀代	東邦大学	佐瀬真粧美	東邦大学
遠藤 淑美	鳥取看護大学	深堀 浩樹	慶應義塾大学
Nancy Feeley	Ingram School of Nursing	藤井 博之	長野大学
周 宇形	北京大学护理学院	織井優貴子	東京都立大学
黒河内仙奈	神奈川県立保健福祉大学	大館 千歳	国立障害者リハビリテーションセンター
田中 康之	千葉県千葉リハビリテーションセンター	◎医学監修	
宮下 智	帝京科学大学	高岡 徹	横浜市総合リハビリテーションセンター
伊藤 靖代	元帝京科学大学		
泉 キヨ子	帝京科学大学		

主要目次

第1章 リハビリテーションとは

1. リハビリテーションの理念
2. リハビリテーションの歴史
3. リハビリテーションにかかわる法律
4. 生活機能分類と生活機能障害の構造

第2章 リハビリテーション医療に必要なチームアプローチ

1. リハビリテーションに必要なチームアプローチ
2. リハビリテーション医療に携わる専門職の役割・機能
3. リハビリテーション看護の専門性

第3章 生活機能障害のある人とその家族の理解

1. 障害と共に生きる技法
2. 患者と家族が体験する障害の世界
3. 障害とともに年をとる

第4章 リハビリテーション看護の展開に必要な概念と理論

1. リハビリテーションを必要とする人への看護の目的を定めるために
2. リハビリテーションを必要とする人との関係を構築するために
3. リハビリテーションを必要とする人への看護を展開するために

第5章 リハビリテーション看護の目的と方法

1. 不動・低活動の予防(生命レベル)
2. 活動の促進(生活レベル)
3. 参加の促進(人生レベル)

第6章 回復過程とリハビリテーション看護

1. 急性期におけるリハビリテーション看護
2. 回復期におけるリハビリテーション看護
3. 生活期におけるリハビリテーション看護

第7章 生活機能障害とリハビリテーション看護

1. 運動機能障害のある人への看護—脳卒中の場合
2. 高次脳機能障害のある人への看護
3. 運動機能障害のある人への看護—脊髄損傷の場合
4. 運動機能障害のある人への看護—大腿骨近位部骨折の場合
5. 摂食嚥下障害のある人への看護
6. 排泄機能障害のある人への看護
7. 心身障害を有して生まれ成人した人への看護

第8章 リハビリテーション看護における倫理的諸問題

1. リハビリテーション看護における倫理的諸問題

第9章 リハビリテーション看護のシステム化と発展を目指して

1. 療養の場の移行に伴う看護の継続
2. リハビリテーション看護の質改善
3. 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション
4. 地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護
5. リハビリテーション看護の現状と課題

その人にとっての最善をめざして



増島麻里子 千葉大学

定価2,860円(本体2,600円+税10%)

- ✓ エンドオブライフの時期にある対象者を理解するための6つの視点をういた新しいエンドオブライフケアの教科書。
- ✓ 死生観やその社会的・文化的・宗教的背景、終末期医療・ケアや看取りに関する倫理的課題から、エンドオブライフケアの時期にある人やその家族への支援方法まで、すべてがこの1冊で学べます。
- ✓ 最終章では、臨床で出会うことの多い場面や倫理的な課題を抱えやすい場面を含んだ8つの事例をとりあげ、対象者を6つの視点からとらえ、理解を深めながら“その人にとって最善のケア”を探っていきます。

谷本真理子	東京医療保健大学	大城 京子	快護相談所和び咲び
川瀬 貴之	千葉大学	増島麻里子	千葉大学
佐々木惠雲	藍野大学	藤澤 陽子	千葉大学医学部附属病院
黒田寿美恵	県立広島大学	武見 綾子	川崎市立川崎病院
村瀬樹太郎	東京慈恵会医科大学附属第三病院	宇佐美利佳	岐阜県立看護大学
富岡 晶子	千葉大学	片岡 純	愛知県立大学
奥村美奈子	岐阜県立看護大学	小野 年弘	千葉大学
山崎由利亜	千葉大学	平原佐斗司	東京ふれあい医療生活協同組合・梶原診療所
池崎 澄江	千葉大学	松山 直美	京都大学医学部附属病院
石橋もゆき	千葉大学	橋爪 由樹	東京医療保健大学
依田 智未	千葉大学	渡邊 美和	前東都大学
西田 佳世	聖力タリナ大学	山崎 智子	前東京医科歯科大学
渡辺 悠	東北大学病院	小林 成光	聖路加国際大学
酒井 菜法	臨床宗教師・日蓮宗僧侶	佐々木ちひろ	千葉大学
箕岡 真子	箕岡医院	古川 直美	岐阜県立看護大学
櫻井智穂子	東京医療保健大学	金澤麻衣子	東北大学病院
会田 薫子	東京大学	横江由理子	いきいき在宅クリニック
竹川 幸恵	大阪はびきの医療センター	渡邊 朋	千葉大学医学部附属病院
山崎千寿子	東京医療保健大学	佐藤 奈保	千葉大学
西川 満則	国立長寿医療研究センター	湯本 晶代	千葉大学

序章 エンドオブライフケアを学ぶにあたって

第Ⅰ章 人が生きるとは、死ぬとは

- 1 人が生きること、死ぬこと
- 2 発達段階からみた死

第Ⅱ章 死をとりまく社会状況

- 1 日本における終末期医療・ケア
- 2 死を迎える場所とかわる人たち
- 3 看取りに関する倫理的課題

第Ⅲ章 エンドオブライフケアとは

- 1 エンドオブライフケアの定義および基盤となる概念
- 2 意思決定
- 3 エンドオブライフケアにおけるチームアプローチ

第Ⅳ章 最期までよりよく生きることを支えるエンドオブライフケアの考え方

- 1 最期までよりよく生きることを支えることとは
- 2 その人にとっての「望ましい状態」と状態把握の視点
- 3 対象理解の視点

第Ⅴ章 エンドオブライフの時期にある人への援助

- 1 症状マネジメント
- 2 日常生活支援
- 3 意思決定支援

第Ⅵ章 臨死期の看護

- 1 死が近づいた人の身体徴候のとりえ方
- 2 看取り時の看護

第Ⅶ章 エンドオブライフに関わる人への支援—家族、親近者—

- 1 家族および親近者の心理・心理的過程
- 2 家族や親近者の力を引き出す支援
- 3 遺族や残された親近者およびケアにあたった医療者への支援

第Ⅷ章 事例で学ぶエンドオブライフケア

- 1 病院で死を迎えるまでの意思決定と調整
- 2 療養場所の移行における調整と連携
- 3 人工呼吸器装着に関する意思決定支援
- 4 不安、悲嘆が強い家族の看護
- 5 介護施設で暮らす認知症患者の医療介入と終の棲家の選択の支援
- 6 エンドオブライフの時期にある子どもの理解と看護
- 7 独居高齢者の在宅での看取りに向けたシステムづくりと看護
- 8 関係構築が難しい脆弱な長期療養患者の意向理解と支援

医療者が最善のエンドオブライフケアを提供するためには、エンドオブライフの時期にある人の意向を最大限に尊重し、家族や親近者などの考えと医療者の専門的知見とをすり合わせ、いかに実現できるかを検討することが重要である。

医療者が最善のエンドオブライフケアを提供するためには、エンドオブライフの時期にある人の**意思**を最大限に尊重し、家族や看護者との考えと医療者の専門的知識とを合わせる、これに実質で最も必要とされることである。

この節では、エンドオブライフの時期にある人の意向を理解する手がかりとして、彼らの視点を3つの「**視点**」-3-1。にげられ、エンドオブライフの時期にある人が人生を過ごすその人が思い強く自分らしい人生を、最後までよりよく生きることとを支援するための視点である。これらの視点に代表されるとして、医療者や家族は、エンドオブライフの時期にある人の人生の最終4週（以下で「**最終4週**」）を最もよく知る、現時点で最も確りる「**最終4週まじり状態**」を、その人の心身の状態の変化に照して連続し、共に乗り越えていく。

[illegible][illegible]

がん看護

様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える

改訂第2版



新刊

編集 鈴木久美 大阪医科薬科大学

林 直子 聖路加国際大学

佐藤まゆみ 順天堂大学

B5判・364頁 2025.1 ISBN978-4-524-21072-5 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 考え方から看護の実践まで、「がん看護」を体系的に学習できる好評テキスト

- ▶「がん対策」の項目では、「第4期 がん対策推進基本計画」の内容を反映しました。
- ▶症状マネジメントの項目の一つとして「末梢神経障害」を追加。また、がん患者の療養の場のバリエーションとして「災害時の看護」の節を新設しました。
- ▶「免疫チェックポイント阻害薬」や「CAR-T細胞療法」など治療における最新情報のほか、統計数値等も最新のものにアップデートしました。

本書の特長

- ✓ 患者の年齢や社会的役割、臨床経過の違いによってがん患者や家族が感じる苦痛や生活上の困難が異なることから、それらの特徴をふまえた看護について学べるよう編集しています。
- ✓ 事例の章(第VIII章)では、多様な発達段階・臨床経過を例に、情報関連図で情報を整理し、看護問題を挙げ、看護の考え方と実践例を示しています。
- ✓ 療養の場の移行支援や、地域で支えるための連携、アドバンス・ケア・プランニングなど、近年重視されている事柄も、事例を通して学ぶことができます。

執筆

鈴木 久美	大阪医科薬科大学	小塚 拓洋	虎の門病院
神田 直子	聖路加国際大学	神田 善伸	自治医科大学附属病院
高山 千香	神奈川県立保健福祉大学	村上 晴泰	静岡県立静岡がんセンター
廣瀬 善信	大阪医科薬科大学	阿部 桂子	国立がん研究センター
西野 善一	金沢医科大学	後藤 恭子	東京医療保健大学
山内 照夫	ハワイ大学	近藤 志保	がん研究会有明病院
山中 美智子	聖路加国際病院	中島 美紀	国立がん研究センター東病院
平塚 勇司	元聖路加国際病院	保坂 和子	静岡県立静岡がんセンター
重岡 靖	淀川キリスト教病院	荒尾 晴恵	大阪大学
保坂 隆	保坂サイコoncology・クリニック	向井美千代	神戸救済会病院
辻 哲也	慶應義塾大学	梅澤三奈子	新潟県立看護大学
大野 智	島根大学医学部附属病院	千崎美登子	北里大学病院
佐藤まゆみ	順天堂大学	細田 志衣	聖路加国際病院
高山 京子	順天堂大学	八巻真紀子	前聖路加国際大学
山崎 麻理	聖路加国際大学	井沢 知子	神戸市看護大学
小川 富美子	近畿大学	本田 晶子	慶義塾大学
府川 晃子	兵庫医科大学	岩田多加子	聖路加国際病院
増島麻里子	千葉大学	清水奈緒美	湘南医療大学
小林 京子	聖路加国際大学	濱本 千春	YMCA訪問看護ステーションピース
渡邊 知映	昭和大学	高屋敷麻理子	岩手県立大学
綿貫 成明	上智大学	松本 明子	株式会社ガイアメディア
高橋奈津子	神奈川県立保健福祉大学	今津 陽子	東京科学大学
大城 伶	神戸医療産業都市推進機構	竹之内直子	京都府立医科大学附属病院
上野府圭子	国際医療福祉大学	連坂 美里	聖路加国際病院
首藤 彦彦	帝京大学ちば総合医療センター	井関 千裕	大阪府立国際病院
鍋谷 宏	千葉葉がんセンター	南口 陽子	大阪医科薬科大学
辻 博行	大阪医科薬科大学病院	谷 宏子	千葉葉がんセンター
藤阪 保仁	大阪医科薬科大学		

主要目次

- 第I章 がん看護とは
- 第II章 がんおよびがん医療の理解
 - 1. がんの疫学とがん対策
 - 2. がんの病態と集学的治療
 - 3. がん医療における専門職連携
 - 4. がん医療における倫理
- 第III章 がんになった人とその家族の理解および看護
 - 1. がんの臨床経過におけるがん患者の特徴と援助
 - 2. 発達段階におけるがん患者の特徴と援助
 - 3. がんサバイバーシップとソーシャルサポート
 - 4. がん患者の家族の特徴と支援
- 第IV章 がん患者に対する治療
 - 1. 手術療法
 - 2. 薬物療法
 - 3. 放射線療法
 - 4. 造血幹細胞移植
 - 5. 免疫療法
- 第V章 がん治療を受ける患者の看護
 - 1. 手術療法を受ける患者の看護
 - 2. がん薬物療法を受ける患者の看護
 - 3. 内分泌療法を受ける患者の看護
 - 4. 放射線療法を受ける患者の看護
 - 5. 造血幹細胞移植を受ける患者の看護
 - 6. 免疫療法を受ける患者の看護
- 第VI章 緩和ケア
 - 1. 緩和ケアとは
 - 2. 症状マネジメントとは
 - 3. 各症状のマネジメント
- 第VII章 がん患者の療養の場における看護
 - 1. 外来における看護
 - 2. 在宅における看護
 - 3. 緩和ケア病棟/ホスピス病棟における看護
 - 4. がん患者の療養の場の移行支援
 - 5. 災害時のがん患者への看護
- 第VIII章 事例で考えるがん看護
 - 1. 小児がん患者への看護—急性性白血病の女性
 - 2. AYA世代(若年成人)のがん患者への看護—精巣がんの男性
 - 3. 成人(壮年期)のがん患者への看護—乳がんの女性
 - 4. 成人(壮年期)のがん患者への看護—肺がんの男性
 - 5. 高齢者のがん患者への看護—大腸がんの男性

緩和ケア

尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐ技と心

改訂第3版

新刊



監修 梅田 恵 ファミリー・ホスピス株式会社 射場典子 聖路加国際大学

編集 林糸り子 横浜市立大学 新幡智子 慶應義塾大学 酒井禎子 新潟薬科大学

B5判・330頁
2025.1. ISBN978-4-524-21002-2
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

！ 改訂のポイント 緩和ケアの概念から実践的な知識までコンパクトにまとめたテキスト

- ▶ 緩和ケアの基盤となる考え方として、「緩和ケアにおけるコミュニケーション」「看護師のセルフケア」を追加しました(第II章)。
- ▶ 緩和ケアの実際の章(第III章)に、身体的苦痛、精神的苦痛、スピリチュアルペインへのケアに加え、新たに「社会的苦痛へのケア」の節を設けました。
- ▶ 事例をとおして緩和ケアを学ぶ第VI章に「誤嚥性肺炎」と「ALS」の事例が新たに加わるなど、がん以外の疾患(非がん疾患)への緩和ケアの内容が充実しました。
- ▶ さまざまな対象への緩和ケアとして、第IV章に「救急・集中治療領域における緩和ケア」を新設しました。

本書の特長

- ✓ 緩和ケアを、診断時からすべての病期にわたって治療と並行して行われるケアとして捉え、基本的な知識や実践方法について、初学者にもわかりやすく解説しました。
- ✓ 現在にいたる緩和ケアの発展の歴史を簡潔にまとめ、緩和ケアが行われるさまざまな場について紹介しました。
- ✓ 事例を通して、さまざまな対象・場面における緩和ケアの実際を学ぶことができます。

執筆

射場 典子	聖路加国際大学	澤口 由人	札幌市立大学
梅田 恵	ファミリー・ホスピス株式会社	廣岡 佳代	東京科学大学
林 糸り子	横浜市立大学	井沢 知子	神戸市看護大学
新幡 智子	慶應義塾大学	野村 優子	がん・感染症センター都立駒込病院
池亀 俊美	昭和大学横浜市北部病院	河野佐代子	慶應義塾大学病院
平山さおり	榊原記念病院	品田 雄市	東京医科大学八王子医療センター
宇野さつき	KKR 札幌医療センター	田村 恵子	大阪歯科大学
竹之内紗弥香	ファミリー・ホスピス株式会社	西山みどり	有馬温泉病院
小笠原利枝	京都大学	宇都宮明美	関西医科大学
柏木 夕香	ファミリー・ホスピス株式会社	柏崎 純子	共立女子大学
岸野 香	新潟県立新発田病院	中島 大地	ファミリー・ホスピス株式会社
森川 真理	三愛会総合病院	前浦 栄子	京都大学医学部附属病院
小野若菜子	横浜市立大学附属病院	本田 晶子	慶應義塾大学
矢ヶ崎 香	東京都立大学	中村喜美子	鈴鹿医療科学大学
高橋 紀子	慶應義塾大学	村木 明美	済生会松阪総合病院
川村三希子	国立病院機構仙台医療センター	本間 織重	昭和大学病院／昭和大学

主要目次

- ### 第I章 緩和ケアとは
1. 緩和ケアとは—尊厳ある生と死、大切な生活をつなぐケア
 2. 緩和ケアの歴史と定義
 3. 緩和ケアをとりまく今日の状況
 4. 日本の緩和ケアに関する政策の変遷と動向
 5. さまざまな場における緩和ケア
 6. 諸外国における緩和ケアの体制
 7. 日本の緩和ケアに関する継続教育
- ### 第II章 緩和ケアの基盤となる考え方
1. 尊厳を支えるケア
 2. 症状マネジメント
 3. 日常生活を支えるケア
 4. 緩和ケアにおけるコミュニケーション
 5. 意思決定を支えるケア
 6. 家族ケア
 7. グリーフケア
 8. 緩和ケアにおける多職種チームアプローチ
 9. 看護師のセルフケア
- ### 第III章 全人的苦痛に対する緩和ケアの実践
1. 身体的苦痛へのケア
 2. 精神的苦痛へのケア
 3. 社会的苦痛へのケア
 4. スピリチュアルペインへのケア
- ### 第IV章 さまざまな対象への緩和ケア
1. 認知症を有する人への緩和ケア
 2. 心不全を有する人への緩和ケア
 3. 慢性呼吸不全を有する人への緩和ケア
 4. 神経難病を有する人への緩和ケア
 5. 救急・集中治療領域における緩和ケア
- ### 第V章 臨死期のケア
1. 臨死期のケアとは
 2. 臨死期にある患者へのケア
 3. 臨死期にある患者の家族へのケア
 4. 死の迎え方の多様性
- ### 第VI章 事例で学ぶ緩和ケアの実践
1. 事例① 療養の場をつなぐ—肺がん多発骨転移により痛みを抱えて生活する患者への継続看護
 2. 事例② セルフケアを促す—患者が自分でも症状緩和を図れると感じるようなかかわり
 3. 事例③ 「食べたい」という希望を支える—誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者へのかわり
 4. 事例④ 進行する機能低下を支える—全人的苦痛を理解し、希望を支えるかわり
 5. 事例⑤ スピリチュアルケア—死に向き合うことを余儀なくされて苦悩する患者へのかわり
 6. 事例⑥ 家族のケア—終末期にある患者の妻の予期悲嘆に対する援助
 7. 事例⑦ チームによる緩和ケア—病棟・緩和ケアチーム・退院調整部門の看護師による協働
 8. 事例⑧ 在宅での看取り—痛みの強い終末期がん患者の在宅での看取り
 9. 事例⑨ 看護師が行うグリーフケア—妻を見送った夫の悲しみへのかわり



老年看護学概論

改訂第4版



「老いを生きる」を支えることは

編集 正木治恵 千葉大学 真田弘美 石川県立看護大学

B5判・420頁 2023.3. ISBN978-4-524-23378-6 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護師として高齢者を支えるために必要な理論・考え方を全て学べるテキスト

- ▶ 超高齢社会、人生100年時代となった社会の変化に合わせ、新たな老年看護学の考え方を学べるよう構成・内容を大幅に見直しました。
- ▶ 高齢者の健康レベルが高まったことを背景に、「高齢者の労働」の項や「高齢者の健康の維持・回復への支援」の章を新たに設けました。
- ▶ 高齢者の療養・生活する場が多様なことから、医療施設における看護だけでなく、医療施設退院時の支援や、介護保険施設に入居する高齢者、居宅サービスを利用する高齢者への看護の項目を設けました。

本書の特長

- ✓ 老年看護学の基本を「対象理解」に置き、からだ、こころ、暮らし、かわり、生きがいの5つの側面からとらえられるよう記載しています。
- ✓ 老年看護に活用できる理論・アプローチをまとめ、具体的な事例を通してわかりやすく解説しています。
- ✓ 初版(2011年刊行)以来、地域で暮らす高齢者が安全に安心して希望を持って暮らせること、そのような地域づくりを看護職が支えるという視点を大切にしています。

執筆

正木 治恵	千葉大学	谷本真理子	東京医療保健大学
小野 幸子	日本医療大学	齋藤 信子	信州大学
竹屋 泰子	大阪大学	小池 潤	千葉メディカルセンター
瀬戸 奈津子	関西医科大学	石橋みゆき	千葉大学
井出 訓子	放送大学	山下 裕紀	関西医科大学
辻村 良之	滋賀医科大学	黒田久美子	千葉大学
田所 良子	東京医科大学	高橋 弘美	船橋市立医療センター
坂井 志麻	上智大学	須藤 麻衣	武蔵野赤十字病院
野口美和子	沖縄県立看護大学名誉教授	大久保みずす	順天堂大学医学部附属順天堂
鳥海 幸恵	川崎市立川崎病院		東京江東高齢者医療センター
長畑 多代	大阪公立大学		済生会横浜市東部病院
河井 伸子	大手前大学		日本医科大学千葉北総病院
松本 啓子	香川大学		前千葉県立リハビリテーションセンター
征矢野あや子	京都橘大学		大島訪問看護ステーション
高橋 喬代子	相澤病院		順天堂大学
島田 広美	順天堂大学		順天堂大学
村角 直子	金沢医科大学		青梅慶友病院
近藤 絵美	日本赤十字豊田看護大学		淑徳大学
井出 成美子	千葉大学		淑徳大学
今村恵美子	前千葉大学		文子
山崎由利亜	千葉大学		園田学園女子大学
鳥田美紀代	東邦大学		沖縄県立看護大学名誉教授
佐々木ひろ	千葉大学		沖縄県立看護大学
高橋 良幸	東邦大学		カリフォルニア州サンファエル カイザー病院

主要目次

第Ⅰ章 老年看護学を理解するための基盤

1. 人間の一生と発達
2. 人間発達論における老年期
3. 老いを生きることの意味
4. 加齢と健康
5. 高齢者をとりまく社会状況
6. 高齢者と家族
7. 高齢者の労働
8. 高齢者の暮らしの場

第Ⅱ章 老年看護の理念と目標

1. 老年看護の理念
2. 老年看護の目標
3. 老年看護の倫理

第Ⅲ章 老年看護に活用できる理論・概念

1. 健康の概念
2. セルフケア
3. サクセスフルエイジング
4. ウェルネスアプローチ
5. コンフォート
6. ライフストーリー
7. レジリエンス
8. ストレングス
9. エンパワメント
10. スピリチュアリティ

第Ⅳ章 老年看護の対象理解

1. 対象特性
2. 対象理解のための5つの側面
3. 歳月の積み重ね
4. 対象理解の深まりと広がり

第Ⅴ章 対象把握のためのアセスメント

1. 対象理解のための5つの側面の把握
2. 高齢者の機能評価と指標
3. 高齢者の症状と検査・治療に伴う影響のアセスメント
4. 介護を必要とする高齢者の家族のアセスメント

第Ⅵ章 高齢者の健康の維持・回復への支援

1. 豊かな生活の創出・支援
2. ADL機能の維持・回復への支援
3. セルフケア能力の維持・向上への支援
4. 健康問題の予測と予防への支援

第Ⅶ章 高齢者の療養生活の支援

1. 外来を受診する高齢者の看護
2. 医療施設に入院する高齢者の看護
3. 医療施設から退院する高齢者の看護
4. 高齢者のリハビリテーション看護
5. 介護保険施設に入居している高齢者の看護
6. 居宅サービスを利用している高齢者と家族の暮らしと看護

第Ⅷ章 認知症の高齢者の支援

1. 認知症の高齢者の理解と看護の基本
2. 認知症の高齢者の家族介護者の理解と支援
3. 認知症の高齢者が地域で安全に安心して暮らすための支援
4. 急性期治療を行う病院での認知症高齢者への看護

第Ⅸ章 高齢者のエンドオブライフケア

1. 高齢者のエンドオブライフケアに求められること
2. 意思決定支援とアドバンスケアプランニング
3. 高齢者の尊厳を支える看取り
4. 終末期の家族支援

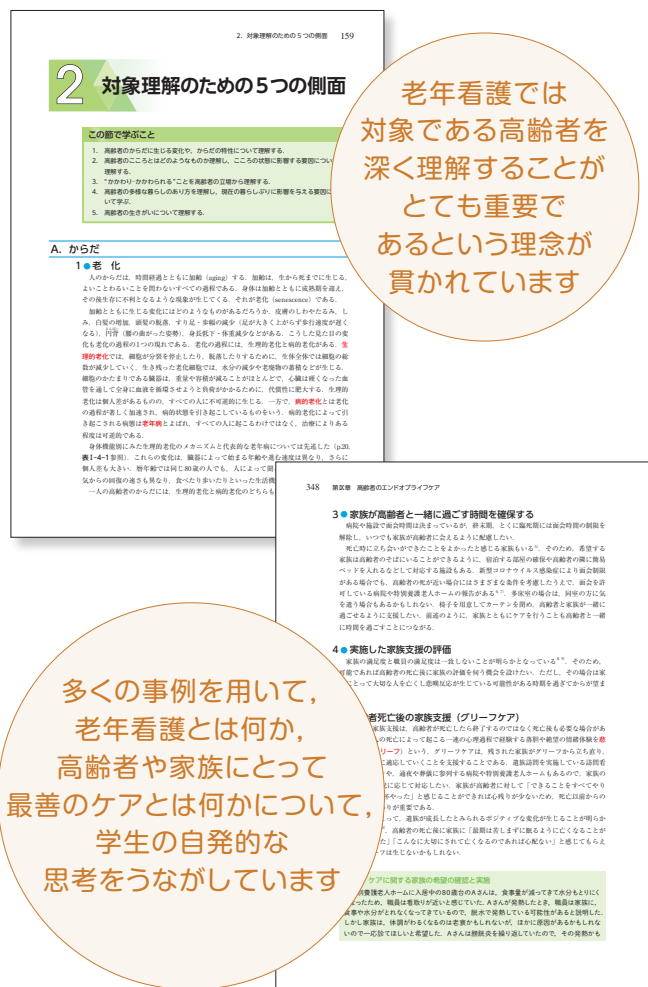
第Ⅹ章 生かしかれる地域づくり

1. 安全に安心して希望をもって暮らせる地域づくり
2. よりよい地域づくりのための多職種協働
3. 高齢者の地域づくりへの参画
4. 災害に備える

第Ⅺ章 老年看護学の課題

1. 米国のCNS・NPからみる今後の日本の看護師像
2. 老年看護学の教育・研究の発展

索引



多くの事例を用いて、
老年看護とは何か、
高齢者や家族にとって
最善のケアとは何かについて、
学生の自発的な
思考をうながしています

老年看護学技術

改訂第4版

最後までその人らしく生きることを支援する



編集 真田弘美 石川県立看護大学 正木治恵 千葉大学

B5判・512頁 2023.3. ISBN978-4-524-23317-5 定価3,740円(本体3,400円+税10%)

！ 改訂のポイント “看護の視点”を中心に据えた内容構成が好評のテキスト

- ▶ これからの老年看護においてますます重要になる「自立・自律に向けた支援」「セルフケア支援」に欠かせないウェルネスの視点の解説をいっそう充実させました。
- ▶ 高齢の心不全患者への支援の必要性が高まっていることから、第Ⅲ章に「循環」の項目を、第Ⅴ章に「慢性心不全」の事例を追加しました。

本書の特長

- ✓ 誰もが幸せに老いることのできる社会の実現を目指した老年看護のコンセプトをもとに、手技・手順よりも必要とされる視点に重点を置いています。
- ✓ 生活機能別(呼吸, 食事, 排泄など)に項目立てし、加齢に伴う変化や老年症候群を含めた障害を解剖・病態生理から学び、根拠をもってアセスメント・介入・予防・評価をする方法を解説しています。
- ✓ 代表的な疾患の事例を挙げ、機能障害だけでなく高齢者の潜在的な強みにも焦点をあて、“その人らしい生活”の実現・維持につなげる看護の展開を例示しています。

執筆

真田 弘美	石川県立看護大学	高井ゆかり	群馬県立県民健康科学大学
山本 則子	東京大学	仲上豪二郎	東京大学
卯野木 健	札幌市立大学	西山みどり	有馬温泉病院
貝谷 敏子	札幌市立大学	田高 悦子	北海道大学
田中 靖代	ナーシングホーム気の里	齋藤 君枝	千葉科学大学
東村 志保	湘南医療大学	谷口 好美	金沢大学
松本 勝	石川県立看護大学	平松 知子	金沢医科大学
大江 真琴	金沢大学	山田 正己	帝京科学大学
加藤真由美	金沢大学	正源寺美穂	金沢大学
勝野とわ子	岩手保健医療大学	糸井 和佳	帝京科学大学
須釜 淳子	藤田医科大学	吉田 俊子	聖路加国際大学
大桑麻由美	金沢大学	鈴木 峰子	群馬県立県民健康科学大学
川島 和代	石川県立看護大学	紺家千津子	石川県立看護大学
清水 詩子	新潟大学	赤瀬 智子	横浜市立大学
松本佐知子	日本赤十字看護大学	峰松 健夫	石川県立看護大学
田中 久美	筑波メディカルセンター病院	北村 言	東京大学
四谷 淳子	福井大学		

主要目次

第Ⅰ章 現代の高齢者とその理解

1. 高齢者の理解
2. 高齢者の看護

第Ⅱ章 老年看護の基本技術——ヘルスアセスメント

1. ヘルスアセスメントとは
2. ヘルスアセスメントの実践

第Ⅲ章 高齢者の生活と看護——加齢変化とフィジカルアセスメントの技術

1. 呼吸
2. 循環
3. 食事
4. 排泄
5. 動作と移動
6. 睡眠
7. 体温
8. 清潔
9. コミュニケーション
10. 性

第Ⅳ章 高齢者に特徴的な症状と看護——老年症候群

1. 起立・歩行障害
2. 感覚機能障害
3. 摂食・嚥下障害
4. 脱水
5. 低栄養
6. 皮膚痒感
7. 痛み
8. 褥瘡
9. 尿失禁
10. 便秘・下痢
11. 不眠
12. うつ
13. 寝たきり
14. せん妄
15. 転倒
16. 骨折
17. 感染症

第Ⅴ章 高齢者に特徴的な疾患と看護——事例による展開

1. 急性期の看護(胃がん)
2. リハビリテーション看護(大腿骨頸部骨折)
3. 慢性期の看護(慢性閉塞性肺疾患)
4. 慢性期の看護(慢性心不全)
5. 認知機能障害の看護(アルツハイマー病)
6. 緩和ケア(大腸がん)
7. パーキンソン病の看護
8. 薬物療法を受ける高齢者の看護

第Ⅵ章 老年看護技術の新たな動向と課題

1. 感染症をめぐる新たな動向と課題
2. 老年看護の将来に向けた看護技術の動向

具体的な事例をもとに、“生きた看護”を学習することができます

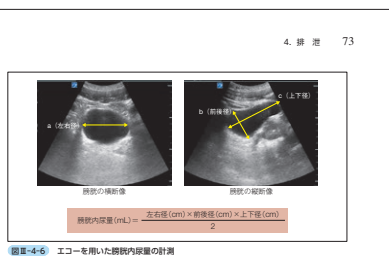
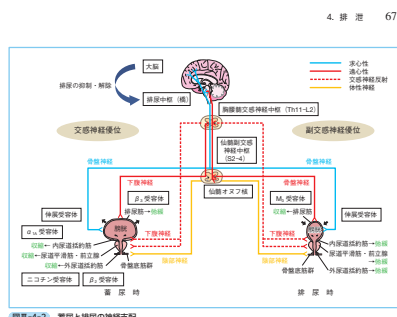


図4-6 エコーを用いた膀胱・直腸の計測



2 ● 高齢者の下部尿路の特徴

① 膀胱機能

老年期には、平滑筋細胞の間の結合組織である膀胱筋が増加し、膀胱筋の弛緩に伴う弾性の低下や萎縮によって、膀胱容量が減少する。高齢者の膀胱容量は250～400 mLといわれる。また、膀胱筋収縮力の低下により、加齢に伴う尿量増加や最大尿流率の低下が起る(膀胱筋低活動, detrusor underactivity)。

② 尿道機能

男性の場合は、加齢に伴い尿道が短縮し、最大尿道圧が減少する。女性の場合は、加齢により膀胱筋と血管成分が減少し、結合組織成分が増加する。とくに出産経験者において膀胱筋細胞の密度がより低下し、閉経後は尿道閉塞圧が低下する。

③ 膀胱および尿道弛緩

加齢に伴って膀胱尿道上皮における神経伝達物質の放出が増加し、膀胱の知覚過敏や排尿活動が生じる。これにより、排尿活動過剰(detrusor overactivity)や過活動膀胱(overactive bladder: OAB)が引き起こされる。

* 尿量を増やすに役立てる尿量は50 mL以上の場合は、膀胱収縮活動の可能性が高い。
* 最大尿流率は、尿道に尿が閉塞している状態での最大値で、膀胱の収縮力や尿道の弛緩や尿道の弾力性、尿道の長さなどによって異なる。15 mL/秒以下の尿流率、膀胱収縮活動が低下している状態が認められる。
* 最大尿道圧は、尿道口における尿道内圧と膀胱内圧の差で、尿もれを防ぐ力である。これらは、専門医による尿流動態検査で測定される。

小児看護学 I 小児看護学概論・小児看護技術

改訂第4版



子どもと家族を理解し力をひきだす

編集 二宮啓子 神戸市看護大学 今野美紀 札幌医科大学

B5判・536頁 2022.1. ISBN978-4-524-22756-3 定価3,960円(本体3,600円+税10%)

！ 改訂のポイント 子どもの権利を尊重した看護実践能力を身につけるための新しいテキスト

- ▶ 小児看護や小児医療の概要、成長・発達の基本知識などの概論と、症状別の看護、小児看護技術を1冊にまとめました。
- ▶ 小児保健統計、学校保健、医療安全、健康課題について項目を新設し充実させました。
- ▶ 家族の内容を見直し、現代の多様な家族像を反映しました。

本書の特長

- ✓ 小児を家族のなかの存在と位置づけ、小児と家族を中心とする看護を基本理念として、子どもの権利を尊重した援助が考えられるような内容としています。
- ✓ 小児をとり巻く社会や状況について最新の内容を盛り込んでいます。
- ✓ 現場で必要となる技術を精選し、その技術を安全で安楽に実施する方法や、そのために必要な解剖・生理、成長・発達に関する知識を解説しています。

成長・発達の知識を
わかりやすく解説



“子どもと家族の
力をひきだす”
技術のポイントや
根拠も合わせて
確認できます

執筆

二宮 啓子	神戸市看護大学	濱田 環	敦賀市立看護大学
平田 美佳	埼玉医科大学	田畑 久江	札幌医科大学
今野 美紀	札幌医科大学	松森 直美	県立広島大学
佐藤 洋子	北海道文教大学	吉川由希子	金沢医科大学
三国 久美	北海道医療大学	岡崎 裕子	大阪信愛学院大学
福井 一之	前札幌大学	橋本ゆかり	鈴鹿医療科学大学
丸山 有希	神戸女子大学	杉本 陽子	前岐阜協立大学
廣瀬 幸美	三育学院大学	橋爪 永子	前鈴鹿医療科学大学
松浦 和代	札幌市立大学	宮谷 恵	聖隷クリストファー大学
西野 郁子	千葉県立保健医療大学	半田 浩美	神戸市看護大学
堀 妙子	京都橘大学	西田 志穂	共立女子大学
服部 淳子	愛知県立大学	佐川 雅世	北海道立子ども総合医療・療育センター
間所 利恵	日本赤十字社医療センター	米山 雅子	湘南鎌倉医療大学
沢口 恵	江戸川学園おたかの森専門学校	丸山 浩枝	神戸市立医療センター中央市民病院
澤田いずみ	札幌医科大学	石川 紀子	和洋女子大学
榎木野裕美	大阪信愛学院大学	長田 泉	大東文化大学
内 正子	神戸女子大学	野中 淳子	湘南鎌倉医療大学
浅利 剛史	札幌医科大学	中田 諭	聖路加国際大学
横山 佳世	北海道文教大学		

主要目次

第1部 小児看護学概論	第1章 小児看護とその対象を理解する	3. 家族
第1章 小児看護とその対象を理解する	1. 小児看護とは	2. 子ども
第2章 子どもと健康な生活を支える法・制度	1. 子どもの健康な生活を支える法・制度	2. 子どもの健康な生活を支える法・制度
第3章 子どもの成長・発達の特徴と支援	1. 子どもの成長・発達の特徴と支援	2. 子どもの成長・発達の特徴と支援
第4章 小児医療と小児看護の基本	1. 小児医療の変遷と現状	2. 小児医療の変遷と現状
第5章 健康問題を抱える子どもと家族への支援	1. 身体障害のある子どもと家族への支援	2. 発達障害のある子どもと家族への支援
第6章 子どもに特徴的な症状と看護	1. けいれん	2. 発熱
第7部 小児看護技術	第7章 コミュニケーション技術・アセスメント技術	第8章 検査・処置技術
第7章 コミュニケーション技術・アセスメント技術	1. コミュニケーション	2. 健康歴の聴取
第8章 検査・処置技術	1. 採血	2. 採尿・導尿
第9章 日常生活援助技術	1. 食事の援助技術①	2. 食事の援助技術②—経管栄養
第10章 救急救命処置技術	1. 一次救命処置	2. 二次救命処置

関連書籍のご紹介

病態・治療論 [14] 小児疾患 改訂第2版 新刊

ISBN978-4-524-21024-4

定価3,520円(本体3,200円+税10%)

小児看護学Ⅱ

小児看護支援論

子どもと家族の主体性を支える

改訂第4版



編集 今野美紀 札幌医科大学 二宮啓子 神戸市看護大学

B5判・480頁 2022.1. ISBN978-4-524-22757-0 定価3,740円(本体3,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 事例を通して小児看護を学べる実践的テキスト

- ▶ 小児看護の代表的な場面を、状況別、疾患別に丁寧に解説しました。
- ▶ 第1章として、小児の看護過程について概説する章を設けました。

本書の特長

- ✓ 状況別の看護では「外来」「検査」「手術」など13場面の看護を、疾患別の看護では小児に代表的な30疾患への看護を取り上げています。
- ✓ 疾患別の看護では、基本的な病態・治療の知識、看護の考え方を示したうえで、事例を挙げ、看護過程を展開します。
- ✓ また、疾患別の看護では、治療・療養の経過と子ども・家族の課題をまとめた経過図や、事例の情報をまとめた情報関連図を用いて全体像をとらえます。

執筆

今野 美紀	札幌医科大学	白木 裕子	茨城キリスト教大学
松岡 真里	三重大学	三上 孝洋	札幌医科大学附属病院
松森 直美	県立広島大学	浅利 剛史	札幌医科大学
濱園 環	人間総合科学大学	篠木 絵理	東京医療保健大学
金泉志保美	群馬大学	木下 笑香	広島市立広島市民病院
半田 浩美	神戸市看護大学	田畑 久江	札幌医科大学
市原 真穂	千葉科学大学	山本 陽子	神戸市看護大学
白石 裕子	東京工科大学	丸山 浩枝	神戸市立医療センター中央市民病院
萩岡あかね	兵庫県立尼崎総合医療センター	野村 佳代	防衛医科大学校
谷本 公重	香川大学	伊織 光恵	天使大学
岩瀬いずみ	千葉県こども病院	倉田 慶子	順天堂大学
二宮 啓子	神戸市看護大学	植木野裕美	大阪信愛学院大学
古谷佳由理	医療創生大学	清水 千香	神戸市看護大学
樋口伊佐子	大阪母子医療センター	志賀加奈子	日本赤十字北海道看護大学
廣瀬 幸美	三育学院大学	野田 孝子	砂川市立病院附属看護専門学校
横山 佳世	北海道文教大学	澤田いずみ	札幌医科大学
岡永真由美	岐阜県立看護大学	薬師神裕子	愛媛大学
森 浩美	旭川医科大学	吉本 康子	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院

主要目次

第1章 病気・障害のある子どもと家族への看護

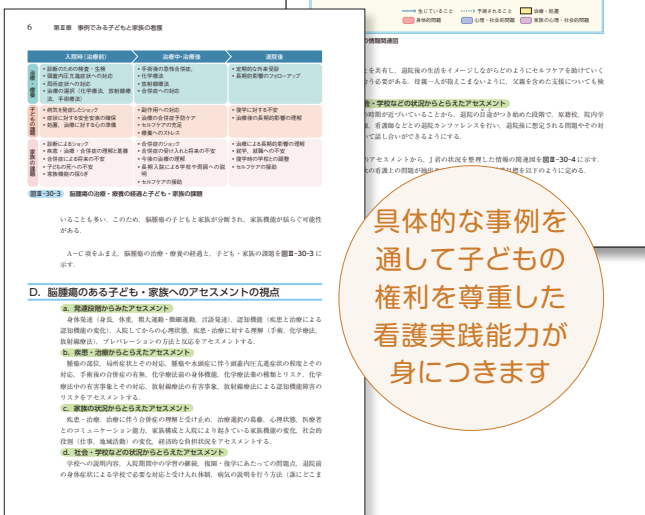
1. 病気・障害のある子どもと家族の特徴
2. 病気・障害のある子どもと家族への看護過程

第2章 状況別にみる子どもと家族の看護

1. 外来における子どもと家族の看護
2. 検査・処置を受ける子どもと家族の看護
3. 入院における子どもと家族の看護
4. 手術を受ける子どもと家族の看護
5. 薬物療法を受ける子どもと家族の看護
6. リハビリテーションにおける子どもと家族の看護
7. 救急外来における子どもと家族の看護
8. 集中治療を受ける子どもと家族の看護
9. 活動制限が必要な子どもと家族への看護
10. 隔離が必要な子どもと家族への看護
11. 在宅療養する子どもと家族の看護
12. 成人期に移行する慢性疾患をもつ子どもと家族への看護
13. 終末期にある子どもと家族の看護

第3章 事例でみる子どもと家族の看護

1. 直腸肛門奇形(鎖肛)のある子どもと家族の看護
2. 食道閉鎖症のある子どもと家族の看護
3. 先天性心疾患のある子どもと家族の看護
4. 呼吸窮迫症候群のある子どもと家族の看護
5. 腸重積症のある子どもと家族の看護
6. 肺炎のある子どもと家族の看護
7. 髄膜炎のある子どもと家族の看護
8. 川崎病のある子どもと家族の看護
9. 発育性股関節形成不全(股関節脱臼)のある子どもと家族の看護
10. 熱傷を負った子どもと家族の看護
11. 急性胃腸炎にかかっている子どもと家族の看護
12. 膀胱尿管逆流症のある子どもと家族の看護
13. 口唇口蓋裂のある子どもと家族の看護
14. 食物アレルギーのある子どもと家族の看護
15. 気管支喘息のある子どもと家族の看護
16. ネフローゼ症候群のある子どもと家族の看護
17. 急性リンパ性白血病のある子どもと家族の看護
18. 二分脊椎(脊髄膨出)のある子どもと家族の看護
19. 低出生体重の子どもと家族の看護
20. 脳性麻痺のある子どもと家族の看護
21. 虐待を受けた子どもと家族の看護
22. 扁桃(咽頭扁桃、口蓋扁桃)肥大のある子どもと家族の看護
23. 特発性血小板減少性紫斑病のある子どもと家族の看護
24. アトピー性皮膚炎のある子どもと家族の看護
25. 若年性特発性関節炎のある子どもと家族の看護
26. 発達障害(自閉スペクトラム症)のある子どもと家族の看護
27. てんかんの子どもと家族の看護
28. 骨折のある子どもと家族の看護
29. 1型糖尿病のある子どもと家族の看護
30. 脳腫瘍のある子どもと家族の看護



具体的な事例を通して子どもの権利を尊重した看護実践能力が身につきます

関連書籍のご紹介

病態・治療論[14] 小児疾患 改訂第2版 新刊

ISBN978-4-524-21024-4

定価3,520円(本体3,200円+税10%)

母性看護学Ⅰ

概論・ライフサイクル



生涯を通じた性と生殖の健康を支える

改訂第3版

編集 齋藤いずみ 神戸大学

長谷川ともみ 富山大学

三隅順子 秀明大学

B5判・326頁 2022.3. ISBN978-4-524-22979-6 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 生涯を通じた性と生殖の健康を支えるための看護の基盤をつくるテキスト

- ▶「母性看護学の基盤」と「生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護」の2部制とし、ますます使いやすくなりました。
- ▶12名の新規執筆者を迎え、母性看護技術、母性看護の実践と研究、性差の現状の統計からの分析など新規の内容が加わりました。
- ▶女性の健康問題とその看護として、不妊症・不育症の解説がさらに充実し、女性のがん、子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫、さらには人工妊娠中絶、DV、性暴力、児童虐待、災害など新規に解説しています。

本書の特長

- ✓「生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護」を行うために必要な幅広い基礎知識が身につきます。
- ✓母子保健統計、社会資源、倫理、国際化から説明され、また少子高齢化、女性の多様な生き方、不妊、DV、虐待など現代社会の課題にもふれ、母性看護を総合的にとらえる視点を育みます。
- ✓女性のライフサイクルのなかで発生しやすい性と生殖の健康問題を取りあげ、事例に盛り込み、看護過程を展開します。

執筆

齋藤いずみ	神戸大学	廣山奈津子	東京医科歯科大学
長谷川ともみ	富山大学	清水 清美	城西国際大学
三隅 順子	秀明大学	齋藤 真希	三重大学
家吉 望み	東京有明医療大学	岩崎 三佳	神戸大学
齊藤佳余子	富山大学	大滝 千文	京都大学
大田えりか	聖路加国際大学	中根 直子	日本赤十字社医療センター
日高 庸晴	宝塚大学	本岡 夏子	神戸大学
二川 香里	富山大学	二宮 早苗	大阪医科薬科大学

主要目次

第1部 母性看護学の基盤

第1章 母性看護学の概念

1. 母性看護学とは
2. 家族とは
3. 母性看護学の基盤となる理論と概念
4. 根拠に基づく母性看護の実践
5. 母性看護にかかわる主な職種と連携

第2章 性をとりまく社会と現状

1. 社会的・心理的特性からみた性
2. 統計からみる性をとりまく社会の現状

第3章 母子保健統計と母子保健施策

1. 母子保健統計の理解
2. 母子にかかわる法律と母子保健施策
3. 周産期医療体制

第4章 生殖に関する形態機能とライフサイクル

1. 性周期と生命のはじまり
2. 遺伝
3. 性分化のメカニズム
4. 生殖器の形態と機能

第5章 性と生殖の健康を支える看護技術

1. 情報収集・ヘルスアセスメントの技術
2. 主体的なセルフケアを引き出す技術
3. 母性看護における看護過程

第6章 性と生殖をめぐる倫理的課題

1. 性と生殖をめぐる倫理的課題とは
2. 専門職として高い倫理性を育成する

第7章 国際化の中での母性看護の役割

1. 異なる文化的背景をもつ女性・妊娠・出産への看護
2. 母子保健における国際協力

第2部 生涯を通じた性と生殖の健康を支える看護

第8章 女性のライフサイクルと健康支援

1. 女性のライフサイクルの全体像
2. 思春期
3. 成熟期
4. 更年期
5. 老年期

第9章 事例で学ぶウェルネス・アプローチでの看護の実践

1. 女性のライフサイクルの事例

関連書籍のご紹介

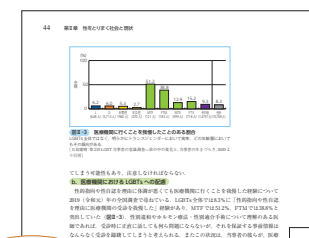
病態・治療論【13】 産科婦人科疾患 改訂第2版 新刊

ISBN978-4-524-21038-1

定価3,630円(本体3,300円+税10%)

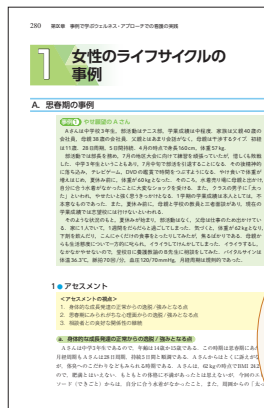
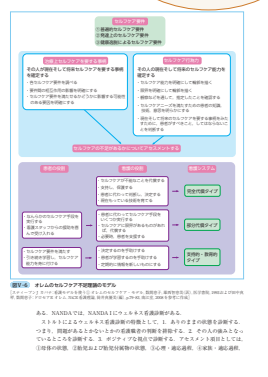
根拠がわかる母性看護過程
根拠がわかる母性看護技術

P44, 45に詳細情報がごさいます。詳しくはそちらをご確認ください。



対象者の強みを
引き出す
ウェルネスな
思考を重視

性の
多様性が
充実



ライフサイクル
各期に多い課題に
対する看護過程を
掲載し、実践的

母性看護学Ⅱ

マタニティサイクル



母と子そして家族へのよりよい看護実践

改訂第3版

編集 大平 光子 周南公立大学 井上尚美 鹿児島大学 大月恵理子 順天堂大学
佐々木くみ子 鹿児島国際大学 林ひろみ 東邦大学

B5判・584頁 2022.4. ISBN978-4-524-22888-1 定価4,180円(本体3,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 母子、家族への切れ目のない支援の視点で改訂しました

- ▶ 新設の序章ではマタニティサイクルとライフサイクルの関係、さらには世代間の継承も含めた母性看護の長期的な視点を解説します。
- ▶ 新設の第Ⅴ章では、双子や早産、さらに特定妊婦など、とくに心理・社会的に配慮・支援を必要とする妊産褥婦についての妊娠前から子育て期までの支援を解説します。
- ▶ 母子が地域に帰ってからも健やかに生活できるよう、退院支援が充実します。
- ▶ 新たに動画を多数収載しました。

本書の特長

- ✓ 妊婦・産婦・褥婦・新生児に適切な看護を行うために必要な基礎知識が身につきます。さらに、アセスメントと援助を行うための思考過程が理解できるよう構成されています。
- ✓ 近年多くなっているハイリスク妊婦、帝王切開術後の褥婦、低出生体重児の看護をくわしく解説しています。
- ✓ 美しく分かりやすい写真、イラストが数多くあり、視覚的に理解が深まります。
- ✓ 第八章の事例は、2人の女性の妊娠～分娩～産褥期と新生児の看護記録用紙・実習記録用紙で構成され、母性看護の実際を学ぶことができます。事例の中では骨盤位やマタニティブルーズや児の黄疸など問題も起きます。事例によって、テキストで学んだ知識がより実践的な力となり、実習や臨床で生きてきます。

執筆

大平 光子 周南公立大学
林 ひろみ 東邦大学
大月恵理子 順天堂大学
原田 慶子 東邦大学

井上 尚美 鹿児島大学
佐々木くみ子 鹿児島国際大学
若松美貴代 鹿児島大学
長谷川ともみ 富山大学

主要目次

序章 マタニティサイクルとライフサイクルの連続性

第Ⅰ章 妊娠期の看護

1. 妊娠期の概観
2. 妊娠とは
3. 妊娠に伴う生理的変化と胎児の健康状態に関するアセスメントと援助
4. 妊娠期の親になっていく過程のアセスメントと援助
5. ハイリスク妊婦への看護の実際

第Ⅱ章 分娩期の看護

1. 分娩期の概観
2. 分娩とは
3. 正常分娩の経過とアセスメントと援助
4. 分娩期の正常経過からの逸脱と看護
5. 出生直後の新生児のアセスメントと援助
6. 家族のアセスメントと援助

第Ⅲ章 産褥期の看護

1. 産褥期の概観
2. 産褥期の経過
3. 産褥期の身体状態のアセスメントと援助
4. 産褥期の親になっていく過程のアセスメントと援助
5. 褥婦の正常経過からの逸脱と援助
6. 生まれた子どもに先天異常がある家族の援助、子どもを亡くした家族の援助

第Ⅳ章 帝王切開を受ける妊産褥婦への看護

1. 帝王切開を受ける妊産褥婦への看護

第Ⅴ章 特別な配慮・支援を必要とする妊産褥婦への支援

1. 特別な配慮・支援を必要とする妊産褥婦への看護

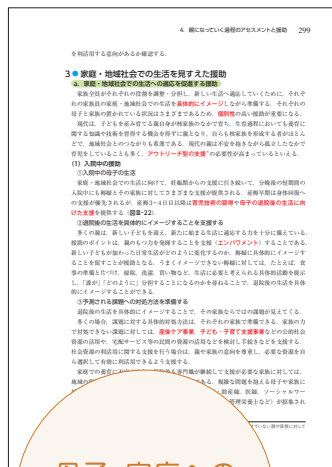
第Ⅵ章 新生児の看護

1. 新生児とは
2. 新生児の子宮外生活適応のアセスメントと援助
3. 新生児の発達状況のアセスメントと援助
4. 新生児の健康問題と看護
5. 新生児の施設内における事故防止と安全

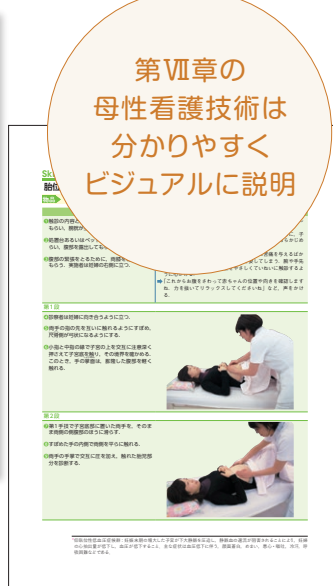
第Ⅶ章 母性看護技術

第Ⅷ章 事例から理解する母性看護過程の展開

1. 経産分娩事例
2. 帝王切開事例



母子、家庭への
切れ目のない
支援を充実



第Ⅶ章の
母性看護技術は
分かりやすく
ビジュアルに説明

9 授乳観察表											
乳児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
乳児名											
生後日数											
授乳回数											
授乳時間											
授乳量											
授乳方法											
授乳状態											
授乳後の様子											
授乳後のケア											
授乳後の評価											

第Ⅷ章の事例は
実践的で
実習に役立ちます

関連書籍のご紹介

病態・治療論[13] 産科婦人科疾患 改訂第2版 新刊
ISBN978-4-524-21038-1 定価3,630円(本体3,300円+税10%)

根拠がわかる母性看護過程
根拠がわかる母性看護技術

P44, 45に詳細情報がございます。詳しくはそちらをご確認ください。

精神看護学I

こころの健康と地域包括ケア

現代に生きる人々のこころの健康を支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

B5判・254頁 2022.1. ISBN978-4-524-22781-5 定価2,640円(本体2,400円+税10%)

！ 改訂のポイント 精神看護学を学ぶ上で基盤となる知識をまとめたテキスト

- ▶ 先生方から多くのご要望をいただいた「精神保健」(第Ⅲ章3), 「心の発達」(第Ⅲ章1, 2)の記述を強化しました。
- ▶ 「地域」の視点や「多職種連携」の記述を充実させました(第Ⅰ章4)

🔍 本書の特長

- ✔ 精神看護学Iは、精神看護の基礎を学ぶ内容となっています。
- ✔ 現代に生きる人々を支える看護職として、人々の精神の健康に影響を及ぼす現代の社会状況や社会病理について知り、精神看護の目標や看護職の役割を学びます。
- ✔ 一般病棟における精神看護の対象者への看護実践について、「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」モデルを活用して事例展開しています。

✍ 執筆

稲垣 中	青山学院大学	吉浜 文洋	元佛教大学
萱間 真美	国立看護大学校	牛島 定信	市ヶ谷ひろろクリニック/東京慈恵会医科大学
西 大輔	東京大学	村方多鶴子	福岡県立大学
吉田 光爾	東洋大学	長谷川雅美	富山福祉短期大学
澤野 文彦	公益財団法人復康会沼津中央病院	馬場 香里	東京都医学総合研究所
渡邊 忠義	社会医療法人あさかホスピタル	三森 寧子	千葉大学
津川 律子	日本大学	小高 恵実	上智大学
吉尾 隆	公益財団法人住吉協会会住吉病院/昭和大学附属島山病院	小山 達也	聖路加国際大学
寒河江豊昭	山形県立米沢栄養大学	榊 美樹	聖路加国際大学
相川 章子	聖学院大学	青木 裕見	聖路加国際大学
鷹尾 和頭	前社会福祉法人 つばめ福祉会	山本 朝美	公益財団法人 浅香山病院
麻場 英聖	公益財団法人復康会沼津中央病院	瀬戸屋 希	聖路加国際大学
増子 徳幸	一般社団法人てとて リンク	白井 教子	北里大学病院
	よこはま訪問看護ステーション	高橋 恵子	埼玉県立大学
福嶋 好重	横浜市立市民病院	福宮 智子	昭和大学病院/昭和大学
野田 文隆	大正大学名誉教授	綿谷 恵子	筑波大学附属病院
吉川 隆博	東海大学	瀬尾 智美	千葉大学医学部附属病院
宮本 有紀	東京大学	二宮 未稀	千葉大学医学部附属病院

📖 主要目次

第Ⅰ章 精神看護はどんな活動か

1. こころの健康と必要な支援
2. 現代社会とこころの健康
3. 看護師は何をするのか—精神看護の目標と役割
4. 地域包括ケアと多職種連携
5. 社会とのかかわりを理解する
6. 精神医療の歴史の変遷
7. 人権を守るために—精神看護における基本的な人権と倫理的配慮

第Ⅱ章 精神保健医療福祉と制度

1. 精神保健医療福祉に関する法と制度
 - 1-1. 精神科医療にかかわる法律
 - 1-2. 精神障害者の福祉にかかわる法律
 - 1-3. 精神保健にかかわる法律
2. 精神医療福祉の現状と課題
3. 精神の健康に関する普及啓発活動

第Ⅲ章 こころの発達と精神保健

1. こころのなりたち
2. 対象関係論からみたこころの発達
3. 発達段階別にみる発達課題と精神の健康
 - 3-1. 発達理論と発達課題
 - 3-2. 周産期の精神の健康
 - 3-3. 乳幼児期から学童期の精神の健康
 - 3-4. 思春期から青年期の精神の健康
 - 3-5. 成人期の精神の健康
 - 3-6. 老年期の精神の健康

第Ⅳ章 一般病棟における精神看護

1. 事例から学ぶ一般病棟での精神看護
 - 1-1. 身体症状症、病氣不安症
 - 1-2. 睡眠障害・不眠
 - 1-3. 不安
 - 1-4. 抑うつ
 - 1-5. 怒り
 - 1-6. 拒否・拒絶
 - 1-7. 幻覚妄想
 - 1-8. せん妄
 - 1-9. 拘禁反応・症状
 - 1-10. 看護師のメンタルヘルス
2. リエゾン精神看護とは

📖 関連書籍のご紹介

病態・治療論[12] 精神疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

精神看護の
基礎を
わかりやすく
学べます

3 看護師は何をするのか —精神看護の目標と役割

この節で学ぶこと

1. バイオ(生物学的)について知る。
2. エンバロメントについて知る。
3. リンク(心理学的)と精神看護の目標と役割について知る。

このような時代に生き、学ぶ看護学生であるあなたは、日々何をどのように感じているだろうか。社会が抱える多くの問題も大きく、世界規模で起っており、一人では何もできない、変えられないという無力感を感じることもあるだろう。看護職は人のメンタルヘルスの健康において、関与する患者さんやサービスの提供者に対してできることがある。看護職自身もまた心の健康を保ちながら、時代を生き抜く、メンタルヘルスの健康を支える人たちに何ができるのか考えよう。

A. ケア対象者が自分の力を信じられる援助

市民や地域に圧倒され、自分には何もできない、何も変えられないと感じる感覚を、無力感(ワカス)という。それは無力感であり、自分の無力感であるという無力感を感じる。精神看護をもつ人たちは、疾患や障害であるという知識を受け、日々服薬や治療に取り組む、いつまで続けなくてはならないのか、疾患はよくならないという不安を感じている。日本では、精神看護をもつことに対する社会的なスティグマ(烙印)や偏見が根深く根に染みこんでいる。本人だけでなく、それが家族の偏見を連れてきた家族にもあって、障害をもち、誰かにもとにも生きていることが家族の負担にもなるという特殊な状況にある。これまで述べてきた時代や日常の不安に加えて、さらなる重荷を背負っている。疾患や障害を得る過程でもさまざまなストレスを体験しており、人間関係への不信やうまくいかない状況に対する怒りも抱えている。

絶望の中にいる人の生命を守り、人が本来もっている回復力の働きを助け、その人が将来に向かって希望をもち、自分らしくあるように助けることが、看護の支援である。回復にしたがって、人はエネルギーを取り戻し、強くなり、次第に障害の助けを必要とする時間が少なくなるかもしれない。看護師は、そのような未来の理想を取り戻すための支援を行う。

このため、支援の経験から、その人ができていることを本人に知らせ、自分にはできないという感覚を奪むことが必要である。誰かがいなければやっていけないという

精神看護学Ⅱ

地域・臨床で活かすケア

対象者の力を引き出し支える



改訂第3版

編集 萱間真美 国立看護大学校 稲垣 中 青山学院大学

B5判・382頁 2022.1. ISBN978-4-524-22782-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 豊富な具体例とともに精神看護学の実習で活用できる内容をまとめたテキスト

- ▶「地域」の視点の強化として、「精神科訪問看護」(第Ⅷ章4-4)を充実させ、地域における精神看護実践の事例(第Ⅸ章8, 9)を追加しました。
- ▶対象者のアセスメントに用いられる理論・概念(第Ⅵ章5)に「レジリエンス」を追加しました。

本書の特長

- ✓ 精神看護学Ⅱは、精神看護の実践を学ぶ内容となっています。
- ✓ 「バイオ(生物学的)・サイコ(心理学的)・ソーシャル(社会的)」の視点を軸に、精神看護の対象者にトータルにアプローチしています。
- ✓ 精神疾患患者への看護実践について、「バイオ・サイコ・ソーシャル」モデルを活用して事例展開しています。

執筆

稲垣 中	青山学院大学	菊地 俊曉	慶應義塾大学
滝上 紘之	慶應義塾大学	宮本 有紀	東京大学
山本 暢朋	国立病院機構 榎原病院	賀大 慶	慶應義塾大学
久保健一郎	東京慈恵会医科大学	木村 沙織	NTT東日本関東病院
加藤 英生	慶應義塾大学	大竹 真裕美	社会医療法人一陽会 一陽会病院
尾久 守侑	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	田村 法子	慶應義塾大学
野崎 昭子	慶應義塾大学/国立病院機構 下総精神医療センター	藤澤 大介	慶應義塾大学病院/慶應義塾大学
中川 敦夫	聖マリアンナ医科大学	岡田 佳詠	国際医療福祉大学
天野 瑞紀	慶應義塾大学	根本 友見	国際医療福祉大学
野上 和香	慶應義塾大学	船越 明子	神戸市看護大学
西 大輔	東京大学	藤井 千代	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
阿部 晃子	慶應義塾大学	林 亜希子	訪問看護ステーションメンタル名古屋
片山奈理子	慶應義塾大学	半澤 節子	自治医科大学
宗 未来	東京歯科大学市川総合病院	遠藤 直子	国立看護大学校
大橋 明子	前聖路加国際大学	木戸 芳史	浜松医科大学
石井 歩	医療法人社団助会吉祥寺病院	渡邉 忠義	社会医療法人あさかホスピタル
福島 鏡	前聖路加国際大学	永井真理子	東京大学医学部附属病院
後藤 優子	医療法人社団君水会長谷川病院	米倉 一磨	NPO法人 相対に新しい精神科医療 保健福祉システムをつくる会 相馬 広域こころのケアセンターなごみ
岡本 典子	医療法人社団リッ訪問看護 ステーション スマイルリッ	角田 秋	東京有明医療大学
大熊 恵子	宮城大学	河野 伸子	横須賀共済病院
秋山 美紀	埼玉県立大学	寺岡征太郎	帝京大学
長田 洋和	帝京平成大学	笹井 美香	目黒区健康推進部
瀬戸屋 希	聖路加国際大学		

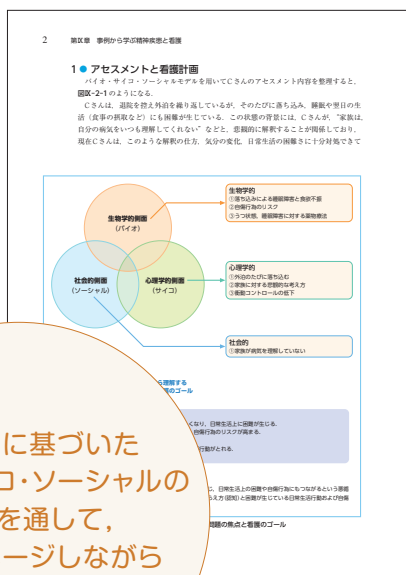
主要目次

- 第Ⅴ章 精神を病む人はどんな状態を示すのか
 - 1. 精神症状とはなんだろう
 - 2. 現症・状態像を理解しよう
- 第Ⅵ章 対象を理解するための考え方
 - 1. 生物学的側面から理解する一脳の構造・機能
 - 2. 生物学的側面からアプローチする検査
 - 3. 生物学的側面から理解する一精神疾患と診断基準
 - 3-1. 精神疾患と診断基準
 - 3-2. 主な精神疾患
 - 4. 精神看護におけるアセスメントの特徴
 - 5. アセスメントに用いられる主な理論
- 第Ⅶ章 心理・社会的側面の検査
 - 1. 心理学的側面からアプローチする検査
 - 2. 社会機能・家族機能を測る尺度
- 第Ⅷ章 治療・ケア・支援の方法
 - 1. 生物学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
 - 2. 心理学的側面からアプローチする治療・ケア・支援
 - 3. 精神看護におけるさまざまな技法
 - 4. 社会的側面からアプローチする治療・ケア・支援
 - 4-1. 当事者のリカバリーに向けた社会復帰・社会参加の基本と働きかけ
 - 4-2. 地域での自立・統合への支援
 - 4-3. 地域における精神障害者のニーズと行政等との協働
 - 4-4. 精神科訪問看護
 - 4-5. 多職種によるアウトリーチ(訪問支援)
 - 5. 安全管理(セーフティマネジメント)
- 第Ⅸ章 事例から学ぶ精神疾患と看護
 - 1. 統合失調症
 - 1-1. 急性期の統合失調症
 - 1-2. 在宅における慢性期の統合失調症
 - 2. 気分障害
 - 2-1. うつ病
 - 2-2. 双極性障害
 - 3. 強迫症/強迫性障害
 - 4. パニック症/パニック障害
 - 5. アルコール使用障害(アルコール依存)
 - 6. 摂食障害
 - 7. パーソナリティ障害
 - 8. ひきこもり
 - 9. 児童虐待

関連書籍のご紹介

病態・治療論[12] 精神疾患 改訂第2版
ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

臨床事例に基づいた
バイオ・サイコ・ソーシャルの
関連図を通して、
概念をイメージしながら
理解できます



災害看護

改訂第4版

看護の専門知識を統合して実践につなげる



編集 酒井 明子 福井大学名誉教授 増野 園恵 兵庫県立大学教授

B5判・408頁 2023.2. ISBN978-4-524-23165-2 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

！ 改訂のポイント 災害看護の基礎を学ぶ「総論」と看護専門領域別に学ぶ「各論」の2部構成が好評のテキスト

- ▶ 近年の災害状況も踏まえ、災害対策・法制度、災害看護の考え方など全面的にアップデートしました。
- ▶ 災害時の在宅療養者への支援の必要性が高まっていることから、第VIII章に「在宅看護と災害」の節を新設しました。

本書の特長

- ✓ 第1部 総論では、災害の種類・疾病構造や災害サイクル、また災害サイクル別の実践的看護が体系的に理解できます。
- ✓ 第2部 各論は、教育で活用しやすいよう領域別に解説しています。
- ✓ 応用的な考えを育むよう、オリジナルの演習問題も掲載しています。

実践を意識しながら学習を進めることができます

1. 災害サイクル各期における看護活動

2. 災害看護の実際を写真とともに伝えるコラム「現場発」

執筆

山本 捷子 元福岡女学院看護大学
酒井 明子 福井大学名誉教授
野口真智子 元宮崎県小林保健所
奥寺 敬 富山大学附属病院
橋本真由美 福島県立医科大学
高田 明也 南相馬市立総合病院附属小高診療所
千葉 真也 大郷町役場
上田 耕蔵 神戸協同病院
清水 蒼子 福井大学
湯井恵美子 一般社団法人福祉防災コミュニティ協会
増野 園恵 兵庫県立大学地域ケア開発研究所
小原真理子 京都看護大学
丸谷 浩明 東北大学災害科学国際研究所
木村 拓郎 一般社団法人被災復興支援機構
酒井 彰久 福井大学
高以良 仁 国立病院機構災害医療センター
今井 家子 今井災害看護研究所
後藤由美子 国立病院機構災害医療センター
村井 雅清 被災地NGO協働センター
鈴木智恵子 佐賀大学
前田 潤 室蘭工業大学
小野村順子 元つくば市役所
竹原 歩 元つくば市役所
山崎 達枝 元国立病院機構災害医療センター
三浦 京子 元国立病院機構災害医療センター
西村美喜子 元医療法人社団聖愛阿蘇温泉病院
窪田 直美 公立丹南病院
南利 孝文 西原村役場

江上 純子 熊本市教育委員会
中川 美樹 熊本市立熊本市市民病院
本間 正人 鳥取大学
永井 幸子 アンサー法律事務所
千島佳也子 国立病院機構本部OMAT事務局
小笠原智子 令和らわ病院/日本医科大学付属病院
福田 淑江 日本看護連盟
江津 繁 国立病院機構埼玉病院
野原 正美 東北福祉大学
及川 節子 イムス明理会山台総合病院
宮崎美砂子 千葉大学
佐藤 咲恵 陸前高田市
三澤 寿美 元東北福祉大学
松岡 千代 甲南女子大学
茅野 幸給 元兵庫県立大学
高橋 由美 山形青葉学院短期大学
菅間 真美 国立看護大学校
尾山とし子 日本赤十字北海道看護大学
川田 美和 福井県立大学
磯見 智恵 福井大学
繁田 由美 元福井大学
佐久間美里 聖隷三方原病院
大野かおり 兵庫県立大学
宇田 優子 新潟医療福祉大学
三橋 睦子 国際医療福祉大学
大迫ひとみ 兵庫県立尼崎総合医療センター
夢田 文子 福井県
中村 明世 奈良県立医科大学附属病院

主要目次

- 第I部 総論
- 第I章 災害および災害看護に関する基礎的知識
1. 災害・災害看護の歴史
 2. 災害・災害看護の定義
 3. 災害の種類、疾病構造、災害サイクル、災害関連死
 4. 要配慮者
 5. 災害における連携
- 第II章 災害発生時の社会の対応やしきみ
1. 災害に関する制度—災害対策基本法・災害救助法・防災計画など
 2. 災害情報と伝達のしくみ
 3. 災害関係各機関の支援体制
 4. 災害時のボランティア活動
- 第III章 災害時の被災者および援助者の心理
1. 被災者および援助者が抱えるストレスとその過程
 2. 被災者および援助者のこころのケア
- 第IV章 災害各期における看護活動
1. 災害サイクル各期における看護活動
 2. 避難所・応急仮設住宅・災害公営住宅における看護
- 第V章 災害時に必要な技術
1. トリアージ
 2. 治療・搬送
- 第VI章 病院における災害看護
1. 病院における災害への備え、災害訓練
 2. 病院における災害時の初動体制
- 第VII章 災害看護における倫理・教育・理論
1. 災害看護における倫理原則
 2. 災害看護における教育
 3. 災害看護における理論
- 第2部 各論
- 第VIII章 対象別にみた災害看護の実践
1. 地域看護と災害
 2. 母性看護と災害
 3. 小児看護と災害
 4. 高齢者看護と災害
 5. 精神看護と災害
 6. 慢性看護と災害
 7. 在宅看護と災害
 8. 感染看護と災害

先生のかえ

- ➡ 災害が生命や生活に及ぼす影響、災害時に必要な技術について、写真や図をまじえてわかりやすく解説されている。
- ➡ 事例やコラムなどで看護師の具体的な実践活動が紹介されているので、学習意欲や関心を高めることができる。

看護管理学

自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル

改訂第3版



編集 手島 恵 東京医療保健大学 藤本幸三 京都橘大学

B5判・304頁 2023.3. ISBN978-4-524-20421-2 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護管理の考え方やスキルを各領域のエキスパートが記したテキスト

▶ 医療法や診療報酬、高額療養費制度などの法・制度の改正・改定や、情報の取り扱い、ハラスメントなどの働き方に関する動向など、最新の情報を反映しました。

本書の特長

- ✓ 看護管理者をめざす人だけでなくすべての看護学生を対象として、自律した専門職として、効果的・効率的に資源を活用してケアを行うための基盤を築くことができます。
- ✓ 主要項目では事例や具体的な演習課題を数多く設定し、実践に即した構成としました。

執筆

藤本 幸三	京都橘大学	美代 賢吾	国立国際医療研究センター
手島 恵	東京医療保健大学	栗原 美穂	国立がん研究センター東病院
住吉 蝶子	元東京慈恵会総合医学 教育研究センター	北島 謙吾	大阪成蹊大学
渡辺八重子	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	井上ルミ子	Care styles consulting
小寺 栄子	前西武文理大学	山田 雅子	聖路加国際大学
坂本 すが	東京医療保健大学	酒井 郁子	千葉大学
洪 愛子	神戸女子大学	操 華子	静岡県立大学
上杉 睦美	元公益社団法人日本看護協会	志田 京子	大阪公立大学
勝山貴美子	横浜市立大学	酒井美絵子	武蔵野大学
撫養真紀子	兵庫県立大学	田中 幸子	東京慈恵会医科大学
黒田美喜子	セントケア・ホールディングス セントケア市川大和田	吉田 千文	聖路加国際大学名誉教授
		川本利恵子	湘南医療大学
		Carol Keehan	Catholic Health Association of the United States

目次

第1章 看護管理の基礎

1. 看護管理を学ぶとは
2. 看護サービス管理
 - I. 看護サービスの管理
 - II. マネジメント
3. 看護組織と管理
 - I. 組織論
 - II. 看護提供方式
 - III. リーダーシップ・メンバーシップ
4. 看護管理プロセス

第2章 看護管理のスキル

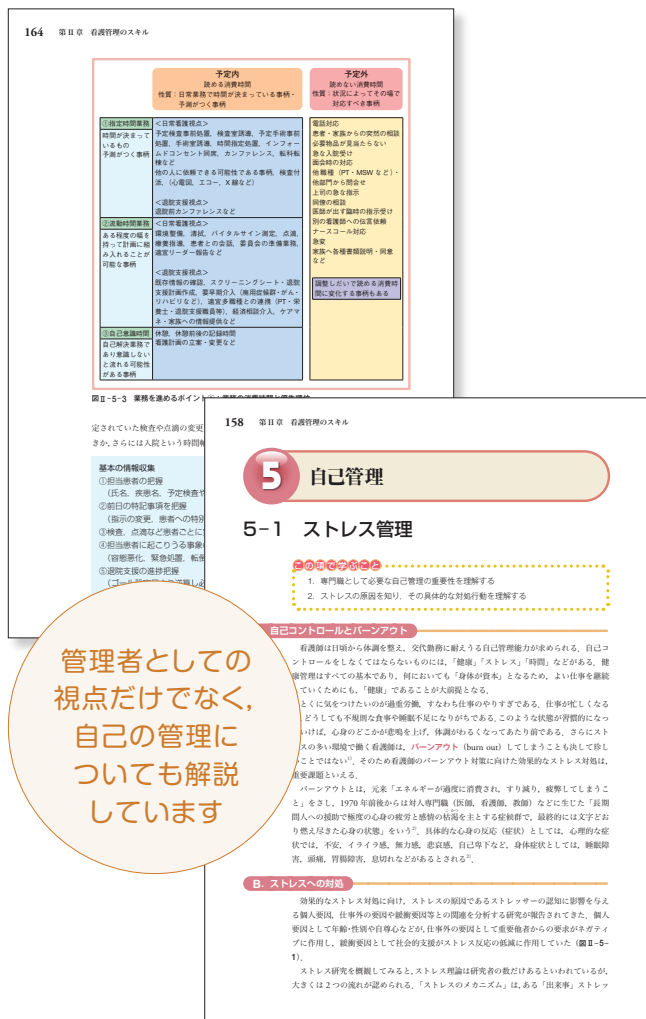
1. 資源の獲得と配分
 - I. 看護収支管理
 - II. 医療経費と看護
2. 人的資源管理
 - I. 人的資源とは
 - II. キャリアマネジメント
3. 情報の管理
 - I. 情報の取り扱い
 - II. 情報の管理
4. 管理行動
5. 自己管理
 - I. ストレスマネジメント
 - II. 時間管理
6. 連携と協働
 - I. 医療連携
 - II. 他職種との連携
7. アウトカムマネジメント
 - I. 看護の質マネジメント
 - II. 安全管理

第3章 看護サービス管理の周辺

1. 医療政策と看護管理
 - I. 医療制度
 - II. 医療政策の変遷
2. 現代法制度と看護管理—医療提供関連法規
3. 看護管理と倫理
 - I. 看護管理と倫理
 - II. 看護職能団体

第4章 看護管理の展望

1. これからの時代の看護管理



医療安全

改訂第2版

多職種でつくる患者安全をめざして



編集 山内豊明 放送大学／名古屋大学名誉教授 荒井有美 北里大学病院／北里大学
B5判・248頁 2024.3. ISBN978-4-524-20434-2 定価2,970円(本体2,700円+税10%)

！ 改訂のポイント 49の事例をとおり、臨床で起こりやすいエラーと医療安全の取り組みを実践的に学べるテキスト

- ▶ 全国的な医療安全の取り組みとして「医療事故調査制度」について新たに項目を設けました。
- ▶ 「心理的安全性」や「レジリエンス」など近年のトピックスを盛り込みました。
- ▶ 事故・ヒヤリハット事例は最新の医療安全情報を参考に追加・差し替えを行いました。

本書の特長

- ✓ インシデントやアクシデントにつながる根本原因とその対策について、基本的な知識が身に付くよう編集しています。
- ✓ 医療安全はチームや組織として取り組むことが大事であるという考えのもと、第Ⅲ章の節立てを工夫しました。
- ✓ 第Ⅳ章の事例は、「医療安全情報(日本医療評価機構)」で発信されている医療事故情報やヒヤリ・ハット事例を参考にしています。

執筆

山内 豊明	放送大学/ 名古屋大学名誉教授	坂口 美佐	公益財団法人 日本医療機能評価機構
相馬 孝博	千葉大学医学部附属病院	荒井 有美	北里大学病院/北里大学
小松 康宏	板橋中央総合病院	長嶋 光樹	今金町国保病院
河野龍太郎	自治医科大学名誉教授/ (株)安全推進研究所	今泉 和子	東京都済生会向島病院
種田憲一郎	国立保健医療科学院	佐々木久美子	医療法人社団 直和会・ 社会医療法人社団 正志会本部
春田 良雄	公立陶生病院	綿引 哲夫	東海大学
山元 恵子	富山福祉短期大学	力石 陽子	日本赤十字看護大学
畠山 和人	金城学院大学	武 俊夫	昭和大学病院
小池 朋孝	北里大学病院	東條 圭一	北里大学病院
森安 恵実	北里大学病院	寺井美峰子	公益財団法人田附興風会
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院		医学研究所北野病院
住谷 剛博	日本福祉大学	筒井 和恵	名古屋大学医学部附属病院

主要目次

第Ⅰ章 医療安全を学ぶ意義

1. 医療安全を学ぶにあたって

第Ⅱ章 医療安全の基本

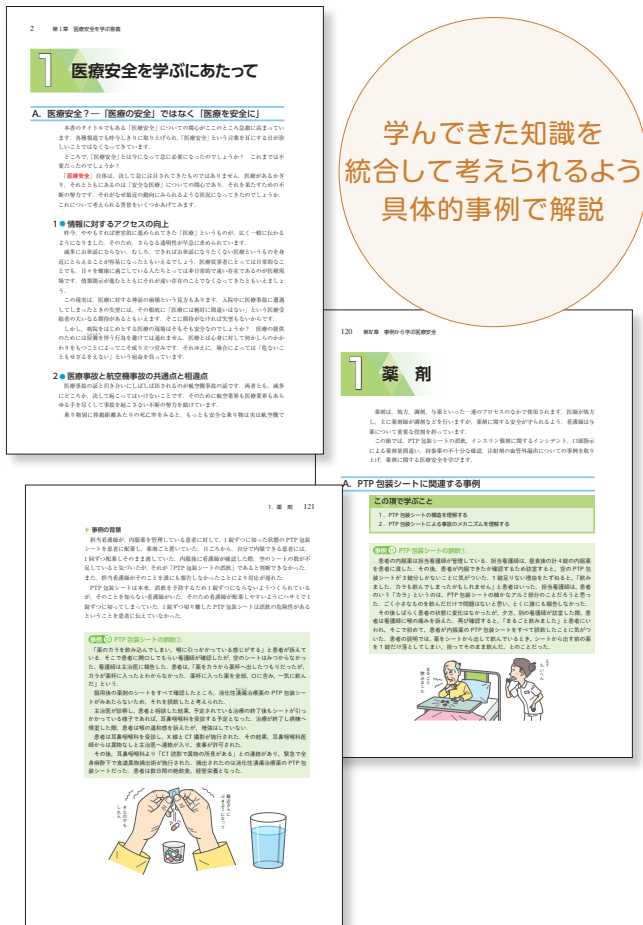
1. 医療安全の基本

第Ⅲ章 個人・チーム・組織としての医療安全

1. 個人としての医療安全への取り組み
2. 多職種連携およびチームによる医療安全への取り組み
3. チームのなかの医療安全 ①呼吸療法サポートチーム(RST)
4. チームのなかの医療安全 ②栄養サポートチーム(NST)
5. チームのなかの医療安全 ③感染対策チーム(IST)
6. チームのなかの医療安全 ④ラビッドレスポンスチーム(RRT)
7. 医療機関における医療安全への取り組み
8. 地域における医療安全への取り組み
9. 全国的な医療安全への取り組み

第Ⅳ章 事例から学ぶ医療安全

1. 薬剤
2. 輸血
3. 治療・処置
4. 医療機器・医療材料の使用・管理
5. ドレーン・チューブ類の使用・管理
6. 検査
7. 療養上の世話
8. 誤認



感染看護学

患者の健康と権利を守り安全に看護を実践する



編集 操 華子 静岡県立大学 川上和美 順天堂大学

B5判・276頁 2022.1. ISBN978-4-524-22978-9 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- すべての看護実践の基盤となる「感染予防」の視点で、看護実践の考え方を学ぶテキストです。感染予防策をなぜ、どのように、いつ講じるのかなど、状況に応じて根拠を踏まえながら考える力を養うことを意識して編集しています。
- 第Ⅰ～Ⅴ章では、基礎看護学や専門基礎科目(微生物学、感染症学、免疫学)の既習知識をおさらいします。
- 第Ⅵ章では、新型コロナウイルス感染症においてフォーカスされた、感染症に伴って生じる倫理的課題について考えます。
- 第Ⅶ章では、さまざまな病棟・領域・状況における特徴的な感染予防上の問題・課題を整理したうえで、具体的な事例をふまえた感染看護の実際を展開しています。
- 第Ⅷ～Ⅸ章で、ベッドサイドでの「個」に対する感染看護にとどまらず、病棟や施設単位での感染管理についても学ぶことができます。

執筆

操 華子 静岡県立大学
前田ひとみ 熊本大学
Judith F. English Certified in Infection Control emeritus
石松 伸一 聖路加国際病院
府川真理子 小田原循環器病院
菅原真優美 新潟青陵大学
青山 恵美 愛知医科大学
齋藤 潤栄 鹿児島共済会南風病院
杉村きよ美 静岡済生会総合病院
今西 亮 丸子中央病院
川上 和美 順天堂大学

菊地 義弘 宮城県立がんセンター
小野 和代 東京医科歯科大学総合診療機構
石田恵充佳 武蔵野赤十字病院
石幡 理絵 愛育病院
田中 範佳 元静岡県立大学
久保田早苗 順天堂大学医学部附属順天堂医院
光延 智美 静岡県立こども病院
糠信 憲明 広島国際大学
横山 久美 順天堂大学
西條 美恵 石巻赤十字病院
鍋谷 佳子 大阪大学

主要目次

- 序章 感染看護学を学ぶにあたって
- 第Ⅰ章 感染症をめぐる歴史と現状
1. 感染症と人類の歩み
 2. 現代社会における感染症をめぐる課題
- 第Ⅱ章 感染の基礎知識と感染症
1. 感染とは
 2. 現代における主な感染症
- 第Ⅲ章 感染症と法制度
1. 感染症に関する法の変遷と感染症法
 2. 日本における感染症にかかわる医療体制
 3. 公衆衛生と感染症
- 第Ⅳ章 感染予防策の実施における考え方
1. 感染予防のための基本的な考え方
 2. 感染予防のための基本技術
- 第Ⅴ章 感染予防における多職種連携
1. 施設内での多職種連携
 2. 地域との連携
- 第Ⅵ章 感染看護と倫理
1. 倫理と人権
 2. 感染症に伴う倫理的課題
- 第Ⅶ章 さまざまな状況における感染看護の実際
1. 一般病棟における感染看護の実際
 - 1-1 一般入院患者
 - 1-2 易感染状態の患者
 - 1-3 隔離予防策実施中の患者
 2. 外来における感染看護の実際
 3. 救急外来における感染看護の実際
 4. 集中治療領域における感染看護の実際
 5. 周産期領域・NICUにおける感染看護の実際
 6. 手術室における感染看護の実際
 7. 人工透析室における感染看護の実際
 8. リハビリテーション室における感染看護の実際
 9. 小児科病棟における感染看護の実際
 10. 精神科病棟における感染看護の実際
 11. 在宅(訪問看護)における感染看護の実際
 12. 高齢者介護施設における感染看護の実際
 13. 災害時の感染看護の実際
 14. 感染症患者が亡くなったとき
- 第Ⅷ章 感染管理と看護
1. 感染管理プログラム(感染管理活動)とは
 2. 感染管理はどのように行われるか
- 第Ⅸ章 感染管理プログラム展開の実際
1. 院内の感染管理体制の構築・維持のための活動(サーベイランス)
 2. エビデンスに基づく実践(EBP)
 3. アウトブレイク時の感染管理

関連書籍のご紹介

基礎から学ぶ医療関連感染対策(改訂第3版)

P47に詳細情報がごさいます。詳しくはそちらをご確認ください。



家族看護学

臨床場面と事例から考える

改訂第3版



編集 山崎あけみ 大阪大学 原 礼子 慶應義塾大学名誉教授

B5判・316頁 2022.3. ISBN978-4-524-22929-1 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

！ 改訂のポイント 「家族」を分析の単位として理解できるよう、理論や技法を事例を用いて解説したテキスト

- ▶ 今版よりオールカラー化し、視覚的にもよりわかりやすく見やすい紙面となりました。
- ▶ 初学者がより理解しやすいよう、家族看護実践のための理論や考え方(第Ⅰ章～第Ⅲ章)の構成・内容を見直しました。
- ▶ 家族看護過程の展開(第Ⅴ章)は、事例数を10に増やして充実させました。

本書の特長

- ✓ 「家族」を分析の単位として理解し看護実践できるよう、具体的な臨床場面を多数例示しながら、家族看護に関するさまざまな理論や概念をわかりやすく解説しています。
- ✓ 「家族の全体像」「目標とする健康な家族像に向けての看護方針」を整理・理解しやすいよう、ジェノグラム・エコマップを多数掲載しています。
- ✓ 豊富なコラムをとおり、多様な家族をさまざまな側面から見つめる視点を養います。

事例による家族看護実践の展開をとおり、理論や概念をどのように活用してどのように介入するのかを学ぶことができます。

執筆

新垣ナジルタミエ	長野県伊那市役所	原 礼子	慶應義塾大学名誉教授
安藤 藍	千葉大学	針金佳代子	札幌保健医療大学
池田 真理	東京大学	引地 充	希望ヶ丘ホスピタル
石川ふみよ	上智大学	武用 百子	大阪大学
伊藤 正俊	NPO法人から・ころセンター	本間 裕子	武庫川女子大学
緒倉 珠巳	ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン	真継 和子	大阪医科大学
川原 妙	大阪大学	松村ちづか	前武蔵野大学
菊池 良太	大阪大学	松本 和史	東京医療保健大学
北 素子	東京慈恵会医科大学	松本 啓子	香川大学
後藤 佳苗	一般社団法人あたご研究所	三隅 順子	秀明大学
近藤 真理	With ゆう 流産・死産・新生児死等子どもを亡くした家族の会	矢田 浩明	NPO法人コレクティブハウジング社
澤田いずみ	札幌医科大学	山崎あけみ	大阪大学
田代麻里江	日本福音自由教会クライストコミュニティ	山本 則子	東京大学
田中 紀紀	NPO法人青少年自立援助センター	吉江 悟	Neighborhood Care
津村 明美	横浜子どもホスピスプロジェクト	吉田 滋子	東京大学
中村 伸一	中村心理療法研究室	Laurel L. Northouse	ミシガン大学
		Lixin Song	ノースカロライナ大学
		Marsha Aizumi	Our Family Coalition

主要目次

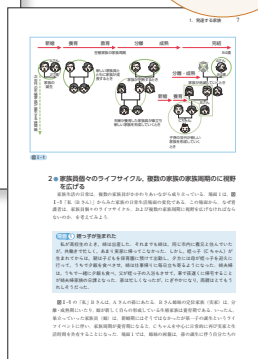
- 序章 家族看護をはじめて学ぶ
- 第Ⅰ章 家族看護学における対象理解
 - 1. 発達する家族
 - 2. システムとしての家族
 - 3. 家族を理解するポイント
 - 4. 家族像の形成
- 第Ⅱ章 家族看護過程に用いる考え方(理論、モデル、概念)
 - 1. 健康な家族についての考え方
 - 2. 家族の力を引き出すのに役立つ考え方
 - 3. 代表的な家族アセスメントモデル
- 第Ⅲ章 家族看護過程：家族の健康を引き出す看護過程
 - 1. 家族看護過程とは
 - 2. 家族看護過程の展開
- 第Ⅳ章 家族を取り巻く社会的・文化的背景
 - 1. 日本人と家族
 - 2. 現代日本の家族
 - 3. 在宅療養者と家族
- 第Ⅴ章 事例で学ぶ家族看護過程の実践
 - 1. 配偶者からの暴力被害者と家族の看護：DVのスクリーニングと被害者の支援
 - 2. 医療的ケア児を在宅に迎える家族への看護：社会資源を取り入れた家族資源の再構築を目指す
 - 3. 小児生体肝移植における患者と家族への看護：家族の凝集性を回復する
 - 4. 教育期にあるうつ病患者と家族の看護：家族システムの再構築を支える
 - 5. 教育期にある脳腫瘍患者と家族の看護：家族の生活の構造に変容を促す
 - 6. がん治療のため入院している在留外国人と家族の看護：文化の違いを理解して信頼関係を構築し、支える
 - 7. 高次脳機能障害と共に生きる患者・家族の看護：外来において家族の適応を促す
 - 8. 意思決定過程にあるがん患者と家族の看護：意思決定の葛藤を支える
 - 9. 認知症高齢者を介護する家族の看護：家族内二重の競合調整と生活リズムの安定化を促す
 - 10. 完結期にある虚弱高齢者と家族の看護：在宅での看取りにおける意思の揺れを支える
- 第Ⅵ章 家族看護実践に役立つ研究
 - 1. 家族看護における研究の特徴・課題
 - 2. 研究計画の方法
 - 3. 家族看護における研究の実例

先生のこえ

- ➡ 家族の関係を表した図、家族と地域社会の関係を表した図などが随所に掲載されていて、学生の「家族看護」についての理解に役立っている。
- ➡ さまざまな理論が具体的な事例を通して解説されている。理論と実践のつながりが学生にもわかりやすい構成となっている。

多くの
関連図を
掲載

「家族」単位で
看護する
視点を養います



看護教育学

看護を学ぶ自分と向き合う

改訂第3版



編集 グレグ美鈴 名城大学

池西悦子 大阪医科薬科大学

B5判・324頁 2024.2. ISBN978-4-524-20424-3

定価3,080円(本体2,800円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護教育全般をわかりやすくコンパクトにまとめたテキスト

- ▶ 「ダイバーシティとインクルージョン」の節を新設。学習者の視点から多様性や包摂について理解が深められます。
- ▶ 時勢をふまえ、看護教育における「ICTを活用した学習」について解説した節を新設。
- ▶ 全面カラー化により、より見やすい紙面になりました。

本書の特長

- ✓ “看護を学ぶ自分と向き合い、看護師として、また一社会人として、自ら生涯にわたって成長できる素地を培う”という方針で編集。第Ⅳ章「看護学教育の基盤」にはそのエッセンスが詰まっています。
- ✓ 看護師になるにあたり、看護職の専門職性や、看護職がどのような制度・教育の基に成り立っているか理解できるよう構成。
- ✓ 看護学生や看護師が学習する者として「教育」について知っておくという観点から、カリキュラムや学習理論・学習方法、教育評価等についても解説しています。

執筆

グレグ美鈴	名城大学	安酸 史子	日本赤十字北海道看護大学
奥井 幸子	岡山県立大学名誉教授	塚本 友栄	自治医科大学
橋本麻由里	岐阜県立看護大学	佐々木幾美	日本赤十字看護大学
田村 由美	日本赤十字広島看護大学	朝倉ストレンベック由紀	
高橋みや子	元宮城大学		アドベントヘルス・パーカー病院
田中 響	鳥取看護大学	Joan Kathy Magilvy	コロラド大学名誉教授
近田 敬子	鳥取看護大学名誉学長	Vicki Erickson	コロラド大学名誉教授
林 千冬	神戸市看護大学		竹熊カツマタ麻子
牧本 清子	大阪大学名誉教授		静岡県立大学
中岡亜希子	神戸女子大学		聖アンソニー看護大学
池西 悦子	大阪医科薬科大学		松谷美和子
北川 明	順天堂大学		聖路加国際大学名誉教授
和賀 徳子	元東京医療学院大学		
北得美佐子	東京医療保健大学		

主要目次

第Ⅰ章 看護教育学とは何か

1. 看護教育学とは何か

第Ⅱ章 専門職としての看護

1. 専門職とは何か
2. 実践の学問としての看護学
3. 多職種連携教育（IPE）

第Ⅲ章 看護教育制度

1. 看護制度・看護教育制度の歴史の変遷
2. 看護教育制度の現状
3. 准看護師制度問題

第Ⅳ章 看護学教育の基盤

1. アイデンティティ
2. クリティカルシンキング
3. リフレクション
4. キャリアマネジメント
5. 自己主導型学習
6. ダイバーシティとインクルージョン

第Ⅴ章 カリキュラム

1. カリキュラム開発
2. カリキュラムデザイン
3. カリキュラム評価

第Ⅵ章 学習理論と学習方法

1. 学習理論
2. 学習方法
3. ICTを活用した学習

第Ⅶ章 臨地実習における教育と学習

1. 教育的ケアリングモデル・経験型実習教育
2. 看護学生が直面しやすい問題：臨地実習を通して

第Ⅷ章 教育評価

1. 教育評価とは何か
2. 教育評価の考え方
3. 看護学教育での評価の実例

第Ⅸ章 欧米における看護学教育

1. 米国における看護学教育
2. 英国における看護学教育



難しい
教育的概念には
本文を補足する図を
適宜掲載しました

看護関係法規

改訂第2版



看護職の責任と法的根拠を学ぶ

編集 田中幸子 東京慈恵会医科大学 野村陽子 名寄市立大学

B5判・342頁 2024.2. ISBN978-4-524-20773-2 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

！ 改訂のポイント 看護業務に関わりの深い法・制度を網羅し，“看護の視点”から解説したテキスト

- ▶ 法・制度の改正・改定など、最新の情報に基づいてアップデートを行いました。
- ▶ 「医療的ケア児支援法」「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」「認知症基本法」「LGBT理解増進法」など、ここ数年で新たに施行された法・制度について項目を新設しました。

本書の特長

- ✓ 看護師免許をもつ看護系大学の教員が中心に編集・執筆し，“看護師に必要な関係法規”を看護の視点から解説しています。
- ✓ 法や制度の成立過程やその意義、看護職や看護実践にどのように関わるのかを解説した、これまでにない「看護関係法規」の教科書です。

執筆

野村 陽子	名寄市立大学	亀井美和子	帝京平成大学
宮坂果麻理	朝日大学	加藤 典子	大分県立看護科学大学
酒井美絵子	武蔵野大学	池田 真理	東京大学
田中 幸子	東京慈恵会医科大学	鯨川 誠司	国際医療福祉大学/神谷町セントラル法律事務所
朝居 朋子	藤田医科大学		

主要目次

第Ⅰ章 看護関係法規を学ぶにあたって

- 1 なぜ看護に関する法規を学ぶのか
- 2 法および関連する規範の概念
- 3 社会の基盤にある法・制度

第Ⅱ章 医療提供体制の基本となる法・制度を理解する

- 1 医療提供体制に関する法・制度を理解する
- 2 医療従事者の身分・業務に関する法・制度を理解する
- 3 社会保険制度に関する法・制度を理解する
- 4 臓器移植法および人の死に関する法・制度を理解する

第Ⅲ章 薬剤に関する法・制度を理解する

- 1 医薬品の取り扱いに関する法・制度を理解する
- 2 薬害被害者の救済に関する法・制度を理解する

第Ⅳ章 地域で看護を提供する際に必要な法・制度を理解する

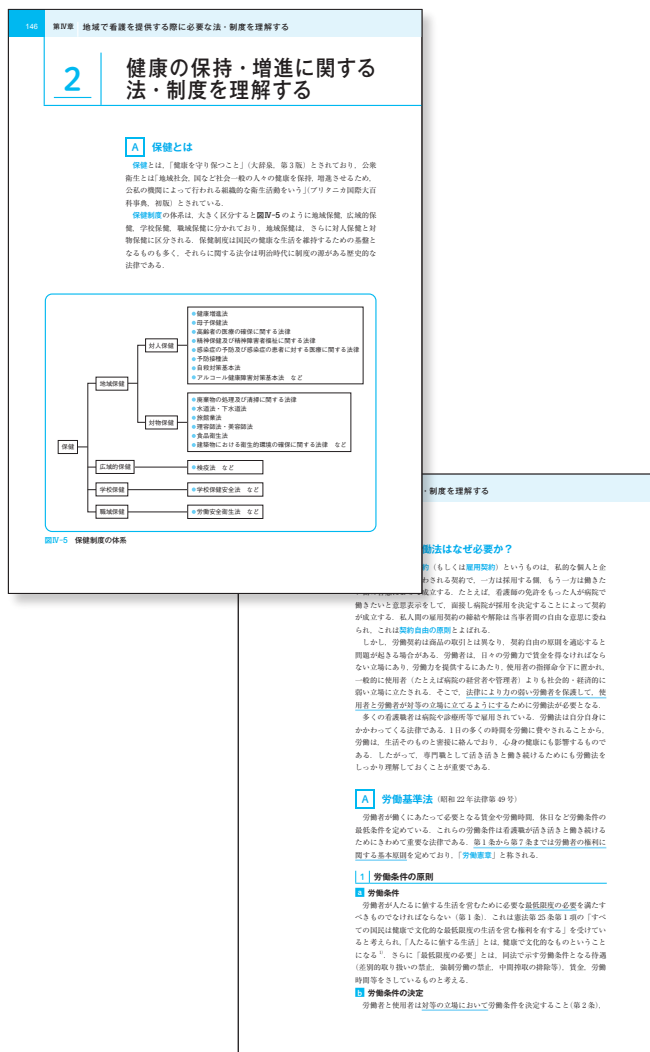
- 1 訪問看護に関する法・制度を理解する
- 2 健康の保持・増進に関する法・制度を理解する
- 3 疾病対策に関する法・制度を理解する
- 4 社会保障・社会福祉制度を理解する
- 5 災害時の医療に関する法・制度を理解する

第Ⅴ章 労働者として労働に関する法・制度を理解する

第Ⅵ章 看護の臨床業務と法・制度の関わりを知る

- 1 看護業務に関係する法規を理解する
- 2 臨床で重要となる法判断—判例を通して考える

第Ⅶ章 政策と立法を理解する



看護と研究 根拠に基づいた実践

Evidence-based Practice(EBP)



編集 西垣昌和 国際医療福祉大学

B5判・176頁 2023.8. ISBN978-4-524-24864-3 定価2,750円(本体2,500円+税10%)

本書の特長

- ✓ 根拠に基づいた看護実践(EBP)のために必要な考え方と思考スキルを身に付けることができる、まったく新しい教科書。
- ✓ 第Ⅱ章でEBPのステップを丁寧に解説し、第Ⅲ章では実際の研究論文を題材に臨床疑問から文献探索、研究結果の解釈・吟味、臨床実践への適用までの流れを例示しています。
- ✓ 第Ⅳ章には、EBPに必要とされる情報リテラシーや、論文を読み解くために必要となる基礎的な統計知識、研究デザインの解説を収載。

執筆

西垣 昌和 国際医療福祉大学
山川みやえ 大阪大学
矢山 壮 関西医科大学
徳永 友里 杏林大学

三條真紀子 国際医療福祉大学
白石 三恵 大阪大学
落合 亮太 横浜市立大学

主要目次

第Ⅰ章 根拠に基づいた実践(EBP)の概要を知る

1. 根拠に基づいた実践(EBP)とは

第Ⅱ章 根拠に基づいた実践(EBP)の5つのステップを学ぶ

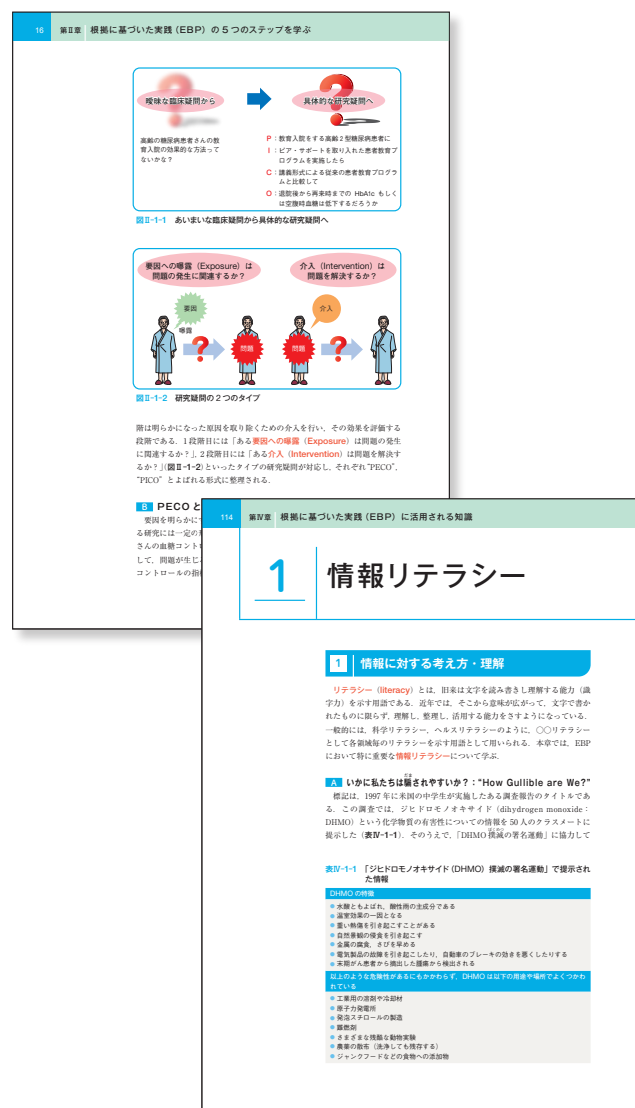
1. 課題・疑問を形式化する
2. エビデンスを入手する
3. 文献を吟味する
4. 研究結果を適用し実施する
5. 実施結果(アウトカム)を評価する
6. 研究をする:エビデンスを「つくる」

第Ⅲ章 さまざまな研究方法の文献(論文)を読む

1. 横断研究
2. ケースコントロール研究
3. 後ろ向きコホート研究
4. 前後比較研究
5. ランダム化比較試験(RCT)
6. システマティックレビュー
7. ケーススタディ
8. 内容分析
9. グラウンデッド・セオリー・アプローチ
10. 現象学的研究

第Ⅳ章 根拠に基づいた実践(EBP)に活用される知識

1. 情報リテラシー
2. 基本的な統計の知識
3. 研究デザイン・研究方法の紹介



NiCE病態・治療論 シリーズ

■シリーズの紹介

- 「NiCE病態・治療論」シリーズは、**専門基礎分野**において疾病の**病態・診断・治療を学ぶ**ための教科書です(全14巻、ラインナップは次頁参照)。
- 医師と看護師が共同で編集**することで、**看護学生に必要な知識**という視点で編集されています(※第11巻除く)。
- 各巻は「第Ⅰ章 機能と障害」「第Ⅱ章 診断・治療」「第Ⅲ章 疾患各論」を基本構成としています。
- 看護師国家試験出題基準**に記載の疾病や検査・治療方法について**網羅**しています。

■シリーズの特長

- 単に病態・治療の知識を学ぶだけの教科書ではなく、その後に学ぶ看護学や実習につながる学びとなるよう、次の3点を重視して構成しています。

- ①機能・構造の障害から症状を理解できる
- ②診断・治療の進め方・考え方がわかる
- ③病態に伴う合併症や治療の副作用、治療経過や予後、退院支援・患者教育の知識が得られる

[7] 腎・泌尿器疾患 より

8 診断

どのような症状から疑われるか
前述のとおり、古典的3主徴が知られる
で発見されることが多い。

診断の進め方・確定診断の方法
腎がんの場合、特異的な血液検査はない。エコー検査やCT検査などの画像検査を行い診断する。

どのような症状からその疾患が疑われるのか、患者をアセスメントする際の視点が得られます。

治療効果・予後

約2年の治療期間を要し、その内約6~8ヵ月は入院治療となる。急性Eに与える因子を表Ⅲ-2-3に示す。最も予後に影響を与えるのはM3となる。M3以外の若年成人AML症例全体の5年無再発生存率は、約40%は、70~80%以上と良好である。一方、若年成人ALLでは造血幹細胞移植例を含め、約30%である。Ph染色体陽性ALLでは、チロシンキナーゼ阻害薬の組み合わせることで、近年、予後の改善が得られてきている。

治療経過や予後は、看護計画や患者への説明のための重要な情報です。

[6] 血液・造血器疾患 より

- 学生の興味関心を引く囲み記事として、「臨床で役立つ知識」、知識を掘り下げる「もう少しくわしく」、その他のさまざまな情報をまとめた「コラム」を豊富に掲載しています。

■シリーズの改訂を進めています

- 改訂第2版では、「**看護**」を学ぶ節を新たに設けます(一部の巻を除く)。臨床看護への橋渡しとして、各巻で学ぶ病態・治療に特徴的な看護をテーマごとに概説します。

改訂済み

- | | |
|-------------|-------------|
| 【1】病態・治療総論 | 【7】腎・泌尿器疾患 |
| 【2】呼吸器疾患 | 【9】運動器疾患 |
| 【3】循環器疾患 | 【12】精神疾患 |
| 【4】消化器疾患 | 【13】産科婦人科疾患 |
| 【5】内分泌・代謝疾患 | 【14】小児疾患 |

2025年秋改訂予定

- 【6】血液・造血器疾患

2026年春改訂予定

- 【8】脳・神経疾患
【10】感染症／アレルギー／膠原病
【11】皮膚／耳鼻咽喉／眼／歯・口腔疾患

【1】病態・治療総論 改訂第2版 新刊

編集 石松 伸一 (聖路加国際病院)
林 直子 (聖路加国際大学)
鈴木 久美 (大阪医科大学)

B5判・328頁 2025.3. ISBN978-4-524-21139-5
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【8】脳・神経疾患

編集 川上 徳昭 (川上脳神経外科クリニック)
綿貫 成明 (国立看護大学校)

B5判・308頁 2020.3. ISBN978-4-524-23748-7
定価2,640円(本体2,400円+税10%)

【2】呼吸器疾患 改訂第2版

編集 石原 英樹 (八尾徳洲会総合病院)
竹川 幸恵 (大阪はびきの医療センター)

B5判・260頁 2024.2. ISBN978-4-524-20479-3
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【9】運動器疾患 改訂第2版 新刊

編集 土井田 稔 (岩手医科大学)
秋山 智弥 (名古屋大学医学部附属病院)

B5判・264頁 2025.2. ISBN978-4-524-21399-3
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【3】循環器疾患 改訂第2版 新刊

編集 八尾 厚史 (東京大学)
落合 亮太 (筑波大学)

B5判・352頁 2024.12. ISBN978-4-524-21023-7
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【10】感染症／アレルギー／膠原病

編集 竹末 芳生 (兵庫医科大学) 佐野 統 (兵庫医科大学名誉教授)
一木 薫 (兵庫医科大学病院) 東 直人 (兵庫医科大学)

B5判・302頁 2019.7. ISBN978-4-524-23751-7
定価2,420円(本体2,200円+税10%)

【4】消化器疾患 改訂第2版 新刊

編集 津田 泰宏 (大阪医科大学)
鈴木 久美 (大阪医科大学)

B5判・352頁 2025.1. ISBN978-4-524-21091-6
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【11】皮膚／耳鼻咽喉／眼／歯・口腔疾患

編集 片山 一朗 (大阪市立大学) 阪上 雅史 (兵庫医科大学)
五味 文 (兵庫医科大学) 岸本 裕充 (兵庫医科大学)

B5判・382頁 2019.8. ISBN978-4-524-23752-4
定価3,080円(本体2,800円+税10%)

【5】内分泌・代謝疾患 改訂第2版 新刊

編集 能登 洋 (聖路加国際病院)
林 直子 (聖路加国際大学教授)

B5判・264頁 2025.2. ISBN978-4-524-21195-1
定価2,860円(本体2,600円+税10%)

【12】精神疾患 改訂第2版

編集 加藤 温 (国立国際医療研究センター病院)
森 真喜子 (国立看護大学校)

B5判・240頁 2024.1. ISBN978-4-524-20469-4
定価2,530円(本体2,300円+税10%)

【6】血液・造血器疾患 改訂第2版 近刊

編集 小川 吉明 (東海大学)
横田 弘子 (東海大学医学部附属病院)

B5判・240頁 2025.7. 発売予定 ISBN978-4-524-21397-9
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【13】産科婦人科疾患 改訂第2版 新刊

編集 百枝 幹雄 (愛育病院)
山中美智子 (聖路加国際病院)
森 明子 (湘南鎌倉医療大学)

B5判・456頁 2025.1. ISBN978-4-524-21038-1
定価3,630円(本体3,300円+税10%)

【7】腎・泌尿器疾患 改訂第2版

編集 竹田 徹朗 (獨協医科大学埼玉医療センター)
鈴木 和浩 (群馬大学)
岡 美智代 (群馬大学)

B5判・276頁 2024.2. ISBN978-4-524-20478-6
定価2,750円(本体2,500円+税10%)

【14】小児疾患 改訂第2版 新刊

編集 真部 淳 (北海道大学) 小澤 美和 (聖路加国際病院)
松藤 凡 (三井物産株式会社) 小林 京子 (聖路加国際大学)

B5判・444頁 2024.11. ISBN978-4-524-21024-4
定価3,520円(本体3,200円+税10%)

生化学



著 石堂一巳 徳島文理大学

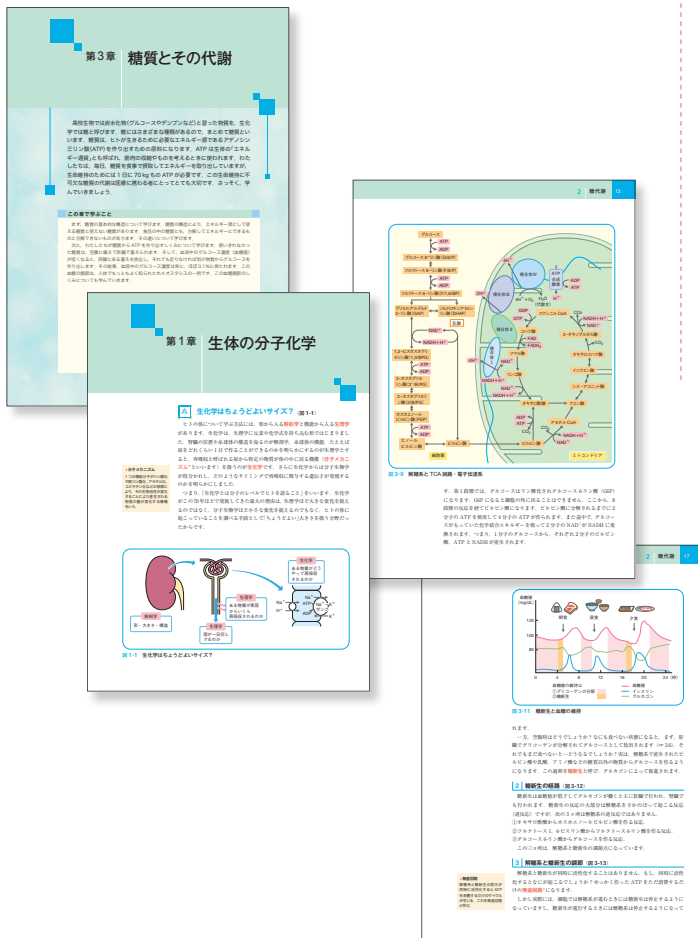
B5判・168頁 2022.1. ISBN978-4-524-22839-3 定価2,420円(本体2,200円+税10%)

本書の特長

- ✓ 看護学生にとって“難しい”イメージのある生化学を、わかりやすく、興味をもって学べるよう、様々な工夫をしています。
- ✓ 各章の冒頭に「導入」を設けています。高校までの知識の振り返りや、身近な題材とのつながりから、学習内容への関心を引き出します。
- ✓ 「導入」の後に「この章で学ぶこと」を設けています。章全体のストーリーを知ることができ、全体像をイメージしながら読むことができます。
- ✓ 視覚的に理解できるよう、わかりやすく工夫された図を数多く掲載しています。
- ✓ 学生の興味・関心を惹くコラムを随所に挿入しています。健康に関すること、栄養学に関すること、病気や治療に関することなど、生化学が身近な生活や、これから学ぶ多くの医学に関係していることが感じられます。

主要目次

- 第1章 生体の分子化学
- 第2章 代謝の基礎と酵素・ビタミン・ミネラル
 - 1 代謝の基礎
 - 2 酵素
 - 3 ビタミン
 - 4 ミネラル
- 第3章 糖質とその代謝
 - 1 糖質の構造
 - 2 糖質代謝
- 第4章 脂質とその代謝
 - 1 脂質の構造
 - 2 脂質代謝
- 第5章 タンパク質とその代謝
 - 1 アミノ酸とタンパク質の構造
 - 2 アミノ酸とタンパク質の代謝
- 第6章 核酸・ヌクレオチド・遺伝
 - 1 核酸の構造と機能
 - 2 ヌクレオチドの代謝
 - 3 遺伝
- 第7章 ホメオスタシスを維持するための情報伝達
 - 1 細胞間情報伝達
 - 2 細胞内情報伝達
- 第8章 水・電解質のホメオスタシスの維持
 - 1 体の中の水分
 - 2 酸塩基平衡
- 第9章 生体防御(免疫)
 - 1 血液
 - 2 免疫のしくみ
 - 3 自己免疫疾患
- 第10章 疾患の生化学
 - 1 生化学の発展により病気の診断が変わった
 - 2 感染症と予防
 - 3 生活習慣病と生化学
 - 4 がんと生化学



薬理学



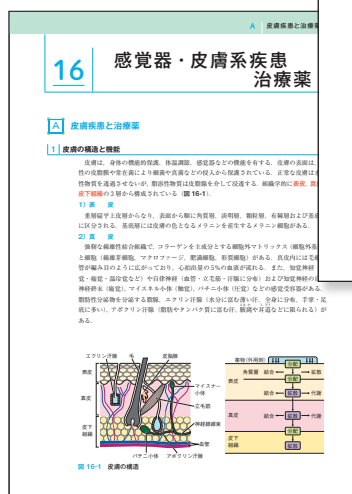
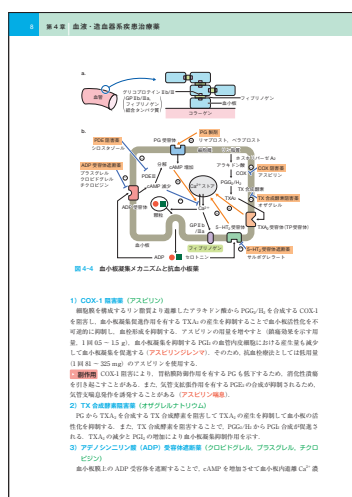
編集 荻田喜代一 摂南大学
首藤 誠 摂南大学

編集協力 竹中 泉 大阪信愛学院短期大学
中山由美 四天王寺大学

B5判・296頁 2020.11. ISBN978-4-524-25291-6 定価2,860円(本体2,600円+税10%)

本書の特長

- 看護師が必要とする薬物治療学の視点を取り入れた薬理学の教科書。「人」をイメージできるよう、疾患の病態、薬物療法の方針、薬理作用の解説という流れで構成。
- 患者の一番近くにいる看護師にとって重要な情報である「副作用」「禁忌」については、薬理作用と結びつけて記載し、なぜ起こるのかを理解します。また、患者観察や看護のポイントを盛り込み、臨床とのつながりを示しています。
- 知識の整理の助けとして、薬剤の作用、特徴をまとめた一覧表を掲載。



執筆

荻田喜代一 摂南大学
米山 雅紀 摂南大学
田中 雅幸 摂南大学
首藤 誠 摂南大学
菊田 真穂 摂南大学
小森 浩二 摂南大学
中山 由美 四天王寺大学
竹中 泉 大阪信愛学院短期大学

主要目次

- 第1章 総論
- 第2章 自律神経系に作用する薬
- 第3章 心臓・血管系疾患治療薬
- 第4章 血液・造血管系疾患治療薬
- 第5章 消化器系疾患治療薬
- 第6章 呼吸器系疾患治療薬
- 第7章 腎臓・尿路・生殖器系疾患治療薬
- 第8章 ホルモン関連薬
- 第9章 代謝系疾患治療薬
- 第10章 抗炎症薬、鎮痛薬
- 第11章 免疫・アレルギー系疾患治療薬
- 第12章 骨・関節系疾患治療薬
- 第13章 抗感染症薬
- 第14章 抗がん薬
- 第15章 中枢神経系疾患治療薬
- 第16章 感覚器・皮膚系疾患治療薬
- 第17章 外科手術で用いられる薬物
- 第18章 救急の際に用いられる薬物
- 第19章 中毒と解毒薬
- 第20章 漢方薬
- 第21章 薬物療法における看護のポイント

微生物学・感染症学



編集 中野隆史 大阪医科薬科大学

B5判・396頁 2020.11. ISBN978-4-524-23798-2 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

本書の特長

- 微生物に重点を置いた講義、感染や感染対策に重点を置いた講義、どちらにも対応できるよう、微生物学編と感染症学編の2本立てとしています。
- 老年看護学、母性看護学、小児看護学につながる・そこから振り返る際に用いられることを意識し、「性感染症と母子感染」、「高齢者の感染症」、「ワクチン・血清療法」を項目立てしています。
- 臨床的な内容も重要な領域であるため、感染制御についても充実しています。

執筆

中野 隆史	大阪医科薬科大学	川村 尚久	大阪労災病院
中田 裕二	藍野大学	森松 伸一	大阪医科薬科大学
呉 紅	大阪医科薬科大学	河野 武弘	大阪医科薬科大学病院
鈴木 陽一	大阪医科薬科大学	高崎 智彦	BML総合研究所
金子 幸弘	大阪市立大学	上田英一郎	大阪医科薬科大学病院
太田 伸生	鈴鹿医療科学大学	浮村 聡	大阪医科薬科大学病院
武内 徹	大阪医科薬科大学病院		

主要目次

1 微生物学・免疫学

第1章 微生物学総論

- 1 微生物学を学ぶ意味
- 2 微生物と環境、微生物とヒト
- 3 微生物学の歴史
- 4 微生物の種類と特徴

第2章 細菌総論(細菌の性質)

- 1 細菌の形態・構造と機能
- 2 細菌の生育環境・増殖と遺伝・変異
- 3 細菌の病原性
- 4 常在細菌叢

第3章 細菌各論(主な細菌)

- 1 細菌の分類
- 2 グラム陽性球菌
- 3 グラム陰性球菌
- 4 グラム陰性通性嫌気性桿菌
- 5 グラム陽性桿菌
- 6 グラム陰性桿菌
- 7 抗酸菌
- 8 嫌気性菌
- 9 らせん菌
- 10 特殊な細菌

第4章 ウイルス総論(ウイルスの性質)

- 1 ウイルスの形態・構造
- 2 ウイルスの増殖
- 3 ウイルスの遺伝・変異
- 4 ウイルスの病原性
- 5 ウイルスによる発がん

第5章 ウイルス各論(主なウイルス)

- 1 DNAウイルス
- 2 RNAウイルス
- 3 肝炎ウイルス
- 4 プリオン

第6章 真菌

- 1 真菌

第7章 原虫・蠕虫

- 1 原虫の性質
- 2 蠕虫

第8章 免疫学

- 1 免疫の基本的なしくみ
- 2 自然免疫系
- 3 獲得免疫系
- 4 アレルギー
- 5 自己免疫疾患
- 6 感染防御免疫
- 7 ワクチンと血清療法

2 感染症学

第9章 感染症総論

- 1 感染症とは
- 2 感染症の検査・診断と治療

第10章 感染症各論1 全身性および器官別感染症

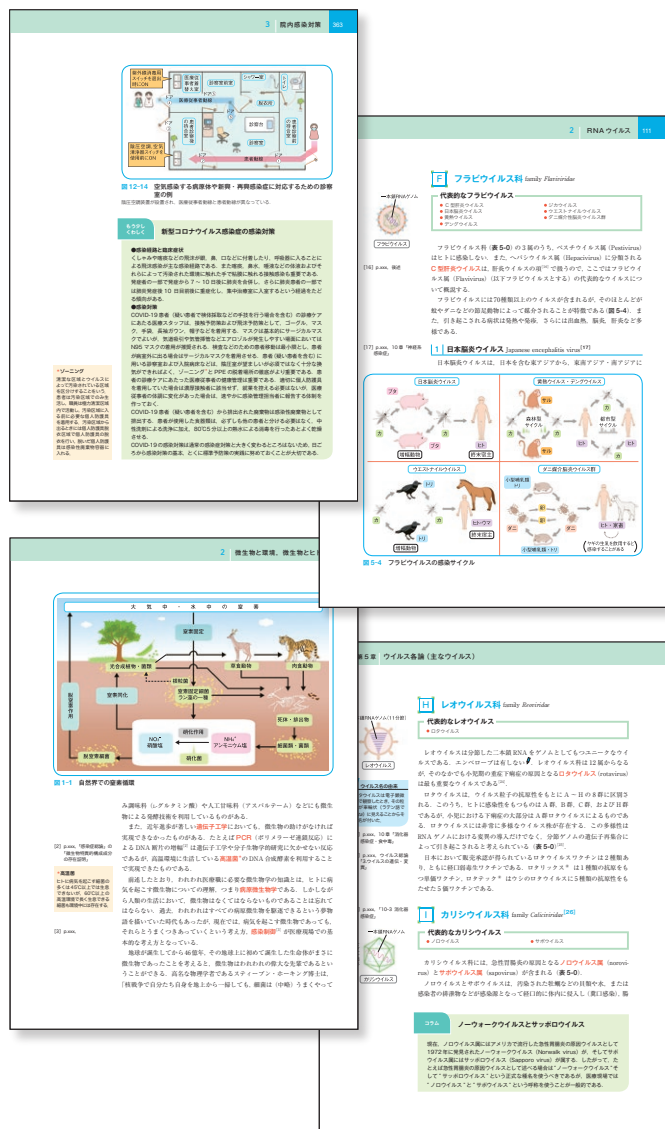
- 1 全身性ウイルス感染症
- 2 発熱性感染症
- 3 呼吸器感染症
- 4 消化器感染症・食中毒
- 5 血液媒介感染症とウイルス性肝炎
- 6 泌尿器感染症
- 7 神経系感染症
- 8 皮膚・創傷感染症
- 9 眼感染症

第11章 感染症各論2 その他の感染症

- 1 性感染症と母子感染
- 2 高齢者の感染症
- 3 日見感染症
- 4 多剤耐性菌による感染症・菌交代症
- 5 敗血症
- 6 人獣共通感染症
- 7 新興・再興感染症

第12章 感染制御

- 1 感染対策総論
- 2 消毒と滅菌
- 3 院内感染対策



根拠がわかる 疾患別看護過程



改訂第3版

編集 新見 明子 (川崎医療短期大学)

B5判・1,256頁 2021.9. ISBN978-4-524-24839-1 定価6,820円(本体6,200円+税10%)

大好評参考書がオールカラーになって大改訂! 実習でよく出会う78疾患について、看護過程の展開に必要な医学的知識、病期・治療に沿ったアセスメント、看護計画とケアの「根拠」「留意点」がますます充実。好評の「関連図」では発症から病態生理学的変化、治療経過、看護問題の抽出までを図式化し、患者の経過が一目でわかる。さらに第2部以降で「治療別看護」「経過別看護」「感染症看護」「臨床検査値一覧」を収載し、患者の状況に応じたアセスメントと臨床判断ができる。看護学生や新人看護師の「なぜ・どうして」に応える、実習で役立つ頼れる味方!



執筆

新見 明子 川崎医療短期大学
榎本 朋子 川崎医療短期大学
大倉 美穂 川崎医療福祉大学
辻井 由紀 たつの市民病院
中尾富士子 熊本県立大学
平松 貴子 川崎医科大学附属病院
沖田 聖枝 川崎医療短期大学
河畑 匡法 川崎医療短期大学
黒田 裕子 川崎医療短期大学
林 千加子 川崎医療短期大学
小野 美穂 岡山大学

鈴木千絵子 姫路大学
山本 直美 川崎医療短期大学
黒田寿美恵 県立広島大学
吉田 和美 県立広島大学
掛屋 純子 川崎医療短期大学
掛田 崇寛 川崎市立看護大学
高岡 宏一 関西福祉大学
岡田みどり 川崎医療短期大学
清水登紀子 川崎医科大学附属病院
宮川 藍 川崎医療福祉大学
中川 初恵 旭川大学

加藤 公美 川崎医科大学附属病院
三宅 映子 川崎医療短期大学
福武まゆみ 川崎医療短期大学
松本 啓子 香川大学
亀高 泰世 岡山大学病院
小淵 京子 川崎医療短期大学
岡本 亜紀 岡山大学
岡田 淳子 県立広島大学
片山 友里 元 県立広島大学
安田 千香 県立広島大学
村上 美香 川崎医科大学附属病院

平田 早苗 川崎医科大学附属病院
井上 千穂 川崎医科大学附属病院
坂口 佳織 川崎医科大学附属病院
寺本 里美 川崎医科大学附属病院
松本 明美 川崎医療短期大学
弘中 藍子 岡山大学
日下 知子 川崎医療短期大学
阿部 裕美 川崎医療短期大学
合田 友美 千里金蘭大学
松本佳代子 川崎医療短期大学
中原 貴子 川崎医療福祉大学

主要目次

序章 入院患者の一般的情報収集ガイド
基本的な情報収集項目

第1章 循環器系疾患

狭心症
心筋梗塞
心不全
閉塞性動脈硬化症
大動脈解離・心タンポナーデ
リンパ浮腫

第2章 呼吸器系疾患

肺がん
肺炎
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
気胸

第3章 消化器系疾患

食道がん
胃がん
潰瘍性大腸炎
大腸がん
肝硬変・肝がん
胆道がん
胆石症
膵炎
胆石症

第4章 栄養・代謝／内分泌系疾患

糖尿病
脂質異常症
甲状腺機能亢進症 (バセドウ病)
甲状腺がん
脂質異常症

第5章 腎・泌尿器系疾患

慢性腎臓病 (CKD)
慢性糸球体腎炎 (症候群)
腎がん (腎細胞がん)
前立腺がん
膀胱がん
腎がん (腎細胞がん)

第6章 血液・造血器系疾患

再生不良性貧血
白血病
悪性リンパ腫
多発性骨髄腫

第7章 脳血管系疾患

脳出血
くも膜下出血
脳梗塞
脳腫瘍

第8章 神経・筋疾患

多発性硬化症 (MS)
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
重症筋無力症 (MG)
パーキンソン病 (PD)

第9章 精神疾患

認知症
統合失調症
双極性障害
抑うつ (うつ病)
パーソナリティ障害

第10章 膠原病／自己免疫系疾患

関節リウマチ (RA)

全身性エリテマトーデス (SLE)
多発性筋炎 (PM)・皮膚筋炎 (DM)

第11章 感染症

HIV感染症 (AIDS)
肺結核

第12章 運動器系疾患

脊髄損傷
腰椎椎間板ヘルニア
大腿骨頸部骨折
変形性膝関節症

第13章 皮膚疾患／熱傷

悪性黒色腫 (メラノーマ)
熱傷
アトピー性皮膚炎
疥癬

第14章 眼／咽・喉頭疾患

網膜剥離
白内障
喉頭がん
白内障

第15章 婦人科系疾患

乳がん
リンパ浮腫
卵巣がん
子宮がん
卵巣がん
子宮筋腫

第16章 母性／産期

周産期の正常過程と標準的看護過程
妊娠高血圧症候群
切迫産産・切迫早産

帝王切開術前・後
低出生体重児
不妊症

第17章 小児疾患

川崎病
ファロー四徴症
気管支喘息
腸重積
ネフローゼ症候群
急性リンパ性白血病 (ALL)
麻疹
発育性股関節形成不全
(先天性股関節脱臼)

第2部 経過・治療別の看護

第1章 経過別看護

急性期
回復期
慢性期
終末期

第2章 治療別看護

薬物療法
食事療法
手術療法
放射線療法
リハビリテーション療法

付録

感染症看護
臨床検査値一覧

根拠がわかる症状別看護過程

ここからだの69症状・事例展開と関連図



改訂第4版

編集 百瀬 千尋 (JCHO横浜中央病院附属看護専門学校)
井澤 晴美 (前佼成看護専門学校)

B5判・896頁 2023.11. ISBN978-4-524-22537-8 定価5,940円(本体5,400円+税10%)

身体症状に加え心理・社会的症状を含む69の症状について、モデル的な看護診断と、事例に基づく具体的な看護過程について関連図を交えて解説。今改訂では新たな編集体制のもと、看護計画を見やすい表形式としてより多くの根拠・留意点などを示すようにしたほか、イラスト多く用いてよりビジュアルにわかりやすい紙面とした。看護の視点から人間を捉えた「症状別看護」の決定版。



執筆

百瀬 千尋 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
大澤 健司 JCHO東京山手メディカルセンター附属看護専門学校
大隈 直子 JCHO九州病院
川崎 寛子 前JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
飯田 雅子 学校法人栄戸学園横浜未来看護専門学校
井澤 晴美 前佼成看護専門学校
福森 茂樹 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
茂木真由美 JCHO横浜中央病院
本田 里香 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
渡辺 匡代 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
酒井 礼子 医療法人光仁会南部厚生病院

大塚 克江 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
向井恵美子 JCHO神戸中央病院附属看護専門学校
坂本 真澄 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
島村 純子 JCHO東京新宿メディカルセンター
三井美恵子 JCHO東京山手メディカルセンター附属看護専門学校
佐野なつめ JCHO東京新宿メディカルセンター
古畑 聡子 JCHO東京新宿メディカルセンター附属看護専門学校
関根 貴子 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
戸田 法子 JCHO横浜中央病院附属看護専門学校
飯田 真紀 JCHO本部

主要目次

序 看護からみた症状とは

第1章 呼吸

1. 咳嗽・喀痰
2. 呼吸困難
3. 咯血
4. 胸水

第2章 循環

1. 血圧異常
2. 動悸
3. 貧血
4. 出血傾向
5. 吐血・下血
6. ショック
7. けいれん
8. 浮腫
9. 腹水
10. 脱水

第3章 栄養・代謝

1. 食欲不振
2. 嚥下困難
3. 悪心・嘔吐
4. 肥満・やせ
5. 血糖異常
6. 発熱
7. 発汗
8. 褥瘡・びらん
9. 黄疸

第4章 排泄

1. 頻尿・尿閉・残尿感
2. 尿失禁

3. 血尿

4. 多尿・乏尿
5. 便秘
6. 下痢
7. 便失禁

第5章 活動・休息

1. 倦怠感
2. 運動障害
3. 振戦
4. 不眠

第6章 知覚

1. 視覚障害
2. 聴覚障害(難聴)
3. しびれ・知覚障害
4. めまい
5. 痒痒感
6. 疼痛

第7章 理解

1. 意識障害
2. 見当識障害
(記憶障害, 知能障害, 妄想, 感情の障害)
3. 幻覚・妄想
4. せん妄
5. コンプライアンスの低下
6. 高次脳機能障害

第8章 伝達

1. 言語障害
2. 失声

第9章 感情

1. 抑うつ状態

2. 依存

3. 不安
4. 恐怖
5. 悲嘆
6. 拒否・攻撃的行動
7. ボディイメージの混乱

根拠がわかる母性看護過程

事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画



編集 中村 幸代 (横浜市立大学)

B5判・264頁 2018.4. ISBN978-4-524-25513-9 定価3,080円(本体2,800円+税10%)

執筆

中村 幸代 横浜市立大学
中田かおり 天使大学
篠崎 克子 国際医療福祉大学
菱沼 由梨 東京都立大学

佐藤 いすみ 日本赤十字看護大学
宮内 清子 和洋女子大学
長田 知恵子 日本赤十字豊田看護大学
竹内 翔子 横浜市立大学

主要目次

第Ⅰ章 母性看護学の特徴

1.母性看護学の考え方

第Ⅱ章 看護過程の考え方

1.看護過程とは何か、そしてその展開とは 2.母性看護学における看護過程

第Ⅲ章 看護過程の展開

A 妊娠期の看護過程

1.正常な妊婦の看護過程

1 妊娠期にある対象者の理解 2 妊娠期の基本的なアセスメント項目

2.切迫早産の看護過程(ハイリスク)

1 切迫早産の対象者の理解 2 切迫早産の基本的なアセスメント項目

3.妊娠高血圧症候群の看護過程(ハイリスク)

1 妊娠高血圧症候群の対象者の理解 2 妊娠高血圧症候群の基本的なアセスメント項目

B 分娩期の看護過程

1 分娩期にある対象者の理解

2 分娩期の基本的なアセスメント項目

C 産褥期の看護過程

1.正常分娩の看護過程

1 産褥期にある対象者の理解 2 産褥期の基本的なアセスメント項目

2.帝王切開の看護過程(ハイリスク)

1 帝王切開を受ける対象者の理解 2 帝王切開後の基本的なアセスメント項目

3.母児分離状況の看護過程(ハイリスク)

1 母児分離にある対象者の理解 2 母児分離の基本的なアセスメント項目

D 新生児期の看護過程

1 新生児期にある対象者の理解

2 新生児期の基本的なアセスメント項目

2.母性看護学におけるセルフケアに関する理論

3.「対象の基本情報」が必要な理由と看護過程への活かし方

事例1 妊娠36週3日に妊婦健診のため来院予定のAさん

事例2 妊娠33週で切迫早産と診断されたBさん

事例3 妊娠31週で妊娠高血圧症候群と診断されたCさん

事例4 分娩第1期の正常経過のDさん

事例5 正常分娩正常産褥、産褥1日目のEさん

事例6 正常分娩正常産褥、産褥4日目のEさん

事例7 帝王切開を受けた産褥3日目のFさん

事例8 36週で分娩、低出生体重児にて母児分離状況にあるGさん

事例9 正常分娩で生まれた日齢1日目のHくん

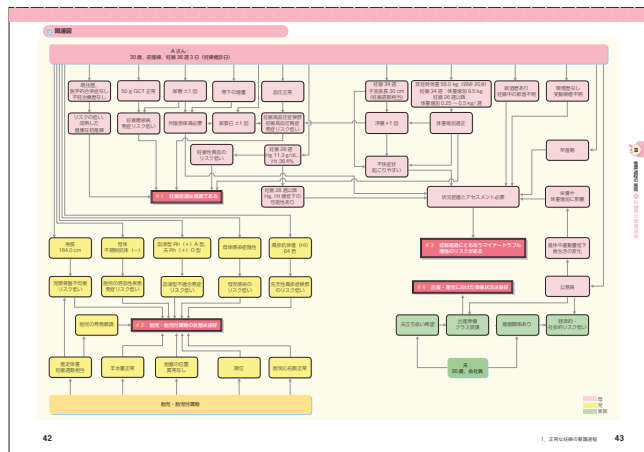
事例10 正常分娩で生まれた日齢4日目のHくん

付録

1.新生児の基準値

2.新生児のフィジカルアセスメント項目

3.産褥期のアセスメント項目



母性看護学実習や演習で、実際に看護過程を展開するうえで基本となるウェルネス志向型を中心に、実習で受け持ちやすい事例を豊富に用いて看護過程を解説。事例の看護過程の展開を通して母性看護学の看護過程を学生が理解し、情報収集やアセスメントの実際に役立てること、そして、受け持ちの対象の看護過程の立案に活かすことが出来るようになる一冊。

根拠がわかる母性看護技術



編集 中村 幸代 (横浜市立大学)

B5判・216頁 2024.7. ISBN978-4-524-23026-6 定価3,300円(本体3,000円+税10%)

母性看護学の実習・学内演習のための技術参考書。実習の機会が限られる学生の看護実践力育成を助けるため、「妊娠期」「分娩期」「産褥期」「新生児期」の実践場面を想定し目次を構成。技術の要点・根拠を充実し、技術のイメージがより図れるよう図・写真を多用した。ケアの前・中・後の患者への声かけ例も紹介。主要な技術には動画もついて、学生の事前学習に適した1冊。



執筆

中村 幸代 横浜市立大学
菱沼 由梨 東京都立大学

竹内 翔子 横浜市立大学
篠原枝里子 横浜市立大学



主要目次

第1章 母性看護技術の考え方

第2章 妊娠期

1. 妊娠期のケアの特徴
2. 妊娠期の看護技術

第3章 分娩期

1. 分娩期のケアの特徴
2. 分娩期の看護技術
 - 2-1. 正常分娩
 - 2-2. 無痛分娩

第4章 産褥期

1. 産褥期のケアの特徴
2. 産褥期の看護技術
 - 2-1. 正常分娩
 - 2-2. 帝王切開術
 - 2-3. 産後健診

第5章 新生児期

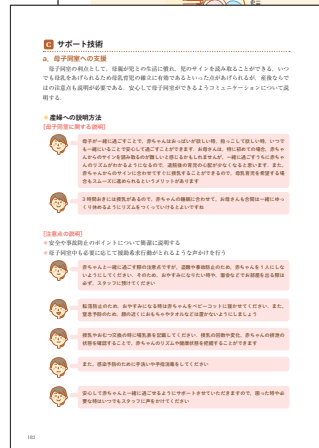
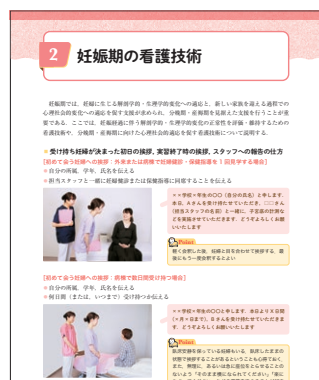
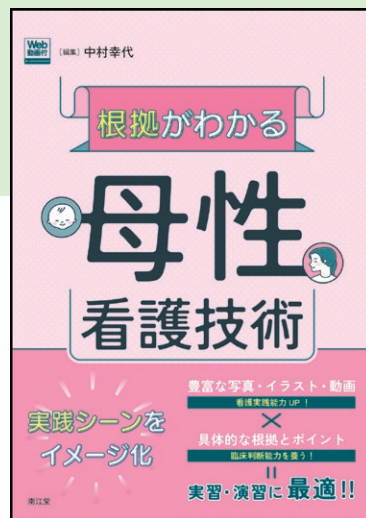
1. 新生児期のケアの特徴
2. 新生児期の看護技術



Web動画一覧

レオポルド触診法
説明(子宮収縮状態の観察)
子宮収縮状態の観察
説明(悪露・外陰部の観察)
悪露・外陰部の観察
説明(乳房・乳頭の確認)
乳房・乳頭の確認
子宮の輪状マッサージ
呼吸数の確認(視診)
呼吸数の確認(触診)
呼吸の確認(聴診)
心音・心拍数の確認(聴診)
体温測定1(腋窩温)
体温測定2(頸部温)
頭部・顔面の観察
頸部・胸部・腹部の観察
背部・臀部の観察
外陰部・股関節・四肢の観察

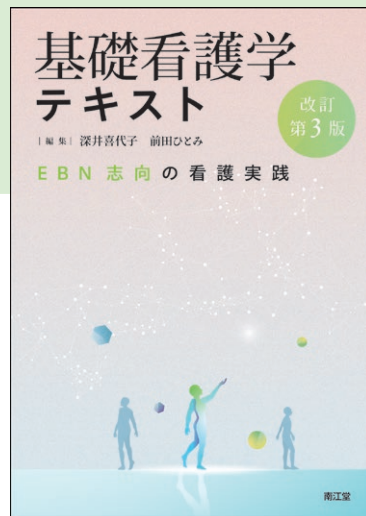
モロー反射の確認
口唇反射の確認
把握反射の確認
足底把握反射の確認
自動歩行の確認
筋緊張頸反射の確認
経皮ビリルビンの測定
体重測定
沐浴
更衣
おむつ交換
児を落ち着かせるスキル
(縦抱き・スクワット・横抱き)
児を落ち着かせるスキル
(手を口元にもっていく)
げっぷを出す方法



基礎看護学テキスト

EBN志向の看護実践

改訂第3版



編集 深井喜代子 (岡山大学名誉教授／東京慈恵会医科大学)
前田ひとみ (熊本大学)

B5判・528頁 2023.12. ISBN978-4-524-23495-0 定価5,940円(本体5,400円+税10%)

研究データに裏付けされた看護実践の実現を目指し、可能な限りの根拠を示しながら基礎看護学の広範で多様な内容をまとめた好評テキストの改訂版。今版では、新しいエビデンスをもとに全体の記述を見直し、新項目としてゲノム医療、排便障害とケアなどの内容を追加した。看護の科学性を希求する志の高い看護学系教員、次代の看護界を支える看護大学生に必携の書。



執筆

深井喜代子	岡山大学名誉教授／東京慈恵会医科大学	若村 智子	京都大学	真田 弘美	石川県立看護大学	横山 美江	大阪公立大学
武田 祐子	慶應義塾大学	佐伯 由香	愛媛大学	仲上豪二朗	東京大学	赤瀬 智子	横浜市立大学
岡 美智代	群馬大学	池田 理恵	和歌山県立医科大学	紺家千津子	石川県立看護大学	原 好恵	人間環境大学
宮脇美保子	慶應義塾大学名誉教授	關戸 啓子	宝塚医療大学	柳 奈津子	群馬大学	岡田 淳子	県立広島大学
石原 美和	神奈川県立保健福祉大学	大川百合子	宮崎大学	小坂橋喜久代	群馬大学名誉教授	岡田みどり	川崎医療短期大学
松本 智晴	熊本大学	香春 知永	武蔵野大学	縦野 香苗	名古屋市立大学	武田 利明	岩手県立大学名誉教授
川口 孝泰	医療創生大学	田中 愛子	山口大学	佐藤 正美	東京慈恵会医科大学	肥後すみ子	元純真学園大学
中山 和弘	聖路加国際大学	伊丹 君和	滋賀県立大学	荒尾 晴恵	大阪大学	田中 裕二	令和健康科学大学
新見 明子	川崎医療短期大学	渡邊 順子	静岡県立大学	村上 美華	熊本保健科学大学	前田 耕助	東京都立大学
早瀬 良	中部大学	丹 佳子	山口県立大学	神田 清子	新潟県立看護大学	田中美智子	宮崎県立看護大学
前田ひとみ	熊本大学	縄 秀志	聖路加国際大学名誉教授	植田喜久子	日本赤十字広島看護大学名誉教授	峰松 健夫	石川県立看護大学
西田 直子	京都府立医科大学名誉教授／京都先端科学大学	徳永なみじ	愛媛県立医療技術大学	鈴木志津枝	神戸常盤大学	伊藤 嘉章	医療創生大学
兵藤 好美	岡山大学名誉教授	大久保暢子	聖路加国際大学	安酸 史子	日本赤十字北海道看護大学	米田 照美	滋賀県立大学
		中尾富士子	熊本県立大学	鈴木みずえ	浜松医科大学		
		須釜 淳子	藤田医科大学				



主要目次

I 新時代の看護

- 1 看護の対象と看護学
- 2 新時代の看護の役割
- 3 科学的看護の推進
- 4 ゲノム医療と看護
- 5 看護のグローバル化
- 6 患者・家族の意思決定
- 7 政策と看護

II 看護活動展開の方法

- 1 看護過程
- 2 看護活動の情報
- 3 情報テクノロジーと看護
- 4 健康情報とヘルスリテラシー

III 看護活動の前提となる技術

- 1 看護における人間関係とコミュニケーション
- 2 感染看護
- 3 看護動作とボディメカニクス
- 4 医療安全 (リスクマネジメント)

IV ヘルスアセスメント

- 1 身体的健康状態のアセスメント
- 2 心理状態と社会性のアセスメント
- 3 セルフケア能力

V 日常生活の援助

- 1 生活の場を整える
- 2 生理的ニーズを補充する

VI 治癒促進と症状緩和のケア技術

- 1 患部の保護
- 2 体液バランスを保つケア
- 3 浮腫のケア (用手リンパドレナージ)
- 4 褥瘡の予防ケア
- 5 ストーマケア
- 6 安楽・安寧を保つケア
- 7 悪心・嘔吐のケア
- 8 排便障害のケア
- 9 痛みのケア
- 10 がん疼痛のケア
- 11 タッチのケア
- 12 味覚異常のケア
- 13 視覚障害者のケア (ロービジョンケア)
- 14 ターミナルケア

VII 看護の教育的役割

- 1 看護の教育的役割
- 2 ヘルスプロモーションの理念と方策

VIII 診療の補助

- 1 薬物療法の管理
- 2 注射
- 3 輸血
- 4 検査補助
- 5 外来看護の役割
- 6 心肺蘇生と止血法

IX 看護現象の測定技術

- 1 脳活動-1 脳波
- 2 脳活動-2 fMRI
- 3 生体リズム
- 4 微生物の同定
- 5 心拍変動
- 6 呼吸測定-体位による変化
- 7 生体反応の組織学的評価
- 8 遺伝子とその発現の解析
- 9 病床環境測定
- 10 視線計測—看護者の観察眼の解明
- 11 痛みの測定

かんたん看護研究 (改訂第2版)

さがす・つくる・仕上げる



編集 桂 敏樹 (明治国際医療大学) 星野 明子 (大阪成蹊大学)

どこから取り組めばよいかわからない、難しくてうまく進められない「看護研究」をやさしく導き、本書どおりに進めれば効率よく仕上がる、看護研究のガイドブック。ポイントをおさえたやさしい解説で、苦手意識を取り除き、「あなた」の看護研究が上手に仕上がるようになる最適な一冊。今改訂では文献の検索方法や倫理審査に関する項目をアップデート、現代に即した使いやすい参考書となった。

定価 2,640 円 (本体 2,400 円 + 税 10%) B5判・232頁 2020.3. ISBN978-4-524-22507-1



基礎から学ぶ医療関連感染対策 (改訂第3版)

標準予防策からサーベイランスまで



著 坂本史衣 (聖路加国際病院)

感染対策を“しっかり学べる”テキストの改訂版。感染対策の基礎知識から臨床において議論の分かれる点まで網羅。こまかい予備知識がないビギナーはもちろん、専門看護師、認定看護師をめざしている方にも有用。今改訂では、関連するガイドラインに基づく記述のアップデートに加え、輸入感染症対策の項目を新設。臨床での具体的な感染対策に活用できるチェック項目などを提示し、実用的な部分も意識して解説を加えた。患者の安全を守る医療者として必須の知識がこの一冊に。

定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%) B5判・192頁 2019.2. ISBN978-4-524-23758-6



今日の助産 (改訂第4版)

マタニティサイクルの助産診断・実践過程



編集 北川眞理子 (鳥取看護大学 / 名古屋市立大学名誉教授) 医学監修 生田 克夫 (前名古屋市立大学)
内山 和美 (前宝塚大学)

マタニティサイクルの助産診断と実践過程に焦点をあてた助産学の標準テキスト。JRC蘇生ガイドライン2015や産婦人科診療ガイドライン2017、妊娠高血圧症候群の新定義・臨床分類2018などに対応した最新版。(1)どのようなデータ・情報をとるか、(2)アセスメントのポイントやコツや根拠は何か、(3)それらから導き出される助産診断の例、(4)助産診断に基づく助産ケアの例とそのポイント、(5)助産ケアの評価というように、一連の助産診断・実践の過程が一目でわかる考え抜かれた見開きの構成。いつの時代も変わることのない助産の技、コツを伝える助産師必携のテキスト。助産を学ぶ学生にも、最新の情報を効率良く収集しアップデートしたい多忙な臨床助産師にもおすすめの一冊。

定価 9,680 円 (本体 8,800 円 + 税 10%) A5判・1,216頁 2019.3. ISBN978-4-524-24625-0



みえる生命誕生 (改訂新版)

受胎・妊娠・出産



監訳 鮫島 浩 (宮崎大学医学部附属病院) 大月恵理子 (順天堂大学)

助産学・母性看護学・産科学に関連した目をみはる美しさのビジュアル図鑑。手に取りやすいサイズになってリニューアル！ 生殖器の解剖から、遺伝、周産期(生殖・妊娠・分娩・産後)の正常過程と異常過程、不妊治療や生殖医療まで—豊富なイラスト・写真・超音波像・X線像にコンパクトな解説がつき、“教科書”だけではイメージできなかった知識を視覚的に理解できる。参考書や臨床で使える資料としてはもちろん、妊娠・出産に興味をもつ一般読者にも有用な一冊。

定価 6,160 円 (本体 5,600 円 + 税 10%) AB判・256頁 2022.9. ISBN978-4-524-23437-0



今日の治療薬2025 解説と便覧

新刊

編集 伊豆津宏二 (国立がん研究センター中央病院)
今井 靖 (自治医科大学教授)
桑名 正隆 (日本医科大学教授)
寺田 智祐 (京都大学医学部附属病院)

現在使用されているほぼすべての医療薬剤について、その効能・使用法・有害事象などを網羅。薬効群ごとに解説と便覧とした構成が使いやすく圧倒的な支持を得ている。将来の現場ですぐに活用できるように、実習時から使い慣れておきたいベストセラー。

定価 5,280 円 (本体 4,800 円+税 10%)
B6判・1440 頁 2025.1. ISBN978-4-524-21789-2



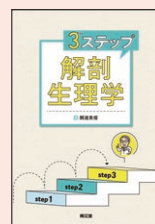
3ステップ解剖生理学

DL

著 開道貴信 (大阪樟蔭女子大学教授)

管理栄養士、看護師を目指す学生に向けた教科書。解剖生理学のいろはから国試レベルの学習内容まで3ステップで学ぶことができる。Step 1, Step 2では高校までの復習も兼ねた解剖生理学の基礎を、Step 3では国試レベルの学習内容を掲載。丁寧な解説だけでなく、読者の理解を助ける豊富なイラストをフルカラーで掲載した、初学者にもおすすめの一冊。管理栄養士国家試験出題基準および看護師国家試験出題基準対応。

定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)
B5判・288 頁 2022.10. ISBN978-4-524-22693-1



今日の臨床検査2025-2026

新刊

監修 矢富 裕 (国際医療福祉大学学長)
山田 俊幸 (自治医科大学教授)

膨大な臨床検査の情報を臨床に即した分類でコンパクトにまとめた、隔年改訂の好評書。保険収載されている検査につき、検体・検査対象物質などをまとめた「概説」と、各検査の目的、方法、判読のポイントなどの「解説」で構成。

定価 5,720 円 (本体 5,200 円+税 10%)
B5判・636 頁 2025.4. ISBN978-4-524-21148-7



入門組織学 (改訂第2版)

著 牛木辰男 (新潟大学学長)

初版から20年以上、医学部・コメディカル学生に採用、支持されている初学者向け組織学の教科書。定評のある美しい図版とわかりやすい文章で解説する編集方針を踏襲し、この間の学問領域の進展による新しい知見を盛り込む改訂を行った。また巻末に標本作製法と顕微鏡についての章を設け、より深い知識を得られる充実した一冊となっている。

定価 5,500 円 (本体 5,000 円+税 10%)
B5判・400 頁 2013.4. ISBN978-4-524-21617-8



医学概論 医学のコンセプトと医療のエッセンス

著 中島 泉 (名古屋大学名誉教授/中部大学名誉教授)

医療系学部学科の学生を対象とした、医学の歴史、人体の構造、ヒトの正常と異常、病気、医療の現状など、医学一般を学ぶための教科書。医学全体の理念 (コンセプト) を学ぶ基礎編と、医学の実践である医療の基本 (エッセンス) を知るための展開編の2部構成。多数の図版とコラムにより、わかりやすく、読者の興味を引きつけて通読できるように工夫した。

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)
B5判・282 頁 2015.12. ISBN978-4-524-26751-4



やさしい生理学 (改訂第7版)

DL

編集 彼末一之 (早稲田大学名誉教授/大阪大学名誉教授)
能勢 博 (信州大学特任教授)

医療系学生のために生理学の基本的な内容について、文献的考察は極力省略し、一般的に認められていることを分かりやすく、かつ簡単に解説したテキスト。改訂第7版では半分以上の章を全面改訂し、とくに運動療法にかかわる「代謝」「体温」「筋」の章をアップデート。また全ページフルカラーとし、視覚的理解を促進する紙面構成とするとともに、各章冒頭に「Starter Question」を設けて学習内容を俯瞰できるよう工夫している。

定価 2,860 円 (本体 2,600 円+税 10%)
B5判・342 頁 2017.12. ISBN978-4-524-25417-0



入門人体解剖学 (改訂第6版)

DL

著 藤田恒夫 (新潟大学名誉教授)
改訂 藤田信也 (長岡赤十字病院院長)

刊行以来定評を得ている初学者のための解剖学書。今改訂では紙面デザインを一新し、さらに見やすくなった。全章にわたり臨床に必要な解剖学の記述を補完したうえで、3章に「細胞と細胞小器官」の項を追加し、「13章 神経系」を大幅に加筆した。また、臨床に関する内容を新設の「コラム」や「臨床ノート」にまとめ、臨床画像を多数追加した。

定価 5,940 円 (本体 5,400 円+税 10%)
B5判・436 頁 2024.1. ISBN978-4-524-23072-3



わかりやすい病理学 (改訂第7版)

DL

監修 恒吉正澄 (九州大学名誉教授/国際医療福祉大学特任教授)
編集 小田義直 (九州大学教授)
相島慎一 (佐賀大学教授)

視覚的に理解することが容易なシェーマ図を豊富に盛り込んだ病理学の教科書。通読のしやすさに優れ、アドバンスな内容な臨床的知識、コラム的な解説は文字の大きさと本文とは区別しており、レベルに応じた学習が可能。今版では、難易度が高い章における構成変更のほか、医療系国家試験に対応する図の追加や文字の大きさの区別化を徹底するなど、さらに「わかりやすさ」を追求した。

定価 2,970 円 (本体 2,700 円+税 10%)
B5判・364 頁 2021.3. ISBN978-4-524-22654-2



基礎テキスト

最新育児小児病学 (改訂第7版)

監修 黒田泰弘(徳島大学名誉教授)
編集 香美祥二(徳島大学病院長)／森 健治(徳島大学教授)

医療福祉系学科学生向けに「小児科学」をコンパクトにまとめた好評教科書。「育児学」に加えて「小児科学」をバランス良く学習できることが特徴。今改訂では、最新の知見を取り入れることはもちろん、統計数値や法制度についての記述もアップデート。「小児病学」部分の記述に軽重をつけ、よりわかりやすい内容となった。



定価 3,300 円 (本体 3,000 円+税 10%)
B5判・260頁 2018.3. ISBN978-4-524-25178-0

基礎医学統計学 (改訂第7版)

共著 加納克己(筑波大学名誉教授)
高橋秀人(帝京平成大学教授)

数学的な証明を大胆に省き、例題を解きながら統計手法を学ぶことで、実践的な能力を身につけられるロングセラー教科書の改訂第7版。医学統計で用いられるほとんどの手法をカバー。今改訂では、導入として「統計学を学ぶために」の章を新設したほか、キャラクターを活用しより親しみやすい紙面構成に刷新。むずかしいと思われがちな統計学を、苦手意識を持つことなく学習できる。これから統計を学ぶ学生必読の一冊。



定価 2,530 円 (本体 2,300 円+税 10%)
B5判・242頁 2019.3. ISBN978-4-524-24149-1

遺伝医学への招待 (改訂第6版)

監修 新川詔夫(長崎大学名誉教授／北海道医療大学名誉教授)

遺伝医学のコンパクトな入門教科書として多くの学生に広く支持されている好評書。基礎的内容から、臨床で役立つ知識を、わかりやすく、親しみやすい口語調で解説。用語解説、コラムを充実させている内容が理解しやすい。



定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税 10%)
A5判・196頁 2020.1. ISBN978-4-524-24931-2

テキスト健康科学 (改訂第3版)

監修 佐藤祐造(名古屋大学名誉教授)
編集 柴田英治(四日市看護医療大学学長)
松原達昭(愛知みずほ大学教授)
八谷 寛(名古屋大学教授)

大学の教養課程における健康科学の教科書。健康は様々な人々の職業活動のうえに成り立っているという視点を育てることを重視し、健康を、心、環境、経済などの様々な視点から解説している。今版では、近年の法規・制度・統計数値等の反映に加え、新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ「第3章 感染症の脅威」「第5章 世代と健康」を新設した。コラムも豊富に掲載し、学生にとって身近な事例を盛り込んだ。



定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)
B5判・316頁 2024.9. ISBN978-4-524-23448-6

はじめて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト (改訂第4版)

監修 日本疫学会

医療・保健従事者にとって必須の基礎科学でありながら、理解するのが難しいといわれている疫学について、初学者を対象にわかりやすく解説した好評テキスト。内容は基本的事項にしばり、簡潔な文章とともに図表、イラストによって視覚的な理解をたすけ、実践的な流れを習得できる構成とした。



定価 2,750 円 (本体 2,500 円+税 10%)
B5判・232頁 2024.3. ISBN978-4-524-20448-9

医療福祉をつなぐ関連職種連携 講義と実習にもとづく学習のすべて

編集 北島政樹(国際医療福祉大学名誉学長)

急性期から回復期・維持期にかけての様々な職種間連携、病院間連携、医療-福祉連携を、豊富な事例とともに学べる、チーム医療・関連職種連携を一から学ぶ学生必携のテキスト。関連職種連携が必要となった背景やその理論等を学ぶ講義編と、知識を実践に活かすPBL形式の演習・実習編という構成で、医療・福祉の現場で行われる様々な連携の基礎知識を身に付けることができる。



定価 3,520 円 (本体 3,200 円+税 10%)
A4判・220頁 2013.4. ISBN978-4-524-26802-3

やさしい保健統計学 (改訂第5版増補)

著 縣 俊彦(元国際医療福祉大学教授)

看護師・保健師養成校の学生が、保健統計学の基礎的な概念と手法を理解できるよう、身近な例題で解説したテキスト。数式や代数・記号の使用を厳選し、学習の目安となる項目の難易度とキーワードを明示するなど、初学者でも分かりやすい内容になっている。増補版では、国民保健の現状にあわせ、各種統計データの更新を行った。



定価 1,980 円 (本体 1,800 円+税 10%)
B5判・206頁 2019.3. ISBN978-4-524-24124-8

minimum essentialを わかりやすくまとめた 南江堂シンプルシリーズ

シンプル解剖生理学

著 河田 光博 (京都府立医科大学名誉教授)
樋口 隆 (福井大学名誉教授)

人体の構造(解剖)と機能(生理)を関連づけ、ビジュアルな図を多用して平易に解説。知識の整理に役立つ紙面構成。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・368頁 2004.1. ISBN978-4-524-22054-0

シンプル生理学 (改訂第8版)

著 貴邑 富久子 (横浜市立大学名誉教授)
根来 英雄 (福井医科大学名誉教授)

医療系学部学生対象の生理学の定番教科書。初学者でも通読しやすい内容で、読者の興味を惹く生理学の実験やエピソードも多数紹介。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・384頁 2021.3. ISBN978-4-524-22655-9

シンプル生化学 (改訂第7版)

監修 林 典夫 (東北大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 野口 正人 (久留米大学名誉教授)
五十嵐 和彦 (東北大学大学院教授)

基本事項の解説に最新の知見を盛り込んだ好評テキスト。この一冊で膨大な生化学の全体像がつかめる、コンパクトながら充実した記述内容。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・458頁 2020.3. ISBN978-4-524-24659-5

シンプル薬理学 (改訂第6版)

編集 野村 隆英 (藤田医科大学名誉教授)
石川 直久 (愛知医科大学名誉教授)
梅村 和夫 (浜松医科大学教授)

進歩が早く膨大な内容を含む薬理学の全体像と最新情報を、わかりやすい記述と豊富な図表によって解説した好評テキスト。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・368頁 2020.1. ISBN978-4-524-24658-8

シンプル病理学 (改訂第8版)

編集 笹野 公伸 (東北大学名誉教授)
岡田 保典 (順天堂大学教授/慶応義塾大学名誉教授)
安井 弥 (広島大学名誉教授)

今改訂では、新知見の追加・内容の更新と共に、画像所見の理解が肝要となる病理学においてより効率的な理解ができるよう、画像加工の追加やシェーマ併載といった工夫を計った。



定価3,300円(本体3,000円+税10%)
B5判・428頁 2020.7. ISBN978-4-524-24934-3

シンプル微生物学 (改訂第6版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授)
若宮 伸隆 (旭川医科大学名誉教授)

ミニマムな解説を骨子としつつ、新知見、展望などのAdvanceまでをしっかりとおさえている内容が、コメディカルから医学部生までの幅広い学生に好評のテキスト。



定価3,520円(本体3,200円+税10%)
B5判・474頁 2018.3. ISBN978-4-524-25483-5

シンプル免疫学 (改訂第5版)

共著 中島 泉 (中部大学学事顧問/名古屋大学名誉教授)
高橋 利忠 (愛知県がんセンター名誉教授)
吉開 泰信 (九州大学名誉教授)

免疫学の重要なポイントをコンパクトにまとめつつ、最新の研究もカバーしたコメディカル学生のための教科書。



定価3,190円(本体2,900円+税10%)
B5判・310頁 2017.9. ISBN978-4-524-25446-0

シンプル衛生公衆衛生学 2025

監修 辻 一郎 (東北大学名誉教授)
編集 上島 通浩 (名古屋市立大学教授)
大久保孝義 (南京大学教授)

“精選された内容をわかりやすく伝える”をコンセプトにした衛生学・公衆衛生学の定本。

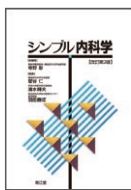


定価2,860円(本体2,600円+税10%)
B5判・430頁 2025.3. ISBN978-4-524-21874-5

シンプル内科学 (改訂第2版)

総編集 寺野 彰 (獨協学長兼理事長/獨協医科大学名誉教授)
編集 菅谷 仁 (獨協医科大学名誉教授/足利赤十字病院)
清水 輝夫 (南医科大学名誉教授)
羽田 勝征 (埼玉医科大学総合医療センター客員教授)

最新かつ重要な知識が整理されたスタンダードなテキストの改訂版。初版同様、基礎から臨床まで、習得すべき必須の内容が十分に解説されている。



定価7,150円(本体6,500円+税10%)
B5判・736頁 2017.9. ISBN978-4-524-26658-6

南江堂コンパクトシリーズ

コンパクト微生物学 (改訂第5版)

編集 小熊 恵二 (岡山大学名誉教授)
堀田 博 (神戸大学名誉教授)
編集 林 俊治 (北里大学教授)
石戸 聡 (兵庫医科大学教授)

微生物学のミニマムエッセンスをまとめたテキスト。総論、各論に加えて臓器別感染症の章を設け、基礎から臨床まで総合的に理解することが可能。



定価2,530円(本体2,300円+税10%)
B5判・304頁 2021.3. ISBN978-4-524-22636-8

コンパクト生化学 (改訂第4版)

編集 大久保孝男 (滋賀医科大学名誉教授)
賀佐 伸省 (札幌医科大学名誉教授)

生化学の基礎を限られた時間内で身に付けることを目指して編集された、コンパクトで分かりやすい教科書。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・242頁 2017.2. ISBN978-4-524-25946-5

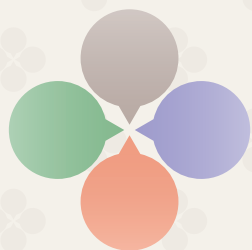
コンパクト栄養学 (改訂第4版)

監修 青山 洋右 (東京大学名誉教授/お茶の水女子大学名誉教授)
廣野 治子 (前東北大学医歯技術短期大学部教授)
編集 久保田 俊一郎 (東京大学名誉教授/南医科大学特任教授)
寺本 房子 (川崎医療福祉大学特任教授)

看護系を中心としたコメディカル学生のための栄養学テキスト。必要な内容をコンパクトにまとめながら、重要な生化学的内容はしっかりと解説。



定価2,420円(本体2,200円+税10%)
B5判・230頁 2017.9. ISBN978-4-524-25945-8



看護教育のための情報サイト

NurSHARE

つながる・はじまる・ひろがる

看護教員の“したい！”に応える 新メディア&プラットフォーム

What's
NurSHARE?

世の中の大きな変化に伴い、看護教育の現場も新たな時代を迎えています。

看護教育の情報を一早くキャッチしたい、自校の教育実践を発信したい、他校の教育方法を知りたい……
そんな看護教員のみなさまの“したい！”を実現できるのが「**NurSHARE(ナースシェア)**」です。

ご利用いただけるコンテンツの一部をご紹介します

すべて
無料



特集・コラム

月替わりの「企画」や定期更新の「連載」など、看護教育に関する記事をお読み頂けます。ご自身の看護実践を記事として発信頂くことも可能です。



教材シェア

ご自身が作成した教材を投稿したり、他のユーザーが作成した教材や、NurSHARE オリジナルのフリーイラストをダウンロードしたりして、講義資料などにご利用頂けます。



掲示板

学会や勉強会、セミナーなどの開催情報を投稿し、参加者を募ることができます。イベントの告知はもちろん、共同研究者の募集などにもご活用頂けます。



★その他、豊富な看護教育コンテンツをご用意しています。

日頃の教育やご業務にお役立ていただける無料イベントやオンラインイベントも随時開催中！ ぜひご参加ください。

ロゴマークに込めた思い



TALK
交流

+



BLOOM
開花

+



COLORFUL
個性

=



NurSHARE
ナースシェア

看護教員が集い会話に花が咲くイメージを
ロゴマーク化しました。
カラフルな配色は教員一人ひとりの
幅広い個性をあらわしています。
外側に向かって明るくなるグラデーションには、
看護教育が未来へとひろがっていくことへの
願いが込められています。

●ご登録はこちらから

<https://www.nurshare.jp/user/register>

上記の URL を直接入力するか右の二次元コードを読み取り、NurSHARE サイトへとアクセスしてください。その後は、サイトの表示に従ってお手続きをお願いいたします。



ご採用特典 教科書データサービスのご案内

当社では**教科書ご採用特典**として、

教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）でご利用可能な、書籍掲載の図表データ（JPEG）などをダウンロードできるサービスを行っております。

ご採用の折にはぜひご利用ください。

【ご利用いただけるデータ例】

	左心カテーテル法	右心カテーテル法
検査の内容	左心系形態学的検査（造影検査）が主である。	右心系形態学的検査（造影検査）、血行動態検査、電気生理学的検査（不整脈の診断）、病理検査（生検）
造影部位	冠動脈、大動脈、左心室	右心房、右心室、肺動脈
穿刺部位	大腿動脈（鼠径部）、上腕動脈（肘窩）、橈骨動脈	大腿静脈（鼠径部）、尺側皮静脈（肘窩）など
カテーテル挿入方法	動脈からカテーテルを挿入して、血流に逆行して左心系にカテーテルを進める。	静脈からカテーテルを挿入して、血流に順行して右心系にカテーテルを進める。
その他	左心カテーテルは逆行性にカテーテルを進めるため、右心カテーテルに比べて侵襲が大きく、検査手技も難しい。	

(NGC 成人看護学 成人看護技術 改訂第3版, 南江堂, 2022)



【お申し込み】

- 本サービスのお申し込みは下記 URL よりお願いいたします。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplyentry.aspx>
- 以前に本サービスをご利用いただいたことがある（本サービス ID・パスワードを取得済である）場合は、下記 URL よりログインのうえお申し込みください。
<https://www.nankodo.co.jp/customer/textbookapplycontinue.aspx>



申し込みページ二次元コード



ログインページ二次元コード

【ご利用における注意事項】

- 本サービスは、**大学、短期大学、専門学校等において対象書籍を 20 冊以上ご採用いただいている先生限定のサービスとなります。**
- **教科書採用が確認できない場合、ご利用登録をお断りさせていただきます。**
(お取引書店から当社への書籍発注を確認したのちに ID・パスワードをお届けいたします。)
- 本サービスのご利用には、**毎年の利用申請**が必要となります。
- 本サービスのご利用には、**利用規約への同意**（Web 上に記載）が必要となります。
- 本サービス提供データは、**教育場面（投影・学生へ配布する印刷物）**に限りご利用いただけます。
- 書籍によっては、一部提供できない図表がございます。
- **本サービスを受ける権利を他者に譲渡または貸与することはできません。**
(複数名で該当書籍を使用している場合は、利用者ごとに申請が必要となります。)

ご不明の点は nkdtext@nankodo.co.jp (株式会社 南江堂営業部販売 2 課) までお問い合わせください。

※お問い合わせの際には、お名前・ご所属を明記くださいますようお願い申し上げます。

◎個人情報保護の目的

ご登録された個人情報は、お客様本人のお問合せの処理、本サービスの維持向上のほか、当社の取扱い商品の案内等に使用させていただくこともございます。

◎個人情報保護方針

弊社ホームページをご覧ください。